

第五十九回帝國議會 院 米穀法中改正法律案外一件委員會會議錄(速)第十一回

付託議案
米穀法中改正法律案(政府提出)
米穀需給調節特別會計法中改正法律案
(政府提出)

會議

昭和六年二月二十六日(木曜日)午後一時三十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 西村丹治郎君

理事 長野 綱良君

理事 關矢 孫一君

理事 風見 章君

理事 東郷 實君

理事 胎中楠右衛門君

高橋壽太郎君 村上 國吉君

宮澤 胤勇君 生方 大吉君

松田 正一君 田中 養達君

武知 勇記君 平野 鍋吉君

岡野 龍一君 三田村甚三郎君

谷原 公君 出井 兵吉君

片野 重脩君 東 武君

松山常次郎君 平井信四郎君

清家吉次郎君 石井 次郎君

同日委員高橋元四郎君、佐竹庄七君及

平野鍋吉君辭任ニ付其ノ補闕トシテ生

方大吉君、北浦圭太郎君及岡野龍一君

ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 町田 忠治君

出席政府委員左ノ如シ

農林參與官 山田 道兄君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

拓務政務次官 小坂 順造君

拓務省殖產局長 殖田 俊吉君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左

ノ如シ

農事試驗場技師 安藤廣太郎君

農林書記官 荷見 安君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀法中改正法律案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中改正法律

案(政府提出)

○西村委員長 ソレデハ是カラ會議ヲ

開キマス

○松山委員 同志ノ間デ相談ヲ致シマ

シテ、率勢米價ニ關スルコトダケニ付

キマシテ——私ノ外ニ質問者ハアルノ

デアリマスガ、特ニ順番ヲ變ヘテ戴キマ

シテ、此事ダケニ付テ今私ガ質問致シ

マス、安藤博士ガ御出デアリマスカラ、

ドウカ御答ヲ願ヒタイノデアリマス、

米價率ノ趨勢値ト云フモノヲ算定シテ

ソレニ依ッテ米價ヲ出シテ行カウト云フ

ノデアリマスガ、茲デ私ガ初ニ御尋ヲ

致シタイノハ、此ヤリ方ニ依ルト、其

趨勢値ト、ソレカラ物價指數ト、明治

三十三年十一月ニ於ケル米價、是ガ基

準ノ米價ニナッテ居ルヤウデアリマス、

ソレヲ三ツ掛ケタモノデ即チ今日ノ米

價ヲ算定セラレルコトニナルヤウニ

ナッテ居ルヤウデアリマスガ、此三十

三年十一月ノ米價ヲ御採リニナッタノ

ハドウ云フ譯デアリマスルカ、此處ニ

米價率ノ「カーヴ」ヲ書イタモノヲ御

廻シ下サッデアリマスルガ、此「カー

ヴ」ニ依リマシテモ、例ヘバ三十三年

ト云フモノガ日清戰爭ノ後デ、日本ノ

經濟界ノ變動ノアッタ一ツノ時デ、ソ

レヲ適當ト認メルナラ兎ニ角、又日露

戰爭ト云フモノガ、非常ニ日本ノ經濟

界ニ或一ツノ「エポック」デアッタ、劃

期的ノ時デアッタカラ三十八年ノ基準

米價ヲ採ル、サウスルト大分此趨勢値

ノ「カーヴ」ガ變ッテ來ルダラウト思

フノデアリマス、ソレカラ又世界戰爭

ト云フモノガ、日本ノ經濟界ニ劃期的

ノ變動ヲ與ヘタ時デアリマスガ、其戰

爭ノ起ル前、例ヘバ大正二年ニ於ケル

米價率ヲ見ルト非常ニ是ガ上ヘ上ッテ

居ル、戰爭ガ起ッテ大分經ッテ大正五年

ニナルト其「カーヴ」ガ非常ニ下ッテ

居ル、斯ウ云フ大激動ガアルノデゴザ

イマスガ、例ヘバ三十八年ヲ採ル、或

ハ大正二年ヲ採ル、大正五年ヲ採ルト

云フコトニ依ッテ此趨勢値ト云フモノ

ハ非常ニ變ッテ來ルダラウト思フ、私

共ハ是ハ兎ニ角日本ノ農村ノ浮沈ニ關

スル米價ヲ決定スル上ニ非常ニ大切ナ

算定ノ基礎ニナルモノデアリマスルカ

ラ、何レ安藤博士ガ御計算ニナルニ付

テハ色々御研究ナスッタト云フコトデ

アリマス、是等ノモノニ付テサウ云フ

場合ニハドウ云フ趨勢値ガ出テ來ルカ

ト云フコトニ付テ御研究ニナッテ居リ

マスルカ、サウ云フ結果ニ付テ發表シ

テ戴クナラバ私共ハ之ヲ審議シ、判斷

スル上ニ非常ニ參考ニナルト思フンデ

アリマス、先ヅ此明治三十三年十一月

ノ米價ヲ基準ニ置イタト云フコトニ付

キマシテ、及ビ今申シマス事ニ付キマ

シテ、御研究ニナッタ結果ガゴザイマ

スナラバ、ソレヲ聽カシテ戴キタイト

思フノデアリマス

○石黒政府委員 只今ノ御尋ハ安藤博

士ニ對シテノ御尋デゴザイマシタガ、

農林省ト致シマシテ三十三年十月ノ米

價ヲ採リマシタノハ、私カラ御答申上

ゲタ方ガ宜カラウト思ヒマス、ソレハ

大臣ノ前々カラ申上ゲテ居リマスヤウ

ニ、我國ニ於キマシテハ日本銀行ノ物

價調ガ一番長イモノデアリマシテ、先

ヅ之ニ依ル外致方ガナイト思ヒマス、

而シテ此趨勢ヲ推シマスノニ付キマシ
テハ長イ年間ヲ取ツテ趨勢ヲ計ルノガ
適當デアアル、斯ウ考ヘマシタガ故ニ一
番元デアリマス三十三年十月ノ米價ヲ
採リマシタ譯デアリマス

○松山委員 唯長イ期間ヲ採ル爲ニソ
コヲ採ツタ、斯ウ云フヤウニナッタトシ
テ、私共ハ理論上カラ言ヘバ、ソレハ
不満足デアリマス、ソレヨリ仕方ガナ
イト云フナラ仕方ガアリマセヌ

次ニ御尋致シタイコトハ、此物價指
數ハドウ云フ風ニシテ御採リニナルノ

デアリマスカ、若シソレガ例ヘバ日本
銀行ノ物價指數ニ依ルト云フナラバ、

日本銀行ノ物價指數ハドウ云フ風ニシ
テ決定スルモノデアリマスカ、其構成

致シテ居ル要素ハドウ云フ物デアリマ
スカ、若シ其表ガゴザイマスナラバ見

セテ戴キタイ、戴ケルナラバソレヲ頂
戴シタイト思ヒマス

○石黒政府委員 日本銀行ノ物價指數
ハドウ云フモノガ上ツテ居ルカト云フ

コトハ、參考資料トシテ御要求ガアリ
マシテ差上ゲマシタ各種ノ物價指數ニ

付テノ調、ソレニ品目ヲ書上ゲテ居リ
マスノデアリマス、五十六品ニ付テノ

卸賣相場デアリマス

○松山委員 此品目ヲ見セテ戴イタダ
ケデハ私ノ今質問シテ居ルノハ分ラナ

イ、其價格ガドウ云フ風ニナツテ居ルカ、

例ヘバ米デ言フナラバ、東京ノ深川ノ
米ノ値段ヲ取ツテ居ルカ、或ハ大阪ノ米

ノ値段ヲ取ツテ居ルカ、朝鮮ノヲ取ツテ

居ルカ、又木材ナラバ米材トカ日本材

トカ樺太材トカ云フヤウナ、其價格ハ

ドウ云フ所ヲ御取リニナツテ居ルカ、ソ

レヲ知ラシテ戴キタイト思ヒマス、今

表ガアリマセヌナラバ、チヨットソレニ

對スル質問ハ保留致シマシテ、調製セ

ラレテカラ其事ヲ御尋致シタイト思ヒ

マス

○石黒政府委員 日本銀行ノ物價指數
調ハ總テ東京ノ卸賣ト云フコトニナッ

テ居リマスカラ、大阪等ハ入ツテ居ラヌ

コト、存ジマス

ソレカラ米ニ付キマシテハ深川ノ中米

ヲ取ツテ居ルコト、存ジマス、其他ノ物

品ニ付キマシテハドウ云フモノヲ取ッ

テ居ルカト云フコトハ、私即答ヲ申上

ゲル譯ニ行キマセヌデアリマス、ソ

レカラソレノ價格ガドウナツテ居ルカ

ト云フコトハ、日本銀行ガ外部ニ對シ

テ發表スルコトヲ只今マデ全然ヤツテ

居リマセヌ

○松山委員 日本銀行ガ物價指數ヲ定

メル、其基礎トナルベキ價格ハ發表セ

スト云フコトデアリマスガ、私共ガ根

本ノ原理ヲ研究スル時ニ、ソレヲ發表

セヌカラ見セテ貰ヘヌト云フノデハ私

共ハ満足ガ出來ヌデアリマス、此事

ニ付テモウ一度御考慮ヲ願ヒタイト思

フデアリマス、ソレカラモウ一ツ今

ノ御話デハ、東京ニ於ケル相場ヲ取ル、

日本ノ物價變動ノ狀態ヲ大體知ルガ爲

ニハソレデ宜シウゴザイマセウケレド

モ、全國ノ農民、殊ニ東京ヨリモ田舎

ノ農民ノ懷ニ關係アル米價ヲ算定スル

基礎ニナル物價指數ヲ東京ダケノ相場

デ之ヲ定メルト云フコトハ、十分ナモ

ノデハナイト思ヒマス、其意味ニ於テ

若シ其基礎ニナルモノガ示シテ戴ケル

ナラバ、示シテ戴キタウゴザイマス、

示サレヌト云フコトナラバソレデモ宜

シウゴザイマス、兎モ角此物價指數ト

云フモノハ算定ノ基礎トシテ今申ス通

リ十分ナモノデナイト云フコトダケヲ

私共ガ承認シテ置ケバ宜シイノデゴザ

イマス

ソレカラ次ニ是ハ主トシテ安藤博士ヲ

煩スコトニナルト思フデアリマスガ、

趨勢値ノ決定ノ仕方デゴザイマス、此

間頂戴致シマシタモノニ依リマス、

ベール+BX 其直線ニ付テノ第一方程

式カラ御決メニナラレヤウデゴザイ

マスガ、之ニ依ツテ御算定ニナル、此表及

ビ「ダイヤグラム」ヲ調ベテ見マシタガ、

ドウモ私共満足スルコトガ出來ヌノデ

アリマス、今申シマス公式ガ不完全ナ

モノデアルト云フコトノ一ツノ要素ハ

此趨勢値ノミデハアリマス、基準

米價ノ採リ方ト云フコトモ大ナル疑問

ガアル、物價指數ニモ大ナル疑問ガア

ル譯デアリマスケレドモ、根幹ヲナス

理論上ノモノハ今申シマス趨勢値ノY

ノ取り方デアリマスガ、ソレガ直線ノ

單純ナラバ宜シカラウ、斯ウ云フ御説

ヲ繰返シテ、速記録モ拜見致シマシタ

ガ、左様ニ申シテ居ラレマス、ソコデ一

寸私ハ、初ニ理論上ノコトヲ御尋スル前

ニ、是ノ扱方ニ付テ御尋致シマスガ、是

ガ明治三十三年ノ米價率ニ始マツテ、昭

和五年マデノ米價率ニ依ツテ、最小二乗

法ニ依テA、Bガ算定出來ル譯デアリ

マス、ソレニ依ツテ私共ハ昭和六年度ノ

率勢米價ヲ算定スルノデアリマスガ、

昭和七年度ノ率勢米價ヲ算定スルニ

ハ、昭和六年度ノ米價率ガ其A、Bヲ算

定スル中ニ入ルノデアリマスガ、今マ

デノ三十年間計算ヲシテ來タモノモズッ

ト使フコトニナルノデアリマス、年々

算定ノ要素ガ變ツテ來ルノデアリマス

カ、ソレヲ一寸御尋致シマス

○安藤農事試験場技師 只今ノ點ニ對

シテ御答申シマス、實ハ此間ノ言葉ガ

足ラナカッタト思ヒマスガ、昭和六年度

ノハ明治三十七年度カラ昭和五年度マ

デノ數ニ依ツテ趨勢値ヲ算定スル、七年

度ニ於テハ、六年ノ實際ノ米價率ガ出

ルノデアリマスカラ、六年度マデ加ヘ

テ其趨勢値ニ依ツテ決メルノデアリマシ

テ、率勢米價ノ説明ノ最後ノ十一頁ニ
米價率趨勢ト書イテアリマスガ、是
ハ三十七年以前、三十六年度マデノ趨
勢値ニ依ッテ決メル、例ヘバ最後ニアリ
マス昭和五年度ノ一・一八二ト云フモ
ノハ、昭和四年度マデノ趨勢値ニ依ッ
テ昭和五年度ノ趨勢値ヲ定メタノデア
リマシテ、直線ト云フコトヲ申シテモ、
何時マデモ直線ト云フノデハナク、毎
年計算スルニ今マデノ米價率ガ波ヲナ
シテ居ルノヲ毎年同ジ率デ殖エタモノ
ト見テ計算スルト云フ意味デ直線ニ
ナッテ居ルノデアリマス、是ハ年々計算
ヲシテ行カナケレバナラヌモノト思ッ
テ居リマス、又其實數ヲ御覽下サッテ
モ數字ガ違ッテ居ルノハ、年々計算シ
テ居ルカラ、斯ウ云フ數字ガ出テ居ル
ノデアリマス

○松山委員 ソレデ初ニ申シタヤウ
ニ、直線ノ趨勢値ニハ満足シ兼ネル
ノデアリマス、一々其例ヲ拾ッテ述ベ
テ見タイト思ヒマスガ、大正七年度ハ
何月カラ此米穀法ガ發動スルカト申ス
ト、之ニ依ルト七月カラ發動スルコト
ニナルノデアリマス、所ガ七月ニハ米
騒動ガ起ッテ居リマス、サウスルト之ニ
依ッテ米穀法ヲ適用シテ居ッテモ、アノ
大正七年ノ米騒動ト云フモノハ防ギ得
ナカッタト云フコトニナリマス、是ガ實
際ニ適用サレテハ困ルト私共ガ認メル

一ツノ例デゴザイマス、ソレカラ今日
ノ場合ヲ考ヘテ見ルト、昭和五年カラ
六年ニ亙ル今日ハ十八圓二十八錢二厘
ト云フ所ニナルマデ米穀法ガ買上ノ發
動ヲシナイノデアリマス、ソレデハ農
民ハ困ル、逆モ堪エラレナイ、ソレマ
デ米穀法ガ發動セラレナイト云フコト
ニナル、此事ヲチャント立派ニ米穀法
ニ定メラレテハ困ル、今日實際問題ト
シテハ、ソレデモゴテ、困ルトカ何
トカヤカマシク言ッテ居ル中ニ時ガ過
ギテ米價ハ下ッタヤウナ實例ハアリマ
スケレドモ、米穀法ニ依ッテソレガ定
マッテ居ッテ十八圓二十八錢二厘マデハ
政府ハ知ラス顔ヲシテ構ハナクテモ宜
シイ、斯ウ云フコトニ今日定マッタト
スルナラバ、農民ハ逆モソレデハ堪ヘ
ラレナイノデアリマス、ソレデ私共農
村經濟ノ生命トモ言フベキ米價ニ付テ
ハサウ云フ考ヲ持ッテ居リマス、今日ノ
社會組織ハ農村ガ搾取セラレルヤウニ
出來テ居ル、農村ハ經濟的ニ非常ニ不
利ナ立場ニ立ッテ居ル、例ヘバ金融問題
デ申シマシテモ金ノ皆都會ニ集ッテシ
マフ、或ハ保險金トシテ都會ニ持ッテ
行カレル、地方銀行ハ今潰レツ、アリ
マスガ、段々ソレガ都會ノ銀行ニ合併
セラレ、地方ノ支店銀行ハ預金ノ二割
位ヨリ貸出ヲシテ居リマセヌ、即チ八
割マデノ預金ハ本店ノ所在地タル都會

ニ持ッテ行カレル、斯ウ云フ譯デ地方ノ
金融ガ非常ニ涸渴シツ、アルノデアリ
マス、或ハ愛國婦人會、赤十字社、濟
生會ト云フヤウニ色々ナコトデ金ヲ集
メテ皆都會ニ持ッテ行ッテシマフ、ソレ
デアルカラ地方ノ人間ハ金利ノ高イ金
ヲ使ハナケレバナラヌガ、都會ノ人間
ハ豐カニ金ヲ使ッテ居ル、其他交通機關
ニシテモ先ツ都會カラ造ル、吾々ガ地
方ニ鐵道ヲ普及シヨウトスレバ繰延、
中止ヲセラレル、又文明ノ利器ガ出來
ルト都會ノ人ガ皆使ッテ田舎ヲ後廻シ
ニスル、斯ウ云フ色々ナ意味ニ於テ社
會的ニ農村ハ損ヲシテ居リマス、ソレ
ガ爲ニ農村經濟ハ非常ニ困難ニナッテ
居ル、又租稅方面カラ申シテモ明治ノ
初年頃ハ地租ガ租稅ノ大部分ヲ占メテ
居ッテ、所ガ米ガ上ッテ負擔ノ割合ガ少
クナッテ來ルト消費稅ノ形ニ於テ農村
ハ澤山ノ負擔ヲサセラレル、即チ明治
時代ノ日本ノ資本主義經濟ノ發達ハ農
村ノ犠牲ニ依ッタモノデアルト言ハレ
テ居リマス、斯ウ云フ事情ヲ考ヘルト、
吾々ハ米價ノ趨勢値ヲ御出シニナッテ
直線式ト云フモノデ満足スルコトハ出
來ナイ、私共ハモット尻上リノ「カーヴ」
ニ依ッテ進ムヤウニ致シタイト云フ希
望ヲ持ッテ居リマス、先ヅ其形ニ於テ最
モ私共學理的ナ研究ヲスルノニ便利ナ
「カーヴ」ハ二次ノ拋物線デアル、實ハ

私自身モ計算シテ見タイノデアリマス
ガ、私ハ多忙デ時間ガアリマセヌカラ
困リマス、若シ御研究ニナッタモノガ
アリマスナラバソレヲ示シテ戴キタ
イ、即チ $Y = A + BX + CX^2$ 此二次ノ
方程式ニ於テ其「カーヴ」ガドウ云フコ
トニナルカ、サウナルト先程私ノ言ッ
タコトガ餘程解決サレテ行クノデハナ
イカ、即チ是ガ實際ニ適合スルモノニ
ナルノデハナイカ、斯ウ私ハ常識上考
ヘテ居ルノデアリマス、是ハ農林大臣
ニ御願致シマスガ、是ハダイブ複雑ナ
ル計算デゴザイマスカラ時ガカ、リマ
セウガ、安藤博士ヲ大將ニシテ人ヲ集
メレバ、今ハ大學ヲ出テモ仕事ガナク
テ困ッテ居ルノデアリマスカラ、ドウカ
至急ニ二次ノ拋物線デ計算シテ趨勢値
ノ圖表ヲ作ッテ御出シヲ願ヒタイ、ソレ
ニ依ッテ吾々審議ノ參考ニ資シタイト
思ヒマス、ソレヲ見タ上デ更ニ質問シ
タイト思ヒマス

○安藤農事試驗場技師 今松山サンカ
ラ二次ノ式デ計算シテ貰ヒタイト云フ
コトデゴザイマスガ、二次ノ式ヲ使ヘ
バ尻上リニナル、例ヘバ大正五年マデ
ノ趨勢値デ行クト六年八年ガ殖エテ
×ニナリマシテ、三十二年ハ三十一年
ノ二乗ニナルカラ非常ニ數ガ多クナル
結局一層尻上リト云フコトニナリマス
カラ、其邊ガ實情トノ關係ガドウ行ク

カ、多少考慮シナケレバナラヌト思ヒマス、私ハ寧ロ直線式ノ方ガ宜イヤウニ考ヘテ居ルコトヲ此際申上ゲテ置キマス、唯三十七年以來ノモノヲヤルノニ二次ノ式ダト、最小二乘法デヤリマシテモ式ヲ少クトモ三ツ拵ヘテヤルコトニナリマスカラ、別ニ勞苦ハ厭ヒマセヌガ多少時間ヲ藉シテ戴キタイト思ヒマス

○松山委員 一々安藤博士ヲ計算ニ付テ煩スコトハ恐入リマスガ、適當ナ人ヲ使ッテ、大體デ宜シウゴザイマスカラ判斷ノ基礎ニナル數字ヲシッカリ御計算ニナッテ、其圖表ヲ作ッテ御配付アラシコトヲ願ヒマス、此際今ノ資料ハ實際提出シテ戴ケルカ大臣カラ御答辯ヲ願ヒタイ

○町田國務大臣 事務ノ打合セラシテ居リマスカラ暫時御控ヲ願ヒマス——今ノ御註文ノ式デヤルノデスネ、今此處デ事務的ノ打合セラシマシタガ、明日ノ朝トカ、明日ノ晝トカト云フ鹽梅ニヤルコトハ困難カモ知レマセヌガ、取急イデ只今カラ著手サセテ、出來ルダケ早イ機會ニ皆サンニ御手渡ラシマスカラ、左様御諒承下サルヤウニ願ヒマス

○高橋委員 ソレニ關聯シテ私一寸御尋致シマスガ、時々御答辯ノ中ニ例外トモ見ルベキ、甚シキ米價ノ高下ガアルト云フノデ、サウ云フモノヲ材料ニ

シテ出來上ッテ趨勢値、若クハ又其趨勢値ニ依ッテサウ云フ非常ナ場合ニ處スル式トシテハ、マジカラウト云フヤウナ懸念ガ、多分アルダラウト伺ッテ居ルノデアリマスガ、私共射撃ノ方ノ研究カラ申シマスルト、時々法外ナル妙ナ彈丸ガ落チテ來ル、一々ソレヲ計算ニ加ヘルト却テ正鵠ヲ失スルコトニナリマス、此場合ニハチャント「エリミネーション」ノ規則ガアッテ、自然ニ算式ノ上カラ省ク、又ハ此程度ノモノナラバ省カズニ濟ムト云フコトガキマル筈デアリマスガ、其邊ノ所モ安藤博士ノ御説明ヲ願ヒマシタナラバ、諒解出來ルコト、思ヒマス

○安藤農事試驗場技師 今高橋サンノ御話ニナリマシタ、色々統計ナドデ、非常ニ深山ノ數ヲ取扱ヒマスル場合ニ、今御話ノヤウナ取除ケラスル例ハ屢アリマス、又ソレノ法則モアルノデアリマス、此米價率ハ三十四年カラ昭和五年マデノ三十年ノ間デアリマシテ、一番大キイ方デ申シマス、大正二年ノ率ガ一番大キク一・三八幾ラニナッテ居ルシ、ソレカラ低イ方デハ大正五年ノ〇・七五幾ラト云フノガ一番低イ數ニナッテ居ルノデアリマスガ、サウ云フモノヲ取除ケルト云フコトモ一ツノ考ヘ方デアルト思ヒマスガ、兎モ角年數ハ三十年デアリマス、又大體米ノ

相場ハ御承知ノ通り、下ッテ後ニハ上リ、上ッテ後ニハ下ルト云フ風ニ、浪ヲ打ッテ居ルノデアリマス、今マデノ計算デハ特ニ「バランス」スルモノトシテ——並行スルモノトシテ御互ニ相殺スルノデアリマス、除イテハ居ラヌノデアリマス、ソレダケ御答シテ置キマス

○東郷委員 私昨日ニ引續イテ率勢米價ノコトヲモウ少シ承リマスガ、ソレハ現在御提案ニナッテ居ル算定法ヲ假ニ認メテサウシテ言ッテ見タイト思ヒマス、先程松山君モ一寸御引例ニナラレマシタガ、此率勢米價ノ基礎ヲ爲ス一般物價指數及ビ米價指數、是ハ一ツハ東京ノ中央市場ノ卸賣相場、米價ハ深川ノ正米市場ノ標準米ノ平均相場、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、隨テ是ハ東京ニ於ケル消費者ノ立場カラ言ヘバ、此比較ハ適切デアルカモ知レマセヌ、又モウ少シ廣ク之ヲ利用シタナラバ、松山君ハモット外ノ所モ採ラナケレバナラヌト言ハレマシタガ、サウ出來レバ結構デアリマセウケレドモ、ソレハ兎モ角トシテ、モット廣ク考ヘテ見テモ、是ハ消費者ヲ目標トシテ考ヘタ場合ハ或ハ適當デアルカモ知レヌ、所ガ農村ヲ考ヘテ見マスルト、農村ノ米ノ庭相場ト云フモノハ、深川ノ中米ノ平均相場ヨリモイツモ低

イ、ソレカラ農家ガ或ハ生活ノ上ニ於テ、或ハ米ノ生産物資ヲ購入スル上ニ於テ、彼等ガ買フ所ノモノハ無論東京ノ中央市場卸賣相場ヨリモ遙ニ高イ、斯ウ云フコトニナリマスカラ、農村ニ於ケル農家ノ經濟ヲ中心トシテ考ヘテ見ルト、彼等ノ賣ル米ノ値ト、彼等ノ買フ物資ノ値ノ關係ト云フモノハ、東京ニ於ケル一般物價ト米ノ價格トノ比ヨリモ遙ニ茲ニ隔リガアルヤウデスカラ、日本銀行ノ此一一般物價指數及ビ米價ノ此比率ト云フモノハ、直チニ以テソレデ地方農村ノ經濟ヲ中心トシテ考ヘテ見タ時分ニ、私ハ適切デナイト思フ、非常ニ、農村ハ不利益ナル立場ニ置カレルコトニナリマス、故ニ此率勢米價ト云フモノハ是ハ消費者本位デアル、而モ都會ニ於ケル消費者本位、尙ホ細カク言ヘバ東京ニ於ケル消費者ヲ單位トシタ時分ニハ、此率ハ適切デアルケレドモ、農村ニハ不利益デアルト私ハ斯ウ考ヘマスガ、政府ノ御意見ハ如何デアリマスカ

○石黒政府委員 東郷サンノ只今ノ御意見ノ通りニ、東京ノ深川ノ中米相場ト云フモノト、農家ガ賣リマスル庭相場ト云フモノガ違ヒ、又需要品ニ付テモ農村ノ各種ノ物價ト云フモノガ東京ノ市場ヨリモ違フト云フコトハ其通リト思ヒマス、併ナガラコ、デ全國ヲ總

括致シマシテ、代表的ニ各種ノ物品ノ市價ト云フモノヲ考慮シマスル際ニ、ソレヲ全國的ノ商品トシテ見マスル場合ノ捉ヘ所ハドウモ日本銀行ノ調査ニ依ルコト、即チ東京ノ卸賣價格ニ依ルコトホカ方法ガナイト思ヒマス、是ハ前ニモ申上ゲマシタヤウニ、物價ノ高低ト云フコトニ根據ヲ置キマシテ、サウシチ米ノ大體ノ趨勢ヲ見ルト云フコトナノデアリマスカラ、サウ一々多クノ地方ヲ入レテ考ヘルト云フコトモ出來兼ネルノデアリマス、サウ云フ事カラ吾々ハ物價ノ高低ト云フコトヲ根本ニ考ヘマスル一ツノ基準ト致シマシテハ、此取方ハ差支ナイト考ヘテ居ルノデアリマス

○東郷委員 單ニ物價ノ高低ヲ見定メル一ツノ基準トシテ御取リニナルニハチットモ差支ナカラウト思ヒマス、デスケレドモ此率勢米價ヲ基準トシタ物價調節ノ根本ノ法律ヲ御作リニナル場合——此目的ハ二ツアル、ハッキリ私ハ昨日農林大臣ニモ御尋シテ置キマシタガ、一ハ生産者ノ利益ヲ擁護スル、一ハ消費者ノ生活ヲ壓迫セナイ、此二ツノ重要ナ目的ガアルノデス、殊ニ現在カラ考ヘテ見ルト、農家ガ生産費ニ比較シテ米價ガ非常ニ安クナッテ居ル、又低物價政策ガ現下ノ一ツノ政治上ノ方針ニデモナッテ居ルト云フヤウナコ

トカラ考ヘテ見ルト、米價ガ中々良イ地位ニ上ッテ行クコトモ困難デアラウ、斯ウ考ヘマス場合ニ、生産者ノ立場カラ考ヘレバ、生産者ノ米ヲ賣リ又物ヲ買フト云フ此經濟生活ヲ基礎トシテ判斷シテ行カナケレバナラナイ、ダカラ東京ノ真中ニ於テ日本ノ物價ガドウ云フ風ニ行カト云フ其指數ナリ趨勢ヲ段々比較スル材料ニハナリマセウ、併ナガラ今ミタヤウナ法律ノ力ヲ以テ一ノ國策トシテヤル場合ノ基準トシテハ、私ハ甚ダソコニ適切デナイ點ガアリハシナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、即チ單ニ東京ニ於ケル一般物價指數ト米價ノ指數カラ米價率ヲ出ス、サウシテソレカラ計算ニ依ッテ率勢米價ナルモノヲ御出シニナルト云フコトハ、消費者ニ取ッテハ或ハ正シイ標準ニナルカモ知レヌ、併ナガラ生産者ニ取ッテハ正シイ標準デハナイ、今日ノ農家ノ經濟カラ見タ場合ニ、正シイ定規ニハ成リ得ナイ、非常ナ不利益ナ定規デアルト斷ゼザルヲ得ナイ、先程ノ政府委員ノ御答辯ハ私ハ満足シナイノデスガ、私ノ考ヘルコトガ誤ッテ居リマセウカ、モウ一遍御説明ヲ願ヒマス

○石黒政府委員 大體ノ勢ノ上カラ申シマシテ、米ノ東京ニ於ケル取引ノ價格ト云フモノハ、全國ノ米價ト云フモノニ對シテ代表的ノ力ヲ持つテ居ルト云フコトハ言ヒ得ルト思ヒマス、之ニ大阪等ヲ考慮ニ加ヘマシタルコトニ致シマスレバ尙ホ宜シイト存ジマスガ、サウ澤山ナ地方ヲ取入レナケレバナラヌトハ考ヘテ居リマセヌ、尙ホ此東京ニ於ケル正米市場ノ米價ト云フモノ、中ニハ、永年ニ互リマシテ、生産者ノ方カラ此價ナラバ賣ラウ、需要者ノ方カラハ此値デ買ハウト云フコトノ折合ガソコニ附イタ所ニ値段ガ現ハレテ居ル、斯ウ見ルコトガ出來ヨウト思フノデアリマス、必ズシモ消費者バカリノ好ム値段デキマッテ居ルトハ考ヘマセヌ、ソレカラ尙ホ米穀法出動ノ場合ニ於キマシテ、其時々ノ米ノ値段ガ此標準ニ比ベテ如何デアルカト云フコトヲ見マスル米價ハ、何處ノ米價ヲ見ルノデアルカト云フト、各地ノ農村ニ於ケル米價ト云フモノヲ一々之ニ比ベテ、此村ハ出動スル、此村ハ出動シナイト云フヤウナ事ヲキメル譯ニハ參ラヌノデアリマシテ、ヤハリ全國的ニ見テ今ノ米價ガ基準ニ比ベテ上デアルカト下デアルカト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、故ニ基準自體ト云フモノモヤハリ全國的ニ見タ適當ナル基準ト云フコトデ差支ナイト考ヘルノデアリマス

○東郷委員 東京以外ノ都市ニ於ケル、例ヘバ大阪ノ卸賣ノ一般物價ノ指數、或ハ彼處ノ取引所ノ中米ノ標準米

ノ米價指數、斯ウ云ッタヤウナ事ヲ幾ツカ御集メニナルト云フコトガドレダケ必要デアルカ、ソレヲ私ハ申上ゲテ居ルノデハナイ、或ハ東京ダケデ宜イカモ知レナイ、或ハ多クッテ尙ホ良イカモ知レマセヌガ、私ハサウ云フ事ヲ申上ゲテ居ルノデハナイノデ、詰リ現在御採リニナッテ居ルト云フ日本銀行ノ一般物價指數及ビ米價指數ガ、東京ニ於ケル一ハ中央市場ノ卸賣相場デアリ、一ハ深川ノ中米相場デアルノダカラ、ソレハ農村ハ違フ、詰リ其違ヒ方ガ深川市場ノ米價ヨリモ農村ガ二圓安イ、ソレト同ジヤウニ消費者ノ生活ニ要スル物資或ハ農業生産ニ要スル物資ノ値段モ、東京ノ卸賣相場ヨリモ農村ノ方ガ同ジ割合デ安イ、斯ウ云フノデアレバ東京ノ是ダケガ一ツノ標準ニナッテズット不公平ナク行キマスケレドモ、ソレガ逆ナンデス、即チ米ハ深川ヨリモ安イ、所ガ農家ガ買フ所ノ物資ハ東京ノ卸賣相場ヨリモ遙ニ高イト云フノデスカラ、其處ニ非常ニ農家ノ經濟上ニ於テ不利益ナ事實ガ潛シデ居ル、デスカラ其不利益ナ事實ヲ「チエック」スルニハ、今言ッタヤウナ東京ノ日本銀行ノ一般物價指數及ビ米價指數ヲ以テ出シタ米價率、而シテソレニ依ッテ割出シタ所ノ趨勢米價ダケヲ法律ノ基礎ニナサルト云フコトハ、ドウ考ヘテモ是ハ

消費者ノ爲ニハ合理的カモ知ランガ、生産者ニハ合理的デナイ、私ハ斯ウ斷ゼザルヲ得ナイ、此點ハ農林當局モ決シテ異議ハナカラウト思ヒマス、私ハサウ信ジマスガ如何デゴザイマス

○石黒政府委員 私ハ只今マデ申上ゲタコトヲ繰返ス以外ニハ何モ申上ゲルコトハゴザイマセス、私共ハ之ヲ以テ消費者ニノミ利益ノアル標準ダトハ考ヘテ居リマセス

○東郷委員 消費者ノミニ利益ニナル標準デナイト御考ニナレバ、ソレ以上ハモウ申上ゲマセス、併シ能ク御考ヘ下サツテ、私ノ考ガ誤リデアルナラバ、其誤リヲ成程ト私ガ承服スルダケノ御説明ガ願ヒタイモノト思ヒマス、能ク御考ヘ下サツテ、尙ホ私ノ言フコトガ間違ッテ居ルカ、若シ間違ッテ居ナカタナラバ、更ニ後デ宜シイカラ御意見ヲ承リタイ

○西村委員長 一寸東郷サンニ申上ゲマスガ、サウスルト安藤サンニハモウ宜シウゴザイマスネ

○東郷委員 次ニ御同致シマス、此日本銀行ノ一般物價指數ノ問題デスガ、是ハ先日原君カラモ御尋致シ、先程松山君カラモ御尋ニナッタノデスガ、日本銀行ノ一般物價指數ガ五十六ノ品物ガアツテ、サウシテソレノ平均ヲ出シテアルノデアル、其内容ハ分ラヌ、各品物

ノ一々ニ付テモ内容ハ分ラヌシ、其一々ニ付テノ價格モ日本銀行ハ示シテ呉レナイ、私達先日此品目別ノ價格累年表ヲ要求シテ居リマスケレドモ、ソレモ御示シテサラスト云フコトノヤウデスガ、サウシテ見レバ此内容ハ吾々サツバリ分ラナイト云フコトニナリマス、從來ト雖モ日本銀行ノ此物價指數ハ正確ナ意味ニ於テ大シテ當テニナラナイ、マア吾々ガ或ル目安ヲ付ケル場合

ノ一ツノ標準位ニスルニハ差支ナカラウ、斯ウ言ッタ程度デ此一般物價指數等ガ色々場合ニ利用サレテ居ル、サウ云フ場合ハ差支ナイト思ヒマス、私達モ色々計算等ヲスル時、之ヲ能ク使ッテ見ルコトガアリマスガ、ソレハ差支ナイト思フ、併ナガラ今回ハ少シ違フ、今回ハサウ言ッタヤウナ目安ヲ付ケル位ノ程度デナクシテ、私達ガ幾ラ聞イテモ、一向分リ兼ねルヤウナ、ムヅカシイ數學ナドヲ基礎トシテ御計算ニナルヤウナ根本ヲナス、貴重ナル要素デアル、其貴重ナル要素、或ハコンマ以下三位モ四位モ出ス、云ッタヤウナ計算ヲシテ行カケレバナラヌ、此米價率趨勢、米價ノ基礎ヲ爲スモノト致シマシテハ、私達ハ甚ダ不十分デヤナイカト思フノデアリマス、日本銀行ガ秘密ニシテ居ルカラ、唯日本銀行ヲ信賴シテ、サウシテ之ヲ用ヒテ行クヨリ外ニ

途ガナイト云ッタヤウナコトハ、場合ニ依リケリ、法律ノ基礎、而モ國民ノ利害ニ重大ナル關係ヲ及ボスベキ法律ノ基礎ヲ爲スガ唯一ノ基礎ナノデス、斯ウ云フモノヲ基礎ニシテ米價率ヲ出ス、私ハ是程危険ナコトハナイト思フ、デスカラサウ云フヤウナ不完全ナ、不安ナ指數デ、サウシテ一般物價ノ影響ヲ取除ケル目的ヲ以テ米價指數ヲ日銀

ノ一般物價指數デ割ルト云フコトハ、私ハ妥當ヲ缺イテ居ルノデハナイカト思フ、隨テソレニ依ッテ得タ所ノ米價率ハ、是ハ不正確ナ非難ヲ免レ得ナイ、更ニソレヲ基礎トシテ行クノデスカラ、算出サレタ所ノ米價率デモ、趨勢米價デモ、果シテ何ヲ意味スルノダカ、吾々ハサツバリ分ラヌヤウナ結果ヲ見ルコトニナルヤウニ感ズルノデアル、ソレハドウデモ宜イ、概念デモ宜イノダ、唯一ツ吾々ノ欲スル所ノモノヲ出サンガ爲ニ使ッタノダ、是ヨリ外ニナイノダカラ已ムヲ得ナイノダト、斯ウ言ッタヤウニ簡單ニ之ヲ片付テ行ク、サウシテ其結果率勢米價ナルモノガ出來テ、サウシテ其上下二割ガ所謂基準價格ノ最高最低デアルノダ、唯是ダケハ、ハッキリ分ル譯デスガ、併シサウ云フヤウナコトデハ此法律ノ本當ノ中心トナルベキ基礎ニ大ナル缺陷ガアリ、大ナル不安ガアル、隨テ其率勢米價ノミヲ以

テ基礎トシテ、今言ッタヤウナ米價調節ノ基準ヲ御定メニナルト云フコトハ、其處ニ大ナル缺點ガアルト同時ニ、ソレニ對シテ非難ガアルト考ヘマスガ、其點ニ對シテ當局ハドウ御辯明ニナリマスカ、

○町田國務大臣 此問題ハ先般原君カラ屢々御尋ニナリ、其都度私共ガ出來ルダケ御諒解ヲ得ルヤウニ御答ヲ致シタ問題ト大體一緒デアリマス、先日モ出來ルダケ努メテ見マシタガ、アノ時ニ原君ニ二日ニ互ッタト私考ヘテ居リマスガ、申上ゲタ以外ニ、只今改メテ異ッタ御答辯ヲ致スコトハナイヤウデアリマス、要スルニ生産費生計費ノ調査ヲ取急イデヤル、其間ハ附則ニ於テ暫定的ナ方法トシテ、三十年間ノ米價ノ趨勢ヲ本トシテ、所謂率勢米價ナルモノヲ見出ス、屢々東郷サンハ生産者ノ爲ニ不利益ダト云フ見地カラ御意見ガアリマス、吾々モ生産者ノ利益ハ相當ニ考慮シタノデアリマス、即チ一般物價ノ趨勢ヲ取ラズシテ、一般物價ト米價率ヲ本トシタル趨勢値ヲ見出シテ、之ニ依ッテ率勢米價ヲ得タト云フコトハ、相當多ク生産者ノ立場ヲ考慮シタノデアリマス、ソレカラハ申上ゲルマデモアリマセヌガ、如何ニモ私共ガ生産者ノ立場デモ考慮シテ居ラヌヤウニ、世間ニ萬一誤解スル人ガアッ

テハ困リマスカラ、東郷サンニハ餘計ナ言デハアリマスガ、暫定的ノ方法トシテ、率勢米價ニ依ツテヤリ、此下値二割ト云フ風ニシテ、出動スル場合ニハ生産者ノ立場カラハ多少不利益ダト感ジ得ラレマセウ、併シ率勢米價ノ上値二割ノ場合ニハ消費者ノ目カラ見レバ、此二割ハ生産者ガ利益シテ、消費者タル貧民階級ト申シマスガ、多數ノ消費者ガ餘程不利益ナ感ジラ起スト云フ時代モ亦アルノデアリマス、是ハ消費者ト生産者ノ利害ヲ双方考ヘテ、國家トシテ法ヲ立テル上ニ於テハ、ドウモ一時ハ斯様ナコトデ行クヨリ外ニ途ガナイ、率勢米價ヨリ見テ上値二割ト云フ時ハ、先ツ生産者ニ對シテハ米價ガ上ツテ都合ノ好イ場合ト想像ガ出來マス、其際ハ消費者ガ最モ困難ニ段々陷ツテ行ク時代デアリマス、消費者ノ目カラ見レバ、此上値二割ノ極點ニ行カンケレバ、暫定方法トシテ米ヲ政府ガ賣出サスト云フコトニナレバ、生産者ハ非常ニ都合ガ好イケレドモ、吾々ハ非常ニ困ルト云フコトニナルノデアリマス、其消費者ト生産者ノ双方ノ立場ヲ考慮スル時ハ、此暫定方法デ行クヨリ外ニ、是レ以上ノ考ハ一寸付キマセヌ、其苦心ノ點モ能ク御考察ヲ願ヒマス

○東郷委員 私ハ單ニ生産者ノ利益ノ

ミヲ考ヘテ議論ヲ進メテ居ルヤウニ、農林大臣ハ御考ノヤウデスガ、サウデハアリマセヌ、ソレカラ今ノ生産者ニ不利益デハナイカト云フ御尋ラシタノハ、即チ東京ニ於ケル一般物價指數ト、東京ニ於ケル米價指數トヲ以テ算出シテ來ルコトハ、是ハ消費者ヲ目的トシテハ適切デアルガ、生産者ヲ目的トシテハ適切デナイ、斯ウ申シタノハ其條項ダケニ付テ私ハ申上ゲタノデ、今御尋スルノハ生産者ニ利益ガアルトカ、或ハ不利益ガアルトカ云フ御尋ラシテ居ルノデハナイ、率勢米價其モノ、基礎ニナルベキ一般物價指數其フナラバ、ソレヲ基礎トシテ作出シタ所ノ米價率ト云フモノニ非常ナ缺陷ガアルデハナイカ、之ガ法律ノ基準ニナツテ、或ハ安イ場合、高イ場合ヲ律スル基礎ニナルト云フコトニ付テハ、吾々ハ餘程考ヘナケレバナラヌ、所謂率勢米價一本デ行クト云フコトハ、國民全體ノ經濟上ノ利害ヲ考ヘル場合ニ、非常ニ缺陷ガ多イノデハナイカ、其點政府當局ハドウ御考ヘニナリマスガ、今度ノ場合ハ斯ウ御尋シタノデアリマデスカラ今ノ農林大臣ノ御答辯ハ、私ガ前段ニ於テモウ質問ガ濟ンダコトニ週ツテ御話デアリマスカラ、話ガ混ガラカルノデアリマス、私ハ繰返シ

申上ゲマスガ、日本銀行ノ調査ニ依ツテ、ソレヲ基礎トシテ御出シニナツタ米價率及ビ率勢米價ト云フモノハ缺點ガアル、其缺點ノアルモノデ米價指數ノ基準ヲ御定メニナルト云フコトハ、其處ニ大ナル缺陷ガアリ、サウシテ世間ノ非難ガアルデアリマセヌカ、之ニ對シテ農林大臣ハドウ御考ニナルカ、斯ウ云フ御尋ヲスルノデアリマヌ

○町田國務大臣 是ハ初ニ御答シタ通り二日ニ互ツテ原君ノ御質問ニ對シテ、私ガ出來ルダケ御答シタコト、大體同様デアリマス、例ヘバ日本銀行ノ明治三十三年以後ノ物價指數ハ完全ト認メルカト云フ意味ノ御言葉ガアリマシタガ、私モ遺憾ナガラ是ハ完全トハ申サレヌ、殊ニ近來發達シタ統計學ノ見地カラ致シマスレバ、先ヅ日本銀行ノ選ビマシタ品ハ慥カ五十六品ト思ヒマシタガ、此選ビマシタ五十六品モ果シテ適當デアルカ、一點非難ガナイカ否ヤト言ヘバ、相當議論ノ餘地ガアルコト、思ヒマス、ソレカラ昨今歐米各國デヤツテ居ル例カラ見マスレバ、私ノ僅カナ乏シイ知識ヲ以テ見マス、モウ少シ違ツタ品目ノ種類ノ選ビ方モアル、モット數ヲ多クシテヤツタ方安全ダト思ハレル節モアリマス、昨今日本ニ於ケル雜誌社、新聞社或ハ商工會議所ア

タリモヤツテ居ルヤウデアリマス、併ナガラ申スマデモナク斯様ナ統計ガ年數ガ長ケレバ長イ程、先刻モ高橋君カラ御尋ニナツタ大キナ變動ノ場合ヲ除クヤリ方モアリマスガ、年數ガ長ケレバ長イ程種々ナル一時ノ現象ガ加味サレテ居リ、分量ガ減ツタ形ニ相成ルノデアリマス、是ハ爭ハレヌ事實デ、本郷サンモ此點ハ御承認下サルト思ヒマス、シテ見レバ日本ニ今アル統計ノ中デ、是ガ一番年數ガ長イ、サウシテ何人カラ見テモ絶對的ニ缺點ガナイトハ申サレマセヌガ、日本銀行ガ相當ノ機關ヲ以テ、物價對策或ハ通貨對策ヲ講ジ、國際貸借ノ政策ヲキメル基礎トシテ、主トシテ物價ノ趨勢ヲ材料ノ一ツト重ク見テ居ル日本銀行ガ、相當ノ機關デ作ツタ此統計ハ不完全ト申セバ不完全デアルガ、今日日本ニアル統計ノ中デ一番長ク使ツテ居リ、相當信頼スベキ機關ニ依ツテ出來テ居リ、年數ガ一番長イカラ比較的是ハ完全デアアル、若シ完全ダト云フ言葉ガ惡イナラバ不完全ナ程度ハ是ガ一番低イト云フ言葉マデ使ツテ、先日考ヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、ドウモ原サンニ對シテ二日ニ互ツテ御答シタ以上ニ、私ガ改メテ異ツタ言葉ヲ以テ説明ヲ申上ゲルコトノ出來ヌコトハ甚ダ汗顔デアリマスガ、是デ御満足願ヒタイ

○東郷委員 諄イヤウデアリマスガ、サウシマスト缺點モアル、併ナガラ日本ニ於テハ是ヲ採用シテ行クコトガ一番適切ダト思フカラ採用シタニ過ギナイノダ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ宜シウゴザイマスカ

○町田國務大臣 私カラ申上ゲルト、モウチット違ッタ言葉デ申上ゲタイノデアリマスガ、併シ大體今御使ヒナサッタ言葉デモ宜シイト思ヒマス

○東郷委員 次ニ御伺致シマスガ、政

府ガ御示ニナッタヤウナ方法經過ヲ以テ御算出ニナッタ所謂此率勢米價ト云フノハ、過去ノ長イ間ニ互ル米價ノ趨勢、農林大臣ハソレガ長イ程宜イト仰シヤイマシタガ、此過去長年月ニ互ル米價ノ趨勢デ以テ將來ノ基準米價ヲ算出スル、斯ウ云フコトニナルノデスガ、此過去長年月ニ互ル米價ノ趨勢ガ、將來ノ米價ヲ律スル上ニドレダケノ效果ガアルモノデアリマセウ、是非非常ナ其處ニ疑問ガアリ得ルト思フノデス、ナゼナレバ過去ノ米價ノ趨勢ヲ決定シタ色々ノ原因ト言ヒマスカ、因子ト言ッタ方ガ宜ウゴザイマセウ、因子ハ年ト共ニ變化スルモノデアアル、過去三十年ノ間ニ色々ノ米價ノ趨勢ヲ支配スル因子ガアッタガ、ソレハ年ト共ニ變化スルモノデアアル、ダカラ昭和五年マデノ過去何十年間ノソレ等ノ因子ノ變化ト、

昭和六年ノ因子ノ變化ト云フモノハ非常ニ違フ場合ガアル、即チ米價ノ趨勢ヲ決定シタ色々ノ因子ト云フモノガ、年ト共ニ變化スルト云フモノデアレバ、是ハ過去ノ長イ間ノ米價ノ趨勢、ソレノミヲ以テ將來ノ米價ヲ律スルト云フコトハ、其處ニ效果ガ疑ハレル、其處ニ非常ナ缺陷ヲ見出シ得ルノチヤナイカ、斯ウ云フコトヲ私共ハ考ヘルノデスガ、之ニ對スル御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○町田國務大臣 其點ニ對シマス、専門的研究ヲサレタ東郷サンニ、ホンノ常識ヲ以テ判斷ラシテ居ル私ノ答辯デハ御満足ナイカモ知レマセウ、併シ東郷サンノ今御用ヒニナッタ種々ナル因子ガ加ッテ、米價ヲ支配スルト云フコトデアリマスレバ、從來三十年間ニ相當ナ波ガアリマシタ、其波ニモ種々ナル因子ガハイッテ居ルノデアリマス、ソレガ長イ年數ノ間ニ自然ト一ツノ大體ノ趨勢ヲ見ル、大體ノ趨勢ハ之ニ依ッテ誤リナイト云フコトガズット引續イテ行キマスルカラ、今後ノ因子ト云フコトハ、從來ニ於テモヤハリ種々ナル因子ガハイッテ居ッタニ違ヒナイト思ヒマス、或ハ經濟界ノ大變動、或ハ戰爭、種々ナル意味ニ於テ支配サレタ分量モアリマセウガ、ソレガ皆ハイッテ居リマスカラ、其點ハ致方ナイト思ヒマス、

其點デ少シ足ラヌ所ハ農務局長カラ申上ゲルトシマシテ、私ノ非常ニ心配シテ居ルノハ、率勢米價ノ問題モ隨分困難ナ問題デアルト同時ニ、將來ノ生産費ト云フモノヲ見出シテ、多分東郷君モ生産費ヲ基準ノ一ツトスル場合ハ、各地方カラ得タ所ノ生産費ノ中庸ヲ取ルヨリ外ニ仕方アリマスマイ、一番高イ生産費ノ掛ッタ所ヲ標準トシテ、米價ガ出動スル譯ニハ實際參ラヌヤウニ私ハ思ッテ居リマス、試ニ東郷サン

ガ局ニ當ッタトシテ、生産費ノ中庸ヲ得テ、農家全體ニ均霑スルヤウナ生産費ガ見出サル、ヤ否ヤト云フコトモ、ヤハリ困難ナ問題ト思ヒマス、吾々ハ努メテヤリマスルモノ、率勢米價ノ間ニ御議論ガアルト同時ニ、將來ヤハリ生産費ヲ茲ニ公表スル、其生産費ニ付テモ相當大キナ議論ガアルコト、思ヒマスガ、其處デアリマス、私ハ國家

ハ長イ間局ニ當ッテ居ル農務局長カラ御答シタ方ガ却テ御了解ガ行クヤウニ思ヒマス

○東郷委員 農務局長何カ御説明ガゴザイマスカ

○石黑政府委員 大臣ガ只今御述ベニナリマシタ所ニ別ニ加フベキ所モナイノデアリマスケレドモ、尙ホ過去ノ物價ナリ米價ナリト云フモノヲ考ヘルコトガ、將來ニ對シテドウ云フ意味ガアルカト云フコトノ御尋デアリマス、私共ハ之ニ依リマシテ生産者モ消費者モ大體生産及ビ家計ヲ立テマス上ニ於テ、其土臺トシテ大體ノ觀念ヲ其上ニ置ク、斯ウ思ヒマス、米ノ値段ト云フモノハ安イ年モ高イ年モアリマスケレドモ、永年ノ過去ノ經驗ノ上ニ於テ先ヅ此位ト云フコトヲ考ニ置イテ、サウシテ生産額モ大體ソレニ依ッテ向上シテ參ル、消費者ノ方ノ家計ノ基礎モソレニ依ッテ解決サレル、無論年ニ依ッテ色々ノ違ヒノアルコトハ、東郷サンノ仰シヤルコトヲ私ハ否認スルノデアリマセヌケレドモ、大體三十年時代、或ハ四十年時代、ソレガ大正ニナリ、昭和ニナルト云フ永イ年ニ於テ、大體ノ根據ヲ過去ノ米價、物價等ニ於テ、生産者、消費者共ニ生産費ヲ定メ、家計費ヲ定メテ居ルト云フコトガ、意味ノアルコトデアラウト考ヘルノデアリマス

○東郷委員 農林大臣ノ御話デスガ、此率勢米價ガ色々カマシク言ヘバ議論モアルダラウ、又ソレト同ジヤウニ生産費ニ付テモ容易デナイカラ、マア大體達觀シテ行クヨリ外ニアルマイト言フタヤウナ御話デアリマス、私ハ生産費ノコトハ後デ御伺ヒスル積リデアリマスガ、私ノ申上ゲルノハ何シロ今回ハ三ツノ要素ガアルノニ生産費、家計費ガ調査ガ出来ナイカラ、ソレガ出来ルマデハ暫定的ニ率勢米價一本デ行クト云フ御方針デ法律ガ改正サレルコトニナルノデスカラ、率勢米價一本デ行ク場合ニハドウ云フヤウナ結果ヲ來スカト云フコトヲ、私達ガ素人ナガラモ研究シテ行クト云フコトハ、是ハ當然ナコト、思フ、私ハ何モ茲ニ理窟ヲ申上ルノデハナイ、理窟ヲ言フ資格モアリマセヌ、唯吾々ガ極ク通俗のニ考ヘテ見ナケレバナラヌ範圍ニ於テ申上ゲルノデアリマスガ、ドウモ政府ノ御示ニナツタ此方式ニ依ル率勢米價ニ依ッテ、將來ノ基準米價ヲ御定メニナル基礎ニサレト云フコトガドンナモノデアラウカ、其處ニ非常ナ疑問ガアリマス、私ハ茲ニ何モ諄々シク申上ゲル積リデアリマセヌケレドモ、例ヘバ農林大臣モ先程御話ニナリマシタガ、米價ノ變動ニハ色々ノ事情ガアル、或ハ戦争ト云ッタ如キコトモアルコトハ私ハ其通りダト

思ヒマス、即チ、米價ノ變動ト云フモノ一般物價モ同様デアリマスガ、永年の傾向、或ハ循環のニ來ル變動、或ハ季節的ニ來ル變動、其他突發的ニ起ル變動、斯ウ云フモノガアルト思ヒマス、是等ノ色々ノ變動ト云フモノハドウ云フ因子ニ支配サレルカ、色々アリマセウケレドモ、吾々ガ一寸考ヘテ見ルト、例ヘバ貨幣價值ノ變動、年ノ豊凶、或ハ人口ガ殖エタトカ、減ッタトカ、或ハ景氣ガ好イトカ惡イトカ云ッタヤウナ、サウ云フ景氣ノ變動ニ依ル、此人口一人當リノ米ノ消費量ノ變動、或ハ農業技術ノ進歩如何ニ依ッテ、ソコニ米ノ供給ノ増減ガアリマス、サウ云フヤウナ事實ガアル、或ハ外米、殊ニ目下日本ニ於テハ植民地米ノ移入ノ問題ガアリマスガ、其外米ノ輸入、或ハ植民地米ノ移入ノ額ノ多少、或ハ投機、思惑、其他農林大臣ノ御舉ゲニナリマシタ戦争ダトカ、或ハ大正十二年ニ起ッタ關東ノ大地震ダトカ云ッタヤウナ、所謂天災地變ト申シマスカ、サウ云フヤウナ偶發的ノ事情等モソコニ生レテ來ル、ソレ等ガ此米價ノ變動ノ素因ヲ爲スモノデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、是等ノ原因ノ中デ、例ヘバ貨幣價值ノ變動ニ基ク影響ナド、云フモノハ、是ハ一般物價指數ヲ以テ米價ヲ割ルコトニ依ッテ、取除ケラレル譯デアアル、サウ云フヤウ

ナ意味デ、今度モ米價率ガ出テ居ルヤウデスガ、併ナガラ貨幣購買力ノ情性ノ特ニ著シイト思ハレル米穀ニ對シテハ、斯ウ云フ方法ニ依ッテヤッテモ私ハソコニ粗雜ナル點ガアルコトノ非難ヲ免レナイ、ソレカラ年ノ豊凶ノ影響、或ハ需要ノ變動ト云ッタヤウナコトハ、是ハ統計ノ法式デ以テ測定スルコトガ出來ル、併シ其他ニ尙ホ測定ノ出來ナイ因子ヲ私ハ殘シテ居ルノデヤナイカト思ヒマス、デスカラ斯ウ云フヤウナ所カラ考ヘテ見マス、過去長イ間ノ米價、或ハ其他ノ色々ノ事情ニ依ッテ將來ヲ測定スルト云フコトハ、是ハ中々困難——困難ト云フヨリ完全ヲ期スルト云フコトハ餘程ムヅカシイデヤナイカト思フ、吾々ガ農產物ノ價格ノ將來ヲ豫測スル、斯ウ云ッタヤウナコトハ色々ノ意味ニ於テ必要ダト思ヒマス、外國デモ進ンダ國デハ能クヤッテ居ル、亞米利加ノ如キ斯ウ云フ方面ニ力ヲ盡シテ居ルヤウデスガ、亞米利加ノヤウナ統計材料ノ完全デアリ、統計技術ノ進歩シタ國デアッテモ、尙ホ農產物ノ將來ノ價格ヲ豫測スルト云フコトニ於テハ、完全ナル成績ヲ擧ゲテ居ナイ、ト云ッタヤウナ實情ニアルコトヲ私ハ聞イテ居ル、將來ノ價格ノ豫測ヲスル——過去ノ今言ッタヤウナ事情デ將來ヲ豫測スルト云ッタヤウナコトデサヘ中々完全ニ行カナイ、サウデ

アルノニ今度ノ場合ハ唯將來ノ米價ヲ豫測スルノデヤナイ、ソレデ以テ基準價格ヲ設定スル、即チ法律ノ力ヲ以テ、ソコニ生産者消費者ノ兩面カラ見テ、適當ナル、謂ハバ公正ナル米價ト云フモノヲ算出シテ行カウ、斯ウ云フノデスカラ單ニ農產物ノ價格ノ將來ヲ豫測スルト云ッタヤウナ簡單ナモノデヤナイ、ダカラ非常ナ困難ナ點ガアルト私ハ思ヒマスカラ、ソレ等ノ點カラ考ヘテ見ルト、率勢米價ノミヲ以テ、國家ガ法ノ力ヲ以テ、米價調節ニ出動サレル所ノ基準ノ最高、最低ヲ御定メニナルト云フコトハ、何ダカ非常ニ不都合ナ點ガアルノデヤナイカト、斯ウ云フコトヲ私ハ痛切ニ感ズルノデアリマス、私ハ理窟ヲ申上ゲルノデヤナイ、極ク常識的のニ考ヘテ斯ノ如キ心配ガアリマスカラ農林大臣ニモ御伺シタノデアリマス、之ニ對シテ御所感ガアレバ改メテ御伺致シマス

○町田國務大臣 ドウモ不敏ニシテ一昨昨日來數回申上ゲタコト以上ニ、更ニ東郷サンノ御信念ヲ以テノ御質問ト私ハ了解致シマスガ、ソレハ解クダケノ、從來申上ゲタ以上ノ事ハ、更ニ他ノ言葉ヲ以テ御答辯スル方法ヲ知リマセヌ、併シ大抵御承知デアリマシタラウガ、大正四年、五年ノ間ニ米價ガ非常ニ安クナツテ、世論ガヤカマシカッタ時

ニ、米價調節委員會ト云フ、餘程大キナ規模ノ調査會ガ出來タガ、遂ニ結論ニ達シナカッタ、併ナガラ相當有力ナハ生産費生計費ト云フコトモ當分調査ガ面倒ダカラト——大隈内閣時代ト思ヒマスガ、當時ハ十四五圓位ノ價デ米ヲ買ッタ爲ニ米價ガ回復シタ時ノ委員會デアリマシタガ、連モ合理的ナ生産費等ヲ調べタルコトハ餘程面倒ダ、十五圓カラ十九圓ノ間ノ米ノ動キハ是ハ大勢ニ任シテ置イテ、確カ十四圓ト思ヒマスガ、十四圓カラ十九圓ノ範圍ヲ越シタ時ニ國家ガ初メテ出動シヤウデヤナイカト云フヤウナ議論モ、相當有力ナ議論デアッタノデアリマス、今度率勢米價一ツデ、生産費、生計費ノ調査ヲ急イデヤリマシテモ、一年ト云フ譯ニハ或ハ參ラス、其間三十年間ノ米價ノ趨勢ヲ重ク見タ所ノ、所謂率勢米價——重ク見タト云フ言葉ハ惡イカ知レマセヌガ、一般物價ノ指數ニ對シテ米價ノ所謂米價率ガ使ッテアリマス、其米價率ヲ本トシテ趨勢値ヲ見出シタ方法ニ依ッテ——日本銀行ノ統計ガ不完全ト申セバ不完全デモ宜シイガ、此米價ト云フモノノ趨勢ヲ見テ相當ナ「ウエート」ヲ加ヘタモノデ、差當リ消費者、生産者ニ、大キナ利害ニ反シタコトノ生ゼヌヤウニ之ヲ調和シタ意味ヲ以テ、暫時ノ間、上ニ二割下ニ二割

ト云フ所ノ限度トシテ暫ラク出動スル、若シ米ヲ買フ場合ニナレバ率勢米價 下ニ二割ノ時ニ出動シマスカラ、生産者ニ於テハ少シ不利益ダト感ゼラル、コトモアリマセウ、上ニ一割ノ時ハ生産者ハ儲カルガ、吾々消費者階級ハ困ルト云フヤウナ感ジモアリマセウガ、ソレハ前申シマシタ通り、大正四五年ノアノ米價調節委員會ニ於テモ、マア暫クハ大局カラ見テ餘リ大キナ變動ヲ避ケル意味デ立法シヤウデヤナイカト云フ議論ガ、盛デアリマシタ實例等モ御參考ニ申上ゲテ、何カ新ナ事例ヲト思ヒマシタケレドモ思ヒ出セマセヌカラ、其點ヲ加ヘマシテ御答トシ、多クハ原君ニ向ッテ二日ニ互ッテ此點ヲ申上ゲタコト以外ニハ、私トシテ申上ゲルダケノ材料モアリマセヌ、尙ホ農務局長カラデモ御了解ヲ得ルヤウニ努メマス

○東郷委員 農林大臣ハ東郷ノ信念ニ基イテノ何カ意見ナリ、主張ノヤウニ仰セニナリマシタガ、私獨斷的ナ特別ナ信念デ申上ゲルノデヤアリマセヌ、疑問ガアルシ、又疑問ノ依ッテ起ル所ノ根據ハ、或ハ統計學、或ハ經濟ト言ッタヤウナ方面カラ、常識的ニ考ヘテモ分ルノデスガ、茲ニ私ハムヅカシイ學問的ナコトヲ申上ゲルノデモナイ、マダソレダケ申上ゲル柄デハアリマセヌ、同時ニ私獨斷的ニ自分ノ信念、オ前ノ信念デソレヲ言フノダト言ッタヤウナ意味ノ御言葉ハ、私ノ氣分ニ當ッテ居リマセヌ、私ハ眞ニ憂ヘマスカラ私ノ疑問ヲ質シテ置カナクテハナラヌ、疑問ヲ質スニハ相當ノ根據ヲ持チ、ソコニハ學問的ナ根據モナケレバナラヌ、又常識的ニモ根據ガナクテハナラヌト思ヒマスカラ、私ノ力デ出來ル範圍内ニ於テ、極メテ通俗的ナ——吾々ガ此問題ヲ解決スル時ニハドウシテモ確メテ、納得シテ行カナケレバナラヌト思フ範圍内ニ於テ御尋致スノデアリマヌ、今ノ農林大臣ノ御答辯ハドウモ満足ハ出來ナイノデスガ、是レ以上御答辯ガ御出來ニナラヌト云フナラ已ムヲ得マセヌ、已ムヲ得マセヌガ、私ハ斯ウ云フコトニナリハセヌカト思フノデス、今申上ゲタヤウナ意味デ、現在政府ガ御考ヘニナッテ居ル率勢米價ト云フモノハ非常ナ缺點ガアル、強テ之ヲ行ッタ場合ニハドウ云フコトニナルカト云フト、成程率勢米價ト云フモノガ出來デ、其上下二割ト云フ範圍ニ米ノ値幅ガキマル、斯ウ云フコトニナルカモ知レヌ、サウシテソレハ米價ノ安定ガ出來ルカモ知レヌ、率勢米價ガキマリ、其上下二割ヲ値幅ニスルナラバ、其四割ノ間ニ米價ノ安定ガ出來ルカモ知レナイ、ソレガ過去ノ米價カラ豫想サ

レテ、ソコニ置クト云フノガ宜イノダト云フ一ツノ推定ガ出來ルノデスガ、併シソレガ本當ニ例ヘバ今年ニスレバ昭和六年ノ米價トフモノガ、本當ニ正シイ米價デアルカドウカト云フコトハ、私共ハドウシテモ考ヘ得ラレナイ、ト云フノハ先程言フヤウニ、周圍ノ色々ノ因子ト云フモノハ變ッテ行キマス、今年ハ今年ノ特別ノ因子ガアリマスカラ、今年ノ米價ノ變動ト云フモノハソレニ依ッテ支配サレルノデス、デスカラ米價ハ安定スルカモ知レヌガ、其安定シタ米價ト云フモノハ必ズシモ生産者ノ利益ヲ保護シ、消費者ノ生活ヲ壓迫シナイ、斯様ニソコニチャント斯ウデナケレバナラヌト言ッタヤウナ、其米價トハ全然關係ナイモノデアルト私ハ思フ、詰リ生産者ナリ消費者ナリカラ見テ、政府ガ今度御示ニナッタヤウナ方法ナリ、或ハ材料デ以テ將來ヲ豫想スルナラバ、米價ガ率勢米價ノ上下二割ノ範圍内ニ落著クデアラウト云フ一ツノ期待ヲ裏切ラナイ、サウ云フヤウナ米價カソコニ定マルダケノ話デアッテ、ソレ以上ニ出デナイト思ヒマス、デスカラ此結果何人ガ利益スルカ、損ヲスルカト云フヤウナコトハ甚ダ疑問デアリマス、サウ考ヘマスト、今ノ計算デオヤリニナレバ、成程率勢米價モ出ル、上下二割ノ米價モ出ル、而シ

テ米價ヲ安定スルコトモ、出動ノ如何ニ依ツテハ目的ヲ達スルカモ知レナイ、併シソレハ唯ソレダケノ話、ソレデ果シテ生産者ノ利益ヲ保護シ、或ハ消費者ノ生活ノ壓迫ヲ取除ケ得ルカト云フコトハ、非常ナ疑問デアアル、其外ニソレヲキメル色々ナ要素ガアルノデハナイカ、私ハソレヲ申上ゲテ居ル、之ニ付テ御意見ガアレバ承リタイト思ヒマ

○石黒政府委員

東郷サンノ御尋ノ過去ノ米價、物價ト云フモノニ根據ヲ置ク率勢米價ト云フモノガ、將來ニ對シテドウ云フ風ナ意味ヲ持ツカト云フコトハ、先程私ノ考ハ申上ゲマシタ、其後ノ御尋デアリマスル色々ナ因子カラ經濟界ノ變動ガ來タ場合ニ於テ、過去ノ米價、物價ト云フモノニ根據ヲ置ク率勢米價ト云フモノハ、不適當ナコトニナリハシナイカ、斯ウ云フ御尋デアリマスガ、甚シイ經濟上ノ變動ノ參リマシタ場合ニ關シマシテハ、東郷サンモ御承知ノ通り、米穀調査會デモ議論ガアリマシタ、ソレニ付キマシテハ米價基準ノ改定ト云フコトヲ認メテ居ルノデアリマス、ソレニ依ツテ立テマシタ今回ノ法案ニ關シマシテモ、ヤハリサウ云フ經濟界ノ大ナル變動ノアリマシタ場合ニハ、最高最低ノ基準價格ヲ改定スルト云フ考デ居ルノデアリマ

ス、是ガ五條ニ於キマシテ命令ニ於テ規定ヲスルト云フコトノ事項ノ中ノ一ツデアリマシテ、命令規定事項ヲ書イテ出セト云フ御要求ニ對シマシテ、規定致スベキ事項ヲ書イテ差出シマシタヤウナ次第デアリマス

○東委員

率勢米價ノ問題ハ、當委員會開會以來殆ド十回以上ニ亙ツテ議論ヲ致シテ居ルノデアアルガ、議論ハ容易ニ盡キナイ、ソレデ算數家ノ安藤博士ヲ呼出シテモ、新井博士ヲ呼出シテモ、色々調査シテモ是ハ到底吾々ハ承服出來ヌト思フ、此上幾ラ押問答ヲシテモ仕方ガナイ、農林大臣モ大分御疲レニナッタヤウデ、非常ニ御迷惑トハ思ヒマスガ、併シ吾々ガ分ラヌ儘ニ闇雲ニ之ニ賛成スルコトハ出來ナイ、所謂民ハ由ラシムベシ知ラシムベカラズデ、是ガ宜イノデアアルカラ、之ニ依ツテ我國ノ米價ヲ定メルノダト云フコトハ、餘リニ專制的ナヤリ方デアアル、立憲的ノ今日ニ於テ、大衆モ分ラズ、大臣モ局長モ分ラズ、議員モ分ラヌモノニ賛成シロト言ウテモ賛成スルコトハ出來ナイ、恐ラク與黨ノ諸君モ同感デアラウト思フ、當局者ヲ絕對ニ信賴スルト云フナラバ、ソレモ一ツノ方法デアラウ、當局者ガ是デ宜イト言フカラ、吾々ハ盲從スルノダト云フナラバ是ハソレマデバアル、ケレドモ吾々ハ説明出來ヌ

コトニ向ツテハ賛成シヨウガナイ、此以上幾ラ押問答ヲシテモ盡キナイノデアリマスガ、大臣ノ仰シヤル生産費ニ付テモ是ハ同ジコトダト思ヒマス、生産費ヲ非常ナ金ヲ掛ケテヤツテ見タ所ガ、到底生産費ニ依ツテノ基準ガ、是ガ正シイ基準デアルト云フヤウナモノガ中々得ラレナイト思フ、ソコニ於テ達觀ト云フヤウナ御議論モ屢々拜聽シタノデアリマスガ、私ガ此處デ御伺シタイノハ、先程松山君カラシテ御話ガアッタガ、私共モ非常ニ物價指數ト云フコトニ疑問ヲ持ツテ居ルノハ、米價ガ物價ノ何時デモ下廻リヲシテ居ル、明治三十三年カラ日本銀行ガ五十六種ノ品目ニ依ツテヤツテ居ル、ソレデ松山君ガ質問ヲシタ場合ニ、斯ウ云フモノヲ調査シテ吳レト言ッタノハ、日本銀行ガ物價ノ指數ヲ割出ス其算出ノ基礎ヲ何處ニ置イテ居ルカ、例ヘバ材木ニシテモ、南洋材モアレバ北洋材モアル、或ハ樺太材モアルト云フヤウナ譯デアアルガ、日本銀行デハ木材ノ生産費ニハ日本材ヲ用ヒテ居ラヌト云フコトナドヲ吾々ハ聞イテ居ル、サウシテ又此五十六種ノ品目ノ中ニハ國民ノ生活ニ直接ニ關係ノナイ煉瓦デアルトカ、或ハ疊表デアルトカ——是ハ關係ノナイト云フコトハナイガ、吾々ノ實生活ニ付テハ、ナケレバナラヌト云フ物デハナイ、煉

瓦トカ或ハ「セメント」デアルトカ、或ハ疊表トカ、輕節デアルトカ云フヤウナモノハ、サウ需要供給ニ變動ノナイモノデアアル、物價トシテモ一時ニ供給ノ出來ルモノデアアルシ、或ハ不足スル場合ニハ直グ供給ノ出來ル、需給ノ割合ニ安定シテ居ルモノト、米價ノヤウナ一日モ一時モ缺クコトノ出來ナイ國民生活ノ資料トナルモノト、此五十六種ノ品目ヲ對照シテ割出シタ物價指數ヲ一ツノ條件トシテ、サウシテ米價ノ基礎ヲ定メルト云フコトニ對シテハ、ドウ考ヘテ見テモ疑問ガアル、是ハ質問應答ニ依ツテ眞理ヲ見出スコトハ到底出來ヌト思フ、大臣モ不完全デアルト云フコトハ先程カラ申サレテ居ル、吾々ハ深く研究スレバスル程是ハ迷路ニ入ルヨリ外ハナイノデアリマス、ソレデ此議論ハ私ハ餘リ深クハ——サウ云フ知識モ持ツテ居リマセヌカラ、申上グルコトハ出來ナイノデアリマスルガ、唯私ノ疑問ニ思ツテ居ルノハ、率勢米價ニ依ルト本年ノ只今ノ米價ハ十八圓二十八錢ト云フコト、是ガ即チ私共ハ非常ニ疑問ヲ置イテ居ル、之ニ付テ私共ガ能ク了解スルヤウナ御説明ヲ願フト大變宜イト思フガ、第一ニ此十八圓二十八錢ト云フ率勢米價ヲ出シテ、是ガ相當價格デアアル、出動ノ基準デアルト云フコトハ、是ハ農民ノ爲ニハ私

ハ餘リ利益デナイト思フ、ソコデ私ノ質問ハ、大藏大臣ハ屢々豫算總會或ハ本會議ニ於テ、昭和五年度ノ物價ハ全體ニ付テ二割八分ノ下落デアル、斯ウ云フノデアル、私共ハ二割八分ト云フガ是モ疑問ガアル、是ハ大藏大臣ノ説明デアルカラ、私共ハソレヲ信賴スル外ナイノデアルガ、二割八分ノ物價ガ下落シタト云フナラバ、米價モヤハリ此物價ノ下落ニ相當シタモノガ今日ノ米價ノ標準價格ニナツテ然ルベシ、所謂達觀のニ考ヘテサウ思フ、ソコデ昨年ノ米價ハドウデアルカト云フト、上半期ハ二十九圓——マア三十圓シテ居ッ

ガ、私共ハ他ノ物價ニ比較シテ非常ニ安クナリ過ギテ居ルト思フ

○石黒政府委員 十八圓ト云フ値段ニ付テノ御尋デアリマスガ、ソレハ先日

來色々御審議ニナツテ居ルヤウナ方法ヲ以テ、本年ニ對スル率勢米價ヲ出シテ、ソレニ對シテ下値二割ト云フコトヲ押ヘマスト其値段ニナルノデアリマス、隨ヒマシテ問題ハ下値二割ト云フ事ガ良イカ惡イカ、斯ウ云フコトニナルノデハナカラウカト思ヒマス、下値二割、上値二割ト云フモノヲ出シマシタノハ、是ハ明治三十四年以來ノ年々ノ平均米價ニ對シテ、其年ノ内ニ於ケル最高最低ノ米價ノ開キヲ年毎ニ取ッテ見マシテ、ソレヲ平均致シマス、一割八分バカリニナルノデアリマス、上ノ方モ一割八分、下ノ方モ一割八分ト云フ程度ニナツテ居ルノデアリマス、此平均ノ高低ト云フコトヲ玆ニ取上ゲマシテ、之ヲ米價變動ノ自由ナル範圍トシマシテ、率勢米價ヲ中心トシテ自由範圍ヲ認メル、斯ウ云フコトニシタ譯ナノデアリマス、米價ノ異常ナル昂騰竝ニ暴落ト云フモノヲ調節致シマスル實行ニ方リマシテ、米價變動ノ自由ナル幅ヲ幾干ノ範圍ニ認メルカト云フコトトハ重要ナ問題ダト考ヘマス、之ガ小サキニ過ギマスト調節ノ實行ハ非常ニ困難デアルバカリデナク、生産者、消費者、

商人等ノ爲ニ取引ノ自由ノ範圍ガ非常ニ局限サレテ、適當デナイト考ヘルノデアリマス、又限リアル資金ヲ以テ、僅カナ値幅ヲ出タラ直グ上下共ニ調節シナケレバナラヌト云フコトニナルト、調節ノ實行ト云フコトハ非常ニ困難ナ事ニナルト考ヘルノデアリマス、サウカト云ツテ此範圍ヲ非常ニ大キク認メルニ過ギマスナラバ、ソコデハ何等ノ出動ヲモ致サナイ、即チ調節の出動ヲ致サズニナツテシマフト云フコトニナルノデアリマス、デアリマスカラ、一面調節ノ實行性ヲ考ヘマシテ、又米價變動ノ實情ヲ顧ミマシテ、適當ナル範圍ニ之ヲ定メテ行クコトガ必要ナノデアル、ソレガ爲ニ過去約三十年ニ亘リマシテ、年平均ノ米價ニ對シテ、上下ノ變動ノ最高、最低ヲ見マスト云フト、今ノヤウナ一割八分二厘幾ラニ當リマスルガ故ニ、之ヲ約二割ト見マシテ、値幅ヲ定メタ譯デアリマス、此下二割ヲ割リマシタ場合ニ於キマシテハ、平常ニ於ケル下落ト云フモノ、程度ヲ超エタ場合デアアルカラ、ソレニ對シテ米穀法ハ買上ゲ發動ヲ致ス、斯ウ云フコトニ致シタイト云フ意味ヲ以チマシテ、之ヲ定メマシタ譯デアリマス、ソレガ十八圓ト云フ所ニナツテ居ル譯デアリマス

○東委員 私ハサウ云フ質問ヲシタノ

デハナイ、農務局長ノ御答辯ハ私ノ質問トハ違ツテ居ル、私ハ二割ノ値幅ヲ置イタコトガ善イトカ惡イトカ、此範圍デナケレバナラヌト云フヤウナコトヲ質問シタノデハアリマセヌ、私ノ質問ヲモウ一遍申上ゲマスガ、昨年ノ金解禁ノ影響デアアルカ、世界のノ影響デアアルカ、或ハ特別ノ影響デアアルカハ知リマセヌケレドモ、現實ニ物價ハ二割八分下落シテ居ルト、此處デ大藏大臣ガ屢々言明シテ居ル、ソレデアアルカラ此物價ノ下落ニ比較スルト、今日ノ米ハ、率勢米價ノ十八圓ト云フモノガ果シテ正シイモノトシテモ、一般物價ノ二割八分ヨリマダ以上三割モ三割以上モ下テ居ル、一般物價ニ對シテ非常ニ値下リニナツテ居ル、物價ノ二割八分ニ依ッテモ、今年ノ米價ハ非常ニ安過ギル、此率勢米價ヲ正シイモノトシテ此標準ニ依ッテモ、尙ホ吾々ハ物價指數トノ關係、昨年ト今日ノ關係ヨリ言ヘバ、十九圓何十錢、二十圓位ノ値段ヲ保タナケレバ、農民トシテ非常ニ不幸ナ立場ニ立ツノデアリマス、尙ホ十九圓十七錢ガ相當デアアルカ否カハ別問題デアアルガ、物價ノ二割八分ノ下落カラ見テモ、ヤハリ十九圓何十錢ニナルベキデアアル、ソレニモ拘ラズ、率勢米價ニ依ルト十八圓ト云フコトニナツテ居ルカラ、非常ニ不利益ナ現狀ニ置カレテ居ルデハナ

イカ、私共ハ既往トカ將來永遠ト云フヤウナ理想論デハナイ、現實ヲ如何ニスルカト云フコトガ政治ノ要諦デア、現實農民ガ非常ニ困ッテ居ル、非常ニ農作物ガ下落シテ、租税モ公課モ納メルコトガ出來ナイ、或ハ教育費モ支出スルコトガ出來ナイト云フ窮狀ニ直ニシテ居ル、此米價ノ基準、率勢米價ニ依ッテモ、十八圓二十何錢ト云フコトハ、世界的不況ノ今日、一般物價ノ値下リ二割八分トシテ、尙ホ此上ニ米價ガ落ちナケレバナラヌト云フコトヲ、農林當局トシテドウ見テ居ルカ、斯ウ云フコトヲ基準トシテ定メルコトガ當ヲ得テ居ルカ否カト云フ質問デス

○町田國務大臣 實際問題トシテ東君

ノ御質問ハ能ク分リマシタ、御尤ナ御質問ト思ッテ居リマス、又私モ今日ノ場合ニ於テ昨年來三百萬石ノ買入ヲ致シ、更ニ内務省方面カラモ相當數量ヲ買ハセ、種々施設ヲ致シマシテ、異常ノ大豊作ニ依ッテ生ジタ所ノ米價ノ大暴落ヲ、如何ニ相當ナ價格ニ維持シ、一層ノ下落ヲ防止スルカト云フコトニ付テハ、相當苦心ヲ致シテ考ヘテ居ル點デアリマス、今東君ノ御尋ハソコニ當ッテ居ルノデアリマス、是ハ斯様ニ私ハ考ヘテ居リマス、只今ノ米穀特別會計ノ資金ノ現狀ハ私カラ申上ゲルマデモアリマセヌ、先般政友會ノ委員カラ

御尋ノ如ク、米穀法ノ改正ト、米穀特別會計ノ資金増加トハ離ルベカラザアル、二ツ區別シテ考ヘルコトノ出來ヌ問題カ否ヤノ御質問モアッタと思ヒマス、丁度大藏當局トノ問答ノ節ハ私ハ居リマセヌカッタガ、私ハ理論上カラ云ヘバ、各獨立シテ考ヘルコトガ、理論上當然ノ問題デアリマスガ、殊ニ東君ガ能ク御諒知ノコト、思ヒマス、此問題ハ出來ルダケ之ヲ雙方實際政治ノ上カラ見レバ同時ニ解決スルコトガ適當ナ問題デアアル、斯様ニ考ヘテ居リマス、而シテ現在ノ事情ハ、今東君ノ一般物價ノ下落シタ割合、大藏大臣ノ言ハレタ二割何分ト云フノニ對シテ、米ガ三割幾ラ下ッテ居ルト云フ、只今ノ統計ニ對シテハ後程調べタモノヲ手ニ受ケテ、御意見ニ一致シテ居ルカ否ヤハ此處デハ言ヘマセヌガ、大體ニ於テ一般物價ノ低落ノ趨勢ヨリモ異常ナ農作ニ依テ米價ノ下落ノ程度ハ大體ニ於テモット激シイ、斯ウ云フコトデアルガ、大體其點ハ御同感デアリマス、而シテ一番御尋ノ要點タル所ノ、假ニ東君ガ率勢米價ト云フコトノ立テ方ハ、物價指數ヤ何カノ統計ノ完全デナイ點カラ之ニ重キヲ置クコトガ出來ヌ、同意出來ヌト云フコトデアリマスガ、東君ガ割ニ寛大ナル御意見デ、假ニ之ヲ相當ナモノトシテ、率勢米價ヲ基トスルト

シテモ、率勢米價ハ十八圓二十何錢デハナイカ、今ノ米價ハソレヨリ安イデハナイカ、假ニ不完全ナリトシテモ、假ニ當局者ノ如ク暫定的ノ方法ニ依テ率勢米價ノ下値二割ヲトツ捉ヘテ、米穀對策ヲ講ズルトシテモ、實際ノ事實ハソレ以下デハナイカ、之ヲ當局者ハ如何ニ考ヘテ居ルカト云フ實際問題ト思ヒマス、是ハ至極御同感デアリマス、故ニ當局者ハ今此現在ノ價格ハ御承知ノ通り大勢ノ上ニ於テズット平行線ニナッテ維持サレテ居リマス、是モ私ノ見ル所デハ今ノ米價ガ安過ギルト云フ考ハ持ッテ居リマス、ハッキリ申上ゲマス、今ノ米價ガ安過ギル、一般物價ノ低落ニ比シテ聊カ安クナッテ居ルト云フコトハ、私ガ認メテ居ルト云フコトヲ玆ニハッキリ申上ゲマス、唯ソレト同時ニ之ヲ調節スル爲ニ、單リ政府ガ米穀法ノ運用ニ依ッテノミナラズ、或ハ關稅、或ハ許可制度、或ハ臺灣、朝鮮カラ入ル米ヲ調節シ、一面ニ於テハ低利資金ニ依ッテ穀貯藏ヲ相當致スト、一千何十萬石ト云フ剩餘米ハ、從來數年間立テタ米穀政策以上ニ、市場ニ自由ニ賣買セラレル米穀ノ分量ハ相當制限シタコトノ大體ハ御認め下サルと思ヒマス、ソレデ今後、今ノ施設ガ一兩ヶ月ノ間ニ穀ノ問題モ解決シマスシ、内務省ガ約五百五十萬石ヲ各地方デ買入レ

ルト云フ問題モ實現シ掛ッテ居リマス、此模様ニ依リマシテ、東君ノ御話ノ如ク、一般物價低落ノ趨勢ニ對シテ、大豊作ニ基ケル米價ノ低落ガ一層程度ガ多過ギタト云フコトノ現實ノコトガ玆ニ現ハレタ時ニ、私トシテ米穀法ノ精神ニ鑑ミテ相當重ク考慮シテ居ル、併シ今此處デ直チニ十八圓二十錢マデ上ゲル策ヲ直チニ執ル、斯ウ云フヤウナコトハ行政上ノ總テカラ色々ナ支障ガアルコトハ、大抵東君モ御承知デアリマセウガ、只今ノコトハ私ハ常ニ考ヘテ居ルコトデアリマシテ、東君ノ御尋ニ對シテハ幾分了解ガ出來ルト思ヒマス

○東委員 私ハ農林當局者ガ非常ニ

米ノ爲ニ苦心慘憺シ、又農家ノ窮狀ヲ救済スルト云フコトニ付テハ、非常ニ御努力ニナッテ居ルト云フコトハ能ク諒承シテ居ル者デアリマスガ、率勢米價ナルモノハ、今ノ現實問題トシテ十八圓二十八錢ニナルト云フコトガ此率勢米價ガ、吾々ガ物價指數ヲ對照シ、日本銀行ノ物價指數、或ハ米價ノ趨勢値トカ、極メテ綿密ナル調査ノ下ニ依ッテ此基準價格ヲ定メ、是ガ極メテ眞理ナルモノデアルト云フコトニシテ、之ヲ永遠ニ立法ニシテ行ッテ、之ヲ物差ニスル、ソレニ依ッテ米價ノ價格ヲ定メルト云フコトノ立法ノ案デアアル

ガ、サウスルト云フト、今ノ現實問題カ
ラシテ、物價ノ下落——米價ガ非常ニ
暴落シテ居ル、農林大臣ハ此事ヲ認メ
ルカラシテ、銳意此事ハ努力シテ、相當
ノ價格ニ引上ゲル施設ヲシテ居ル、是
ハ勿論サウデアリマセウケレドモ、現
實ニ於テ率勢米價ガ眞理デアツテ、物差
ニナツテ、此處デ立法シテモ、今ノ價格
ト云フモノヲ割出セバ丁度現實ニ十八
圓位ニシカナラヌ、率勢米價ト云フモ
ノハ非常ニ安イ、デアアルカラ農家ノ爲
ニハ、率勢米價ナルモノハ非常ニ之ニ
依ツテヤルト云フコトハ農家ノ爲ニモ利
益ナラズ、之ニ依テ算出スルト云フコ
トハ非常ニソコニ誤リガアルノデハナ
イカ、ドウモ之ニ付テハマダ承服ガ出
來ナイ、是ハ農林大臣ノ御説明ヲ聽イ
テモ、農務局長ノ御説明ヲ聽イテモ、是
ハドウシテモ吾々ニ明答ヲ與ヘテ、ソ
レデ諒承スルト云フコトノ御回答ヲ得
ルト云フコトハ困難デアルト思フ、是
ハ意見ノ相違ト見ルヨリ外ハナイガ、
吾々ハ此率勢米價ヲ以テ標準ニスルコ
トハ正シクナイト云フコトヲ思フテ居
ルノデス、只今マデノ經過ニ依レバ——
之ニ詰リ明答ヲ與ヘテ下サレバ、此率
勢米價ナルモノガ正當デアツテ、是デ
ヤツテ行クト云フコトハ國家ノ爲ニ必
要デアアル、是ハ相當デアルト云フ觀念
ヲ始メテソコニ持ツ譯デアアルガ、不幸
ニシテ滿腹ノ信賴ヲシテモ、此點ニ於
テ現實問題トシテ既ニ誤リガアルト云
フコトヲ私ハ考ヘテ居ル者デアリマ
ス、而シテ私ハ又茲ニ斯ウ云フコトヲ
伺ヒタイ、此米ノ問題ニ付テ、農林大
臣ハ過剰生産デアアル、是ハマア大體皆、
委員會ヲ通ジテモ、或ハ衆議院全體ヲ
通ジテモ、此點ニ付テハ異論ガナイヤ
ウニ思フ、ケレドモ私ハ此點ニ付テ異
論ヲ持ツテ居ル、生産過剰デアアルカ
ラ米價ガ下ルト云フコトハ是ハナイ、或部分
ハ、全然ナイトハ申サヌケレドモ、是ハ
景氣不景氣ト云フコトニ關係シテ居
ル、景氣不景氣ト云フコトハ、即チ日本
銀行ノ——政府ノ兌換通貨ノ關係、ソ
レカラシテ人氣ニ依ツテ好景氣ト不景
氣、之ニ依ツテ支配サレル、其歩合ハ七分
三分ニナルカ、六分四分ニナルカ知ラ
ヌガ、唯之ヲ生産過剰デアアルカラ米價
ガ安クナルト見ルノハ、是ハドウモ、私
ハ其歩合ハドレダケニナツテ居ルカ知
ラヌガ、サウデナイ、寧ロ景氣不景氣ガ
米價ニ關係スル、ソレハモウ明治初年
カラ今日マデノ米價ノ歴史ヲ見ルト云
フト、農作ニ安値ナシデ、豐作ノ時ニ安
値ニナツタコトガナイ、必ズ高値ニナツ
テ居ル、最近大正元年カラ以來ヲ見テ
モ、大正二年、三年、四年、五年、六年、是
等ヲズツト見テ行ツテモ、此豐作ノ時ニ
ハ米價ハサウ下ツテ居リマセヌ、一寸一
例ヲ舉ゲテ見テモ、大正四年ニハ五千
五百萬石デアツテ、五年ニハ五千八百萬
石デアアル、五年ハ豐作デアツタケレド
モ、米價ハ十三圓カラ十八圓ニナツテ居
ル、ソレカラ六年ト七年ト比較ベテ見
テモ、ヤハリ大正七年ハ豐作デアツタ
ガ、三十圓カラ四十三圓ト云フ米價ニ
ナツテ居ル、ソレカラ偶ニ凶作デアツテ
米價ガ高クナツテ居ルコトモアルガ、歐
洲大戰ニ依ツテ米價ガ四十圓五十圓ニナ
タ時ハ、是ハ非常ノ時デアツテ、豐凶ト
云フモノヲ全然無視シテ是ハ高クナツ
タノデアリマス、ソレカラ大正十二年
ト十三年ト比較ベテ見テモ、十三年ノ
方ハ割合ニ豐作デアツタケレドモ、米ノ
値段ガ非常ニ良クナツタ、前年度ハ三十
七圓デアツタガ、其翌年ニハ四十一圓ニ
ナツタ、ソレカラシテ大正十四年ト大正
十五年ト比較ベテ見テモ、此時ニハ大
正十四年度ハ非常ニ豐作デアリ、十五
年度ハ割合ニ不作デアツタ、サウ云フ場
合ニモヤハリ同ジヤウナ——餘リ米價
ノ變動ヲ見テ居ラヌ、斯ウ云フヤウナ
風デ、大體ハ兌換券ノ發行高デアルト
カ、國民ノ需給關係、即チ景氣ガ好ケレ
バ、例ヘバ停車場ノ辨當ニシテモ、要ラ
ヌ辨當デモ餘計食ベル、餘計ニ買ツテ餘
シテ捨テ、シマフヤウナ辨當モアル、
御互ノ勝手元デ米ノ扱ヲスルノニモ、
米ノ古イノハ皆捨テ、シマフ、不景氣
ニナルト、米ヲ買ハナイデ大根ヤ南瓜
ヲ食フト云フヤウナ者モアツテ、所謂現
在ハ豐作飢饉デアアル、買フ人ガ買ヘナ
イ、ダカラ辨當ノ賣レ高モ、米ノ賣レ高
モ少ナイ、即チ景氣不景氣ニ關係ヲシ
テ居ル、ソレダカラシテ大體カラ言フ
ト、此率勢米價ト云フモノデ平均率ガ
直線デアツテモ、曲線デアツテモ、此平均
率ノ物價ノ趨勢ヲ見テ、此景氣不景氣
ト云フモノ——景氣不景氣ハ通貨ノ膨
脹、物價ノ高低、暴落、斯ウ云フモノヲ
加味シテ考ヘテ見ルト云フト、此今ノ趨
勢値ニ依ツテ、米價ノ基準ノ米價率ヲ定
メルト云フコトハ間違ダト思フ、寧ロ此
景氣不景氣ニ依ツテ定マルコトガ多イ、
歐洲大戰ノ後ハ非常ニ景氣ガ好カッタ、
今日ハ世界の不景氣デアルト言フガ、
亞米利加ガ好景氣ニナツテ來レバ、直グ
米ガ騰ツテ來ルト云フヤウナ關係ガ起ッ
テ來ル、需要ガ非常ニ——現ニ一人ノ
消費高ヲ見マシテモ、一年ニ一石一斗
何升ト云フモノニナツテ居ツテモ、是ハ
今日ハサウ云フ數字ニ進ンデ居ラヌ、
アナタ方ハドウ云フ風ニ調査ニナツテ
居ルカ知ラヌガ、一日一人前ノ需要高
モ非常ニ減ツテ居ル、百五十萬石モ二百
萬石モ減ツテ居ルト思フ、米ニ對スル國
民ノ需要ガ減退シテ居ル、ソレハ昨年
ノ十月頃ニ東京朝日新聞ナドニモ出テ
居ツタガ、一日五合ヅ、ノ減退ガアル、

之ヲ計算スルト、少クトモ昨年ノ十月頃ニ百五十萬石ノ需要ガ減退シテ居ルト云フコトハ是ハ著シイコトデアル、ソレヲ一帯ノ趨勢値ニ依ッテ此米價率ヲ定メルト云フコトハ、茲ニ非常ナ誤解ガアル、錯覺ガアルト、斯ウ云フ私ハ異論、信念ヲ持ッテ居ル、是ハ間違ッテ居ルカモ分リマセヌガ、私ハ間違ハヌ積リデ居ル、アナタ方ハ斯ウ云フ算法ヲシテ、斯ウ云フ中ニ基準ヲ擇ヘルト言ッテ考ヘタルデアアルカラ、是ハ一種ノ進歩ダトハ思フ、斯ウ云フモノガアルコトハ宜イダラウトハ思フケレドモ、之ニ依ッテアナタ方ガ之ヲ金科玉條ノヤウニ考ヘテ居ルノハ非常ニ間違デアル、アナタノ役所ノ中デモ是ハ贊成論ト反對論ガアル、反對論ノ方ガ澤山アル、贊成シテ居ル者ハ割合ニ少イ位デアル、況ヤ日本全國ノ何千萬人ノ農家ニ、何モ分ラヌ者ニ之ヲ宛行フナント云フコトハ如何ニシテモ私ハ杓子定規ナ話デ、間違デハナイカト思フ、賢明ナル町田農林大臣、殊ニ農村ニ非常ニ同情ヲ持ッテ居ル石黒君ノ如キ、最モ農村問題ノ權威者ガコンナ考ヲセラレルト云フコトハ、何カニ因ハレタノデハナイカト僕等ハ思ッテ居ル、ソレハ僞ラザル告白デアアル、默ッテ居ルヨリ申上ゲタ方ガ宜イト思ッテ申上ゲタノデスガ、斯ウ云フヤウナ考ヲ持ッテ居ル、大體ニ於テノ觀念

ニ於テハ私共ハアナタ方ノヤルコトニ付テハ全幅ノ信用、滿腔ノ信頼ヲ捧ゲル譯ニハ行カナイ、ドウモ説明ヲ願ッタ所ガ此以上容易ニ解決ガ出來ル譯デモナシ、諒承ガ出來ルモノデハナイト思フガ、私ハ此率勢米價ニ付テハ、質問ヲスル勇氣ヲ持ッテ居ラナイ、ダカラ東郷君ニ御譲リ致シマスカラ、ドウカ御願ヒ致シマス

○東郷委員 私ガ御伺シャウト思ッテ

居ル事ヲ途中デ東サンガ取ッテ、結論ガ出來タヤウナモノデアリマスガ、併シ私ハモウ少シ伺ハナケレバナラヌ、此率勢米價其モノガ、私實際問題トシテ政府當局ガ御考ニナッテ居ルヤウナ値打ノアルモノデハナイト云フコトヲ先程申上ゲタ積リデアリマスガ、ソレカラ石黒政府委員ハ非常ナ經濟界ノ變動等ガアレバ、途中デ變更スルコトモ出來ルト云フヤウナコトヲ仰セラレマシタガ、私モソレハ能ク承知シテ居リマス、ソレハ變更スルコトガ出來ルカモ知レヌガ、出發ガ頗ル怪シイノデスカラ、ソレヲ途中デ變更シテ宜イ筈ハナイ、根本ガ怪シイノデス、ソレデ隨分怪シイト思ヒマスケレドモ、只今率勢米價上下二割ヲ御定メニナッタコトハ分リマスガ、其上下二割ヲ御定メニナツテ、所謂上下四割ノ値幅ニナル譯デアリマスガ、サウスルト米穀法ノ出動ノ

機會ガ非常ニ少クナリハシナイカ、斯ウ私ハ考ヘマスガ、ソレハ明治三十四年カラ昭和四年マデノ二十九ケ年ニ付テ此政府ノ御示ニナッタヤウナ表デ率勢米價ヲ出シテ見ルト、率勢米價ガ其年平均米相場ノ下値二割ヲ割ッテ出タコトハ二回シカナイ、ソレハ大正元年ノ二十圓十五錢、ソレカラ其翌年ノ大正二年ノ二十一圓五十八錢ト云フ米價ニ對シテ政府ノ御示ニナッタ率勢米價ヲ出シテ見ルト、大正元年ガ十六圓八十錢、二年ガ十二圓二十一錢、私ノ持ッテ居ル材料デハ斯ウ云フ數字ガ出マス、ダカラ此二回シカ一年平均デハナイ、今度ハ上値二割ヲ割ッテ場合ハ、大正五年ガ米價ガ十三圓二十一錢ニ對シテ率勢米價ガ十九圓四十九錢、ソレカラ其翌年ノ大正六年ガ米價ガ十八圓五十七錢ニ對シテ率勢米價ガ二十四圓五十七錢、斯ウ云フコトニナッテ、此二年ガ上値二割ヲ割ッテ上ニ出テ居リマス、所謂二十九年間ニ一年平均デ出シマスト上下共ニ割ッテ出タコトハ二年シカナイ譯デアリマス、今後モ大體此趨勢デ行ケバ斯ウ云フヤウナ結果ニナルト思ヒマスガ、斯ウ申シマス、ソレハ年平均ダカラサウダガ、月別ニスレバモット多イ、斯ウ云フコトニナリマセウ、御示ニナッタ材料ニ依ッテモ分ルヤウニ、月別ニシマスト可ナリアリマス、

併ナガラ申上ゲルマデモナク、政府ガ買ニ出動シ、或ハ賣ニ出動スル場合モ、今下値二割ヲ割ッテカラト云ッテ直グ買ニ出ルト云フ譯デモナイ、上ノ方ノ場合デモ同様デアリマセウカラ、大體ニ於テハ此年平均デ目安ヲ突イテ行ク方ガ結構デナイカト、斯ウ考ヘマス、假ニ月別ニシテ見マシテモ、最近ノ實情カラ見マスルト、下値二割ヲ割ッテ場合ガ非常ニ少イノデス、例ヘバ大正十一年カラ昨年五年マデ九ケ年間ニ下値二割ヲ割ッテ出タ年ハナイノデス、十一年、十二年、十三年、十四年、十五年、昭和二年、三年、四年マデ八ケ年間ト云フモノハ下値二割ヲ割ッテ月ガ一ヶ月モナイ、斯ウ云フコトニナッテ居リマス

「委員長退席、胎中理事著席」

サウスルト是ハ私ドウ云フ意味カ能ク知リマセヌガ、何カ理由ガアレバ政府ノ御説明ヲ伺ヒマスガ、大正十年ニ米穀法ガ設定ニナッタ後、其翌年カラ今言ッタヤウナ風ニ下値二割ヲ割ッテコトハナイノデスガ、是ナドヲ考ヘテ見マシテモ上下値幅四割ニスルト、米穀法ノ出動スル機會ガ今日ヨリモ非常ニ少クナッテ來ハシナイカト云フ考ガ浮ブノデスガ、之ニ對シテ政府ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○町田國務大臣 詳シイ何年ニドウ

ナツタト云フ事ハ農務局長ヨリ申シマスガ、私ノ今マデ調べテ居ッタ時ハ、此率勢米價ノ上値二割下値二割トシテ約ソ四割ノ幅ヲ、相當ノ幅ヲ設ケテ置キマスルト、御話ノ通り之ニ依ッテ調べタ例ノ「ダイイグラム」ヲ見マス、是ヨリモモット下ッテ買入レト云フ時ニ、上値二割ヲ起シテ賣出サナケレバナラヌト云フ場合ガ少イト云フコトノ大體ハ御同感デアリマス、其何年ニドウナッタカト云フ事ハ詳シク申上ゲマセヌガ、併シ先般私が申上ゲマシタ通り、是ハ長クモ僅カ數年ニ互ル算定ノ方法トシテ率勢米價一ツヲ用ユル場合デアリマス、生産費生計費ノ調査ガ出來マシタ時ハ、其下値二割デ、假ニ政府ガ米ヲ買フ時ノ場合ヲ申シマス、下値二割ト率勢米價ノ基準ト、生産費ノ調査ガ出來タ其基準ト二ツ相竝ンデ當局者モ之ヲ考ヘ、米穀委員會ニモ諮問致シマスルカラ、率勢米價一ツデ暫定的ニヤリマス場合以上ニ米ヲ賣リ、若クハ買フト云フ場合ガ相當多クナリハセヌカト、斯様ニ想像シテ居リマス

○東郷委員 私ハ生産費、家計費等ヲ加味シテ行ク場合ヲ申上ゲルノデハナイノデアリマシテ、率勢米價一本デ行ク場合ノコトヲ今御聽キ致シテ居ルノデアリマス、サウ致シマス率勢米價一本デ行クト、私が今申上ゲマシタヤ

ウニ出動ノ機會ガ餘程少クナルデアラウ、此點ハ農林大臣モ御賛成ナスツタヤウデアリマスガ、私ハ先程來申上ゲマスヤウニ、率勢米價其モノニ大ニ疑問ヲ持ッテ居ルノデスカラ、ソレガ果シテ適當デアルカドウカハ別問題トシテ、ソレヲ基準トシテ上下二割ニ値幅ヲ置クト云フコトニナリマス、出動ガ少クナル、此規定ガ效果ガアレバアル程、將來出動ガ少クナッテ來ルト云フコトニナルノデハナイカト考ヘマス、ソレデ宜ケレバ、ソレデ生産者、消費者ニ非常ナ效果ヲ與ヘ得レバ非常ニ結構ナコトデスガ、同時ニソレナルガ故ニ、政府ニ於テハ生産費、生計費ノ調査ガ出來ナイデモ、尙ホ急イデ此率勢米價一本デ規定ヲシテ、少シデモ此出動ヲ少クシテ、特別會計ノ損失ヲ出來ルダケ少クテ済ムヤウニシタイト云ッタヤウナ意味ノ御考ハナイノデアリマセウカ、私ハサウ云フヤウナ氣モ一寸致シマスノデ伺ッテ置キマス

○町田國務大臣 其點ハ昨日モ申シタ通りデアリマス、米穀法ノ目的ヲ達スル爲ニハ特別會計ニ於ケル資金ガ相當多ク掛ッテモ、此法律ノ目的ヲ達スルニハ致方アリマセヌ、故ニ米穀特別會計ノ資金ガ惜シイカラ、生産者ニ對シテ迷惑ヲ掛ケテモ、資金ノ關係カラ之ヲ成ダケ用ヒヌヤウニ致スト云フ考ハ、當

局者トシテハ生レテ來マセヌ、唯米價ノ暴騰暴落ヲ防グ標準ト致シマシテ、生産費生計費ノ調査ガ出來ル間、暫定的トシテ數年ノ間是一本デ參ル、ソコデ東郷君ハ一本デヤルト米穀法運用ノ機會ガ少イノデハナイカト言ハレル、ソレハ理論的ニハ少クナリマセウ、生産費生計費ヲ加ヘテ上値二割、下値二割ト云フ基準ト、生計費、場合ニ依ッテ政府ガ買フ場合ニハ生産費、此二ツノ標準ニ依ッテ出動スル場合カラ言ヒマスレバ、一本デ出動スル場合ハ少イト云フ理論上ノ結果ハ參リマス、併シソレハ理論デアッテ、實際ニ於テハコ、數年ノ間ダ、長クモ數年ノ間ダト云フコトヲ御覽下サルト、實際問題トシテハ大シタ違ヒガナイヤウニ考ヘテ居リマス

○東郷委員 率勢米價一本デ行ケバ出動ノ機會ガ少イ、生産費、家計費ヲ加味スレバ其割合ガ殖エルダラウ、ダカラ今日ハ多少不利益ガアルケレドモ數年ノ間ダ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、私共ハ其數年ガ中々短クナイト思ヒマス、ダカラ率勢米價一本デ行クコトハ、運用ノ上ニ於テ、一面ニ於テハ非常ニ結構デスガ、一面ニ於テハ非常ナ影響ヲ國民ニ與ヘルモノト考ヘナケレバナラナイ、ダカラ非常ニ是ハ大切ナ條件デアルト考ヘマシタカラ急ヲ押シタ次

第デアリマス、ソコデ私ハ率勢米價ノコトハ、松山君カラ御要求ガアッタモノガ出テ後、更ニ疑問ヲ質スコトガアルカモ知レマセヌカラ、此程度ニ致シタイノデアリマスガ、併シモウ少シ御尋シナケレバナラヌ、ソレハ生産費ノ問題、家計費ノ問題——率勢米價ト生産費トノ釣合ヲ見テ、モウ少シ私ノ疑問ヲ質サナケレバナラヌノデアリマス、ソレニハイル前ニ豫備的ニ御尋致シマスガ、農林省ノ生産費ノ御提供ヲ願ヒマシタ所ガ、確實ナモノガナイカラ、遠記ニ留メル譯ニ行カヌ、ソレデ宜ケレバ出サウト云フ御話デ御出シ下ッタ昭和五年度ノ生産費、是ガ自作、小作平均一石二十一圓三十五錢ニナッテ居リマス、所ガ同ジ昭和五年度ノ帝國農會ノ調べデハ、全國總平均デ二十六圓四十四錢トナッテ居リマス、過日農務局長ハ、帝國農會ノ生産費調査ハ、アレハ特ニ生産費調査ヲヤッタノデハナイ、農家經濟或ハ農業經營ノ調査ヲヤラシタ、其調査ノ中カラ生産費ヲ拾上ゲテ出シタモノデアアル、選擇農家ニモ適當デナイモノモアルカラ、アノ調べハ適切デハナイト云フ御話デアリマシタガ、帝國農會ノ昭和五年度ノ生産費調査ハソレト違ッタヤリ方ノヤウデス、昭和五年度カラ全國的ニ各府縣ノ中等農家ヲ選擇シテ、七百七十戸ノ農家ヲ調査シテ、專

門的ニ調ベタト帝國農會デハ説明シテ居リマス、然ルニ農林省ガ參考トシテ御示ニナツタ昭和五年度ノ生産費調査ハ、是カラ法律改正ニ依ッテ御實行ニナル所謂米穀生産費調査實行案ニ依ッテ、過去ノ聽取リノ材料ヲ當嵌メテ、假ニ御作リニナツタト云フノデアッテ、調査ノ府縣モ十三縣、調査戸數僅カニ二十六戸デアリマスカラ、農林省ト帝國農會ヲ天秤ニ掛ケテ、ドッチガ信用ガアルカト云フコトヲ申上ゲルノハ甚ダ恐縮デスケレドモ、調査方法、府縣、戸數等カラ見テ、農林省ノ御調査ヨリ、遙ニ帝國農會ノ方が普遍的デアルト云フナラバ、大體ニ於テ帝國農會ノ調査モ吾々ハ信頼シテ宜イノデハナイカト思フ、之ニ對シテ政府當局ノ御所見ハ如何デアリマセウカ

○石黒政府委員 私ガ帝國農會ノ生産費調査ニ對シマシテ、他ノ目的ノ調査ノ中カラ引出シタノデアルカラト云フコトヲ申上ゲマシタ、併シ五年度ノ調べニ於テハ新シイ方法ヲ以テヤルノデアリマスカラ、ソレハ以前ノヨリモ適當ニナツタデゴザイマセウト云フコトヲ明カニ附加ヘテ申上デテ置キマシタカラ、其點ハ御承認ヲ願ヒタイト思ヒマス、帝國農會ガ五年度ノ産米ニ付キマシテ調査ヲ致シマシタコトニ付キマシテハ、同帝國農會ノ幹事ノ岡田

君ハ御承知ノ通りニ米穀調査會ノ幹事ノ中ニ加ッテ貫ッタノデアリマス、調査會ノ審議ニ總テ來テ貫ッテ居ッタノデアリマス、其後ニ於キマシテ私共ガ農林省ノ生産費調査ヲ如何ナル項目ニ依リ、如何ナル方法デヤッテ行ッテ宜イカト云フコトノ、省内ノ協議ヲヤリマシタ際ニモ、特ニ一緒ニナルコトヲ通知ヲ致シテ來テ貫ッテ居ルノデアリマス、或程度農林省ノ調査ノ項目、方法ト云フコトニ付テハ岡田君ハ承知ヲシテ、サウシテ此方法ガ宜シイカラ、早速一ツ帝國農會デヤッテ見ヤウト云フノデ歸ッテ行ッテ、多クノ農家ニ對シテヤルト云フコトヲ始メラレタノデアリ、自給肥料ノ評價ノ問題、其他隨分現物ノ評價問題ハ御承知ノ通りニ農家經濟、米作收支ト云フモノニ付テハ面倒ナ問題ナンデアリマス、ソコ等ニ付キマシテ色々簡便ナ方法ヲ考ヘ、試驗所等ノ技術的方面カラモ參加ヲシテ參リマシテ、一定ノ何ト申シマスカ、標準ト云フモノヲ設ケテ、ソレニ依ッテ敏速ニ評價ヲスルト云フヤリ方モ案出シタノデアリマスガ、ソレナドモ持ッテ行ッテ直チニ適用シタラシク思ハレルノデアリマス、其結果集リマシタモノデアリマスカラ、前回ニ私ガ申上ゲマシタ時ニ、五年ノモノニ付テハ特ニヤッタノデアルカラ、四年ヨリモヨリ良イモ

ノガ出來テ居ルデセウ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタト思ヒマス、但シ吾々ハマダ其當時ニ於キマシテ中間報告ヲシカ得テ居ラナイ、其調べガ出來マシテ茲ニ參リマシタナラバ、是ハ私ハ相當ノモノト考ヘマス、併シ恐ラクソレハ本年ノ米作ノ初カラ記帳セシメタモノデハナカラウト思フ、デアリマスカラ是ハ此點ニ於キマシテ全部ノ記帳デアアルカドウデアアルカハ、私ハ其點ヲ又明カニシテ見タイト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ農林省ノ方ノ分ノ十三縣二十六戸、他ニ二戸バカリアリマス、二十八戸ト考ヘテ居リマス、ソレ等ノ二戸ニ付テハ材料ノ一寸ハッキリシナイモノガアリマスノデ除イテ居リマスカ、是ハハッキリシタラバ加ヘタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、兎モ角モ二十八戸ニシテモ二十六戸ニシテモ、極メテ僅カデ、之ヲ以テ農林省ノ調べナント云フコトハ是ハ私共主張スルノデハナイ、出來ルダケ御免ヲ蒙リタイト言ッタノヲ、是非ト言ッテ御要求ニナツテ置イテ、ソレヲドウモ御較ベニナツテ御批評ヲ戴クコトハ、是ハ私トシテハ何トカ御考ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、此生産費調査ハ是ハ僅カナ經費デゴザイマシタガ、本年ノ米作年度ノ初カラ特ニ流用ヲ致シテ記帳ヲ全部ヤッタノデアリマス、之ヲヤリマシタノハ今

同ノ生産費調査ト云フモノガ果シテ速ニ十二月マデニ間ニ合フヤウニヤッテ行ケルカドウカト云フコトヲ一面ニハ試シテ見ル爲ニ、或程度ニ詳シク記帳ヲサシテ、取纏メテ敏速ニヤッテ見ルト云フコトノ試ミノ爲ニヤッタト云フノガ此調査ノ一面デアリマス、故ニ縣ノ數ハ少ク、農家ノ戸數モ少クアリマシテ、極メテ不完全デ、是ガ記帳ハ確實ニサシタトハ言フモノ、農林省ノ五年度産米ノ生産調査ナリト云フコトデ出ス譯ニハ參ラヌト云フコトデ御斷リ申シタヤウナ次第デアリマスカラ、其點ハ御諒解ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス、此二ツノ調査ハ私ハ何レガ良イカ何レガ惡イカト云フコトニ付テハ、或意味ニ於テ私ガ當事者デアリマスカラ申上ゲマセウ、併シサウ云フ各々ノ事情ノ下ニ行ハレタモノデアルト云フコトヲ、十分御諒解ガアッテ御判斷ヲ願ヘバ宜イト思ヒマス、前ニ申上ゲマシタヤウニ記帳ノ方法ニ付テハ、帝國農會ノ幹事モ研究ヲ一緒ニナツテヤリマシタ、大體揃ッテ居リマス、其結果出來タノハドウカト云フト、片方ハ數ヲ餘計調ベテ、片方ハ數ヲ少ク調ベタト云フ事柄モアリマセウ、併ナガラ土地資本利子ノ見積ト云フヤウナコトガ、農林省ノ調べト帝國農會ノ調べトハ主義ガ違ヒマス、其爲ニ相當ノ開キガ其處ニアルベ

キ理由ヲ持ツテ居ルト考ヘマス、尙ホ其外詳細ノ點ニ付テハ御質問ニ應ジマシテ私ナリ、或ハ米穀課長ナリカラ申上デマス

○東郷委員 御説明デ大分分リマシタガ、只今農務局長ノ御話ノヤウニ、農林省ノ御調ハ出シタクナイ、強テト云フカラ出シタノダカラ、アレヲ以テ色ミノ事ヲ律セラレテハ困ルト云フ御話デ、私モ其通りダト思ヒマス、ソレ故ソレヲ以テ彼此レ私ハ此處デ論議スルコトハ避ケタイト思ヒマス、サウシテドツチガ良イトカ惡イトカ云フコトモ此處デ私ハ確メル必要ハナイ、兎ニ角帝國農會モ農林省監督ノ下ニアル立派ナ農政ノ機關デアリマスルシ、其調ベタモノモサウ出鱈目デナイト信ジマシガ、假ニ農林省デ吾ミニ御示シ下スツタ生産費ト、帝國農會ノ生産費ト比較ヲ致シマシテモ、其間ニ一石ニ付テ五圓十九錢ノ開キガアリマス、帝國農會ノ方ガソレダケ餘計掛ツテ居リマス、別ノ機關ガ別ノ人間ガソレニ從事シテ調査シタノデアリマスカラ、其處ニ相違ノアルコトハ當然デアリマスガ、先程來御話ノヤウニ岡田氏ガ農林省デ色ミ打合ハサレタ材料ヲ持ッテ行ッテ計畫サレタ爲ニ、調査ノ方法ニハ大シタ相違ハナカラウト思ヒマス、只今農務局長ノ御話ノヤウニ、資本利子等ノ計算、

其他、少シ違ツタ點ガアルヤウニ承リマスガ、ソコデ資本利子ノ計算ノ仕方ガ帝國農會ガヤツタヤウニ土地ヲ評價シテ、而シテソレニ資本利子トシテ、適當ナ率ヲ見込シテ掛ケテ行クト云フヤリ方ガ宜イカ、或ハ農林省ガ現ニオヤリニナリ、又將來モオヤリニナルダラウト思ヒマスガ、ソレハ御聞キシナケレバ分リマセヌガ、資本利子ノ計算ハ隣接地ノ小作料ヲ基準トシテ、ソレカラ公課、其他ノ負擔ヲ差引イタモノカラ資本利子ヲ計算シテ行ク、斯ウ云フコトニナツテ居ルト、存ジマス、他ノ機會デ農林當局カラ承ツテサウデシタカラ、多分其通りダラウト思ヒマス、ソコニ私ハ農務局長モ仰シヤツタヤウニ、農林省ト帝國農會ノ生産費ニ相當ノ開キガ出テ來タノデヤナイカト思ヒマス、其他ニ小サイ理由モアリマスガ、ソレハ除イテ置キマス、ソコデ農林省ガ資本利子ヲ御計算ニナルノニ、小作米カラ計算シテ行ク、而モ其小作米ヲ金ニ換算サレルノハ出來秋ノ米ノ値デ御換算ニナルコト、思ヒマスガ、其換算ノ米價ハ何時ヲ御採リニナツテ居ルカ、ソレヲ承リタイト思ヒマス

○荷見農林書記官 ソレハ此前モ、此處デアリマセヌガ、御相談致シマシタヤウニ、ヤハリ十一月末日ノ庭先相場ヲ取ツテ居ルノデアリマス

○東郷委員 サウシマス、米價ノ如何ニ依ツテ、資本利子ガ非常ニ狂ヒガ生ズルヤウニ思フノデス、私今朝モ農林省カラ貰フタモノデ假ニ計算シテ見マシタガ、參考ニ御示シ下サツタ表ノ資本利子及ビ小作料ト云フ所デ見マス、小作料ガ一石五升五合、評價價格ハ十七圓八十一錢、詰リ十七圓八十一錢ト云フノガ今ノ説明ノ通りナラバ、十一月末ノ市價ニナツテ居リマス、ソレデ計算ヲ出シテ資本利子ガ幾ラニナツテ居ルカト云フト、十圓六十二錢ニナツテ居ル、所ガ今日ハ米價ガ非常ナ未會有ノ暴落ト云ツテ宜イノデスガ、サウ云フ譯デスカラ、逆ニ行ッテ五年度ノ米ノ生産費ノ中ノ資本利子ガ十圓六十二錢ニナツテ居リマスケレドモ、假ニ米ヲ三十圓トスル、米ノ庭相場ヲ三十圓トシテ、今ノ小作料ニ掛ケテ行ッテ、土地資本利子ヲ計算シマス、二十四圓九十七錢ト云フコトニナリマス、同ジ一石デアリナガラ、一箇月ノ十一月末日ノ米相場ダケデ計算シテ行クノダガ、サウスルト三十圓ノ場合ト十七圓八十一錢ノ場合ト、サウ云フ驚クベキ差ガ出ルノデス、デスカラ農林省ノ此計算ニ依ル土地資本利子ト云フモノハ米價ニ依ッテ非常ニ支配サレ、而モ其米價ト云フモノハモウ其米ガ生産サレテ、市場ニ出ス場合ノ、所謂市場相場デスガ、ソコ

ニ非常ナ矛盾ガアリハシナイカ、〔胎中理事退席委員長復席〕
今度ノ法律ハ米ノ生産費ヲ調ベテ、ソレヲ標準價格、基準價格ヲキメル非常ニ重要ナ要素ノ一ツニシテ行クノダ、斯ウ云フノデス、是カラノ相場ヲキメヤウト云フ米ノ生産費ガ、過去一年間ヲ通ジテ生産シテ來タ市場ニ出ル時ノ市場相場デ以テ、之ニ所謂資本利子ヲ小作料カラ換算シテ行クト云フコトニナリマス、是カラ調節シナケレバナラヌト云フ相場ガ、其米ノ生産費ニ非常ナ重要ナ役割ヲシテ居ルト云フコトニナルカラ、ソコニ非常ナ矛盾ガアルト思フ、此點ハ大變重要ナ要素ト思ヒマスガ、サウ御考ニナラヌデセウカ

○荷見農林書記官 ソレハ私共斯様ニ考ヘテ居リマス、土地資本利子ハ大體私共ノ觀念デハ其土地ヲ使用致シマシテ、支拂フベキモノガ幾ラデアルカト云フコトヲ見ルベキモノダト云フ風ナ考カラ、若モ小作料ヲ拂ヒマシテ其土地ヲ耕作致シタモノト致シマスレバ、其當時ノ小作料ヲ納メマス時ノ庭先相場ノ金ダケヲ拂ヒマスレバ、ソレダケノ米ハ買ッテ食ハレルノデアリマスカラ、ソレダケノ米ヲ買ッテ來テ小作料トシテ納メ得ルト云フヤウナ觀念デ、其當時ノ價格デ換算シタ方ガ宜カラウ、斯様ニ考ヘマス

尙ホ附加ヘテ申上ゲテ置キマスコトハ、帝國農會ノ土地資本利子ヲ土地ノ賣買價格カラ計算致シマシテ、四分ナリ、四分五厘ナリ、今年ハ四分ノヤウデアリマスガ、ソレヲ掛ケタモノヲ以テ土地資本利子ト云フコトニ致シマスノニハ、餘程現實ニ離レタ問題ガ起リマス、ト申シマスノハ善惡ヲ申スノデハアリマセヌガ、ソレモ詰リ生産費ノ調査ノ仕方ノ一ツダト私ハ考ヘテ居リマスガ、帝國農會デ左様ニ致シテ取リマス土地ノ賣買價格ト云フモノハ、是ハ勸業銀行又ハ農工銀行デ調査シタ、其附近ノ數地方ニ行ハレマシタ賣買價格ト云フモノヲ標準ニ取ッテ居リマス、ソレデ吾々ガ能ク從來モ聽取調査ナドニ地方ニ出張シマシテ調べマシタ時ノ經驗ニ徴シマス、其町村ニ於テハ其時ニ見マシタモノ、賣買ト云フモノガ行ハレナイ地方ガ多々ゴザイマス、ソレデスカラ吾々ノ方ノ聽取調査、此前御參考ニハナラヌト申シマシテ差上ゲタ聽取調査ノ中ニハ、其賣買價格ニ依ッテ數年前マデハ調査シテ居ルノデゴザイマスガ、其賣買價格ト云フモノハ餘程飛離レタ地方ノ賣買價格ト云フコトニナッテ居リマス、ソレガ事實ニ副ハヌト云フ點ガ一ツ、モウ一ツハ其利廻リハ四分ニスベキカ、三分五厘ニスベキカ、四分五厘ニスベキカト云フ

コトニ付キマシテハ、是ガドウモ其調査者ノ頭ナリ、調査ノキメ方ナリノ外、利率ヲ幾ラニスベキカト云フコトニ付テハ調査ノ致方ガナイノデアリマス、ソレヨリハ一層何處ノ村ニモ小作料ヲ納メテ耕作シテ居リマス小作地ガゴザイマスノデ、同様ナ類地ノ通常小作料ト云フモノヲ見マシテ、ソレダケノモト云フ拂ヘバ、小作地デアッタナラバ土地ガ使用出來ルノダト云フ點カラ計算致シマシタ價格デ、土地資本利子ヲ計算シタ方ガ現實ニモ近イシ、歩合ノ點カラ言ッテモ適當デハアルマイカト云フヤウナ點デ、私共此事ニ依ルコトニ致シマシタ、尙ホ新聞ナドヲ見マス、帝國農會ノ岡田幹事カラモ、何カ「ステートメント」ヲ發シテ居ラレルヤウデアリマスガ、岡田君アタリト私特ニ御出ラ願ヒマシテ一緒ニ御相談致シタ時ニハ、成程君ノ言フ調査方法ノ方ガ妥當ダラウト云フノデ、實ハソレニ依ルコトニキメマシタヤウナ次第デモアリマスノデ、帝國農會ト致シマシテハ是マデノヤリ方ガゴザイマスカラ、是ハ變ヘルコトニ行キマセヌ點ガアルト云フコトヲ考ヘテ居リマス、此私共ノ土地資本利子ノ類地、通常小作料ニ依ッテ算出致シマシタト云フノハ、只今ノヤウナ考ヘ方ノ經路デゴザイマス

○東郷委員 私ハ帝國農會ノヤリ方ガ宜イトカ、農林省ノヤリ方ガ宜イトカ云フコトヲ玆ニ穿鑿シヨウト云フノデハナイノデス、農林省ノヤッテ居ラシヤル今ノ資本利子ノ計算ノ基礎ニ付テ、私疑問ガアッタカラ御尋ヲスルノデアリマス、ソコデ今ノ御話ノ十一月末日ノ米價ヲ掛ケルコトニ御決定ニナッタ理由ハ、今ノ御話ノヤウデアリマスガ、併シ是ハ如何デセウ、御説モ御尤ノヤウニ思ヒマスケレドモ、小作料カラ換算シテ行クト云フコトニナルト、成程假ニ一石ナラ一石ノ小作料ヲ取ッタトスレバ、米ノ數量ニ於テハ一寸モ變リハアリマセヌガ、之ヲ金ニ換算シタ場合ニ於テハ、其時ノ相場ニ依テ非常ニ違フ、一石三十圓シタ場合ト、今日ノヤウニ十五六圓ニナッタ場合ハ半分ニナッテ居リマスカラ、一石ノ米ヲ取ッテモ、之ヲ貨幣ニ換算スレバ半分ノ値シカナイト云フコトニナリマス、サウ云フ風ニ實際ノ上ニ於テ非常ニ變化ガアルト思ヒマスガ、私共其意味ニ於テ、是ハ話ガ違ヒマスケレドモ、今度ノ地租法ガ其處ニ非常ナ缺點ガアリハセヌカト思フ、賃賃價格モ是ト同ジコトデ、類地ノ小作料カラ平均一石三十二圓ノ相場デ以テ換算シテ賃賃價格ヲ出シテ居ラレル、所ガ今日ノヤウニ三十二圓ニ比較スレバ殆ド半分位ニナッテ居ル米價、サウ云フ場合ニ此處デ出來タ賃賃價格ト

云フモノハ現在ニ於テ適當デアルカドウカト云フト、非常ナハ疑問デアアル、殊ニ納稅能力ニ付テ考ヘタ時分ニ、非常ニ疑問ガアルト同ジヤウニ、ソレデモ是ハ短イ期間デスケレドモ、非常ニ米ノ値ガ下ッタヤウナ場合、或ハ非常ニ騰ッタヤウナ場合、唯一箇月分ダケヲ以テ計算スルト云フコト、生産費ガ或ル場合ニハ非常ニ安過ぎ、或ル場合ニハ非常ニ高過ぎルト云フコトガアル、而モソレハ是カラ調節シヨウト云フ市價ニ依ッテ其生産費ノ貴重ナ部分ヲ構成スルト云フコトニ、非常ナ其處ニ不合理ガアリハセヌカト云フ懸念ガアリマス、デスカラ出來ルナラバ十一月末ノ相場ダケデナク、或ハ過去何年トカ、外ニ簡便ナ方法ガアルカモ知レマセヌガ、ソレヲ平均シタ所ノ米ノ價格カラ計算サセルト云フコトガ或ハ適當デハナイカ、斯ウ云フ感ジガ致シマス、如何デスカ

○荷見農林書記官 御話ノヤウナ方法モ一ツノ方法ト考ヘテ居リマスカラ、能ク研究致シテ見タイト思ッテ居リマス、只今デハ色々一年餘リ論議シマシタ結果デハ、私ガ前ニ申上ゲマシタヤウナ方法ガ宜クハナイカ、ソレカラ其後學者ノ方々ニ御集ヲ願ッタ後ニモ色々相談致シタノデアリマスガ、吾々ノ關係ノ間デハヤハリソレハ年々ニ移動

ハシマスクレドモ、年々ノ狀態ニ依ッテ算出シテ行ク生産費デアリマスカラ、大シタ矛盾ト云フベキモノデモナイデハナイカト云フコトガ、殊ニ多數ノ意見ガ纏ッテ居リマス次第デアリマス、併シソレモ調査ノ基礎ト申シマスカ、見積ノ方法デゴザイマスカラ、十分研究シテ見タラ宜カラウト私ハ思ッテ居リマス

○東郷委員 能ク分リマシタガ、唯私特ニ御願シテ置キマス、専門家ノ御意見ハ私モ幸ヒアノ會ニ臨席スルコトガ出來マシテ能ク伺ッテ居リマシタガ、今御話ノヤウナ意見ガ多クタノデアリマス、併シ是ハ唯生産費ヲ出スト云フ場合ニ所謂一ツノ國家ノ國策ヲ行フ上ノ基準ニナルノデスカラ、其意味ニ於テ特ニ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ハ豫備的ニ御尋シマシタガ、ソコデ私農林大臣ガ頻ニ御話下サルヤウニ生産費、家計費ト云フモノハ調査スル、併シ茲數年ハ出來ナイ、其間ニ率勢米價一本デ行クノダカラ宜イデハナイカト云フ御話デスガ、只今御話下サイマシタヤウニ、農林省ノ生産費ノ調査ハ或ハ之ヲ適用スルコトヲ御好ミニナラヌカト思ヒマスガ、之ヲ假ニ參考ニ致シマシテ、現在ノ率勢米價ト是ト比較シテ、私ハ少シ御尋シテ見タイト思ヒマス、此率勢米價ト生産費トヲ比較シテ

見マス、帝國農會ノ調査、是ハ農務局長モ昭和五年度ハ相當前ノヨリモ信用ガ出來ルダラウト云フ御話デシタ、之ヲ假ニ非借シテ考ヘテ見マス、生産費ガ一石二十六圓四十四錢、サウスルト率勢米價ガ二十二圓八十五錢三厘デスカラ、其差ガ三圓五十八錢何厘約一割四分餘ノ差ガアリマス、率勢米價ノ方ガ生産費ヨリモ安イ、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、更ニ率勢米價下値二割ガ十八圓二十八錢二厘デスカラ、生産費トノ開キヲ計算シテ見ルト、八圓十五錢八厘、三割一分餘ノ開キニナッテ居リマス、即チ假ニ帝國農會ノ生産費ヲ基礎トシテ考ヘレバ、率勢米價其モノガ既ニ一割四分バカリ安過ギ、殊ニ下値二割ニナルト三割一分餘ノ八圓以上モ開キガアル、斯ウ云フ譯デスカラ帝國農會ノ生産費ヲ御否認ニナレバ是ハ別問題デスガ、或ル標準ト御認め下サルナラバ、今日ノ率勢米價ノ下値二割トノ差ガ八圓以上モアルノデスカラ、ドウ考ヘテモ私ハ今日オキメニナッタ率勢米價デハ、農家ト云フモノハ成立ッテ行カナイ、斯ク斷定セザルヲ得ナイノデス、ソレデスカラサウ云フ場合ニ率勢米價一本デ、此法律ノ力ヲ以テ米價調節ニ出動サレト云フコトハ、是ハ實際問題トシテ、理窟ヲ拔キニシテ適當デナイノデハナイカ、斯ウ考ヘル、更

ニ農林省ノ生産費ニ依ッテ計算シテ見マス、生産費ハ二十一圓五十三錢、率勢米價ノ下値二割ガ十八圓二十八錢二厘デスカラ、一割五分バカリノ開キニナッテ居リマス、即チ農林省ノ生産費ニ依レバ、率勢米價ヨリハ生産費ノ方ガ一圓五十錢三厘位安クナッテ居リマス、所謂率勢米價其モノハ生産費ヨリモ一圓五十錢バカリ宜イ、ソレニシテモ下値二割ヲ見レバ、生産費モ割ルコト三圓餘、斯ウ云フノデスカラ、此點カラ農林省ノ御調査ヲ基礎トシテ考ヘテ見テモ、私ハ生産者ノ立場カラ見レバ、ドウシテモ其處ニ非常ナ無理ガアルノデハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、上値二割ト家計費カラ計算スル所ノ米價トノ比較ガ、不幸ニシテ最近ノ家計費ノ調査ガ無イカラ計算ハ出來マセヌガ、生産費ト下値二割ノ比較ヲシテ見ルト右ノ通りデアリマス、所謂農林省ノ御調ニ依ッテハ三圓、帝國農會デアレバ八圓以上、今日下値二割ハ生産費ヲ割ッテ居ル、斯ウ云フ譯デスカラ、現實ナ問題トシテ御考ニナッテモ、率勢米價一本デ行カレト云フコトハ、少クトモ現下ノ實狀カラ見レバ適切デナイ、私ハ斯ウ判斷セザルヲ得ナイノデスガ、農林大臣ハドウ此點ヲ御考ニナリマスカ

○町田國務大臣 大體東郷君ノ只今ノ御話ハ、左様ナ推論ガ參リマス、唯帝國農會ノ調査シタ生産費ガ果シテ適當デアルヤラ、農林省ガ態々戶數ヲ選ンダ生産費ノ調査ノ基礎ガ正確デアルヤ否ヤハ、ドチラモ私ハ否定モ出來ズ、肯定モ出來スト云フヤウナ今ノ立場デアリマス、公平ニ考ヘテサウデアリマス、故ニ東郷君ノ御話ハ、農林省ガ調査シタ生産費ガ帝國農會ノ調査カラ見レバ餘程低イ、是モ確實デナイカモ知レヌガ、之ニ依ッテ見テモ尙ホ率勢米價下値二割トノ間ニ相當ノ差ガアルデハナイカ、農林省ノ生産費ノ調ガ低過ギルヤウナ感ジラヌル場合ニ於テハサハモ、率勢米價ノ方ハ三圓モ下デハナイカ、是ハ生産者ノ爲ニハ非常ナ不利益デナイカ、斯ウ云フ意味ニ相成ルノデアリマス、御考ヘヤウニ依ッテハ左様ナ感ジモ出來マセウシ、或ハ左様ナ場合ハ絕對ニナイトモ私ハ申上ゲ兼ネマス、絕對ニサウ云フコトハナイト云フ茲ニ根據ハアリマセヌ、併シ其處ハ三十年間ノ物價指數ニ對シテ米價指數ノ「ウエート」ヲ加ヘテ一割八分何厘ト云フモノヲバ、生産者ノ利益ヲ考慮シタモノデ得タ率勢米價デアルシ、ソレガ暫定トシテ數年ノ間ニ行カウ、又從來ノ例ニ依ッテ見テモ、之ヲ越シテ動イタコトガ少ナイト云フ事實ニ依ッテ、暫定的ナ方法トシテ是デ參ラウト云フノ

デアリマス、同時ニ是ハ御質問デハナ
イト仰シヤルカモ知レマセヌガ、私ガ
大體カラ觀測致シマシタ所デハ、是ト
反對ニ率勢米價上値二割ノ場合ノ事情
モ亦御考ヘ下サレバ宜イト思ヒマス、
率勢米價上値二割ノ時ハ生産者ガ比較
的利得ヲ得テ、勞働者其他消費者階級、
米ヲ買ッテ食フ者ガ率勢米價カラ見テ
二割以上モ高イ米ヲ食ハナケレバナラ
ヌ、ソレヲ辛抱セネバナラヌ時デア
ルデアリマス、殊ニ家計費ノ所デ、委
員會等デモ御承知ノ通り、更ニ或ル種
目ニ對シテハ、勞働者ノ副食物或ハ交
際費ト云フテモ大シタモノデモアリマ
ヒヌガ、ソレ等ニ向ッテ相當辛抱サセル
マデハ國家ガ米ヲ賣ラズシテ、消費者
ニ向ッテモ左様ナ苦痛ヲ忍ンデ貰フト
云フ意味ガ、家計費調査ノ上ニ入ッテ居
ルコトガアリマス、デアリマスカラ生
産費生計費ノ調査ガナクテ、率勢米價
一本デ行クト云フコトヲ學理的カラ言
ヘバ、相當純理ニ合ハヌト云フ意味ノ
御議論ガアラウト思ヒマスガ、實際數
字ノ上カラ見マシテ暴騰、暴落ヲ防イ
デ、生産者ト消費者ノ利害ヲ出來ルダ
ケ大キナ衝突ノナイ範圍ニ於テ、生計
費、生産費ノ出來ル間暫時是デ行カウト
云フ立法ノ立テ方ハ、實際ノ政治トシ
テハ是ヨリ外仕方ガナイト思ヒマス、
安イ時ハ生産者ニ相當不利益ナコトガ

アルト思ヒマス、同時ニ米ガ高クシテ
最早國家ガ持ッテ居ル米ヲ賣出セバ消
費者ノ爲ニ利益ダト致シマシテモ、率
勢米價一本デヤッテ上値二割、下値二割
ト見マシタ時ハ、消費者ノミノ立場カラ
言ヘバ、上値一割デモ早ク賣ッテ貰ッテ、生
活ヲ安定シタイト云フ希望モアリマセ
ウ、當然アルコト、思ヒマスガ、此法
ノ立テ方ハ斯様ナ場合ニモ二割マデハ
消費者側ニ辛抱シテ貰フ、其範圍マデ
ハ生産者ガ最モ利益ヲ得ル場合デア
リマス、サウ云フ場合モアレバ、生産者
ニ餘程辛抱ヲ求メナケレバナラヌ場合
モアル、大局カラ見テ暴騰暴落ヲ防
イデ、生産者ノ忍ブ能ハザル所ト、消
費者ノ忍ブ能ハザル所ヲ救フト云フコ
トハ、暫定的ナ方法トシテ率勢米價一
本デ行クノ已ムヲ得ザル點ガ其處ニ在
ルデアリマス、其邊デ御諒解ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

○東郷委員 農林大臣ハ先日來能ク今
ノヤウナ御意見ヲ御述ニナリマス、詰
リ下値二割ト云フコトハ生産者ニ非常
ニ不利益ダ、併ナガラ上値二割ノ場合
ニマデ行カナケレバ米穀法ガ發動シナ
イカラ、消費者ノ方カラ見レバ非常ニ
困ルガ、消費者ノ方デモ我慢スルカラ、
生産者ノ方モ下ツタ場合ニ我慢シナケ
レバナラヌト云フ御話デアリマスガ、
一應ハソレハ御尤ノヤウナ風ニ聞ヘマ

スケレドモ、實際問題トシテハ、上値
二割ノ場合、下値二割ノ場合、而シテ
ソレニ生産費ト家計費カラ換算シタ米
ノ値段ヲ出シテ行キマス、下ノ場合
モ、上ノ場合モ大體ニ於テ農家ハ、生
産者ハ決シテ得デナイト云フヤウナ場
合ガ大部分ダト私ハ考ヘルノデス、ソ
レハ唯想像デモナケレバ、私ガ理論
的ニ申上ゲルノデハナイノデアリマス
ガ、唯不幸ニシテ曲リナリニモ生産者
ノ方ハ帝國農會ナリ、ソレカラ農林省
ノ御示ニナッタ生産費ガアリマスケレ
ドモ、御承知ノ家計費ノ方ハアリマセ
ヌ、私達ガ今日頂戴致シマシタ家計費
ノ調査モ、アレハ古いノデスカラ、一
遍シカマダ出テ居ナイヤウデスカラ、
現下ノ數字ヲ以テ是等ノ事ヲ比較ハ出
來マセヌガ、昭和二年頃ノ事實デ以テ
私ガ假ニ計算ヲシマシタ所カラ見ル
ト、農林大臣ノ仰シヤルコトヲ裏切
ルヤウナ結果ヲ私ハ見テ居ル、是ハ間違
デヤナイト思ヒマスカラ、申上ゲテ見
マスレバ、多少ノ私ノ計算ガ、數字ガ
違フカモ知レマセヌガ、昭和二年ノ十
一月デスカ、十二月頃ノ率勢米價、御
示ニナッテ居ル數字ト多少違ヒマセウ
ガ、假ニ御許シテ願ヒタイト思ヒマス、
サウ大シタ違ヒハアリマセヌ、私ガ其
當時調べタノデスガ、率勢米價ガ三十
圓四錢ト云フノニナッテ居リマス、サウ

スルト是ノ二割上リノ場合ハ三十六圓
五錢デスガ、所ガ内閣統計局ノ家計調
査カラ出シタ米價、アレヲ色々ノ計算
法ガアリマスガ、農林省ガ御示ニナ
タノデ計算シテ見マスルト、收入ガ六
十圓未滿ノ者ノ米價ガ四十圓七十六錢、
八十圓未滿ノ者ガ四十二圓二十五錢、
百圓未滿ノ者ハ四十三圓十三錢、斯ウ
云フ結果ニナッテ居ル、是ハ農林省カラ
戴イタ材料ニ依ッテ申上ゲテ居ルノデ
アリマスガ、サウスルト上値二割ハ此
家計費ト比較シタ米價カラ比較致シ
マスルト、收入六十圓未滿ノ人達ノ場
合ニ於テハ四圓七十一錢ダケマダ餘力
ヲ持ッテ居ル、八十圓未滿ノ場合ニ於
テハ六圓四十錢ノ餘力ヲ持ッテ居ル、百
圓未滿ノ場合ニ於テハ七圓十四錢ノ餘
力ヲ持ッテ居ル、所謂率勢米價上値二割
ノ上ニ尙ホソレダケノ餘力ヲ持ッテ居
ルデアリマス、多少ノ數字ガ違フカモ
知レマセヌケレドモ、サウ云フ計算ニ
ナッテ居ル、今度ハ下値ノ場合ヲ考ヘ
テ見マスルト、率勢米價ガ三十圓四錢
トシ、其下値二割ハ二十四圓三錢デス、
ソレカラ其時ノ生産費、是ハ確カ帝國
農會ノ生産費ト思ヒマスルガ、是ハ良
イカドウカ、私能ク分リマセヌ、併シ
農林省ノ御示ニ依ッテ調べマシタ所ノ
統計ニ依リマスルト、寧ロ帝國農會ノ
方ガ安クナッテ居リマスカラ、假ニ安

イ方ヲ取リマスガ、自作農ガ二十九圓七十六錢、小作兼自作ガ二十九圓七十一錢、小作ガ二十八圓二十三錢、斯ウ云フ計算ニナツテ居リマス、サウスルト下値二割ト生産費ノ開キヲ見マスルニ、自作ノ場合ニハ五圓七十三錢、小作兼自作ノ場合ニハ五圓六十八錢、小作ノ場合ニハ四圓二十錢、斯ウ云フ風ニ下値二割ノ方ガ生産費ヨリモ低イ、ソレダケ玆ニ開キガアル、即チ生産費ハ率勢米價下値二割ヨリモ遙ニ上位ニアル、大體ニ於テ率勢米價ト同ジヤウナ所ニアル、少シ低イデスガ、同ジ所ニ居ルト云フコトニナツテ居ル、ソコデ今度ノ御改正ニナツタ法ノ根本、此生産費、家計費、率勢米價、三ツデ行ク場合ニハ、買ヒニ出動スル場合ニハ率勢米價下値二割ト生産費トノ中間デ適當ナ値ヲ定メテ、斯ウ云フノデスカラ、何レノ場合モ是カラ論ジテ見ルト、出動ノ標準價格ハ生産費ヨリモ低イ、即チ生産費ヲ割ラナケレバ出動ハシナイ、是ハ當然ダラウト思フ、所ガ今度ハ買ニ出動スル場合ハドウカト云フト、率勢米價上値二割ト家計費カラ計算シタ所ノ米價トノ中間デ適當ナル基準價格ヲ決メルト云フノデスカラ、此場合ニハ家計費カラ計算シタ方ノ米ノ率ガ率勢米價上値二割ヨリモ上ニアリマスカラ、其中間デスカラ、何時モ賣ニ出動スル場合ニハ率勢米價二割ヲ割ツタ其上デアル、大體斯ウ云フコトニナリマス、サウスルト生産者ノ立場カラ言ヒマス、買ニ出ル場合ニハ必ズ生産費ヲ割ツタ場合デアル、ソレカラ政府ガ賣ニ出ル場合ニハマダ生計費カ計算スレバモット耐ヘル餘力ガアルケレドモ、其餘力ヨリモ以內ニ於テ賣ニ出動スル、斯ウ云フコトニナリマスカラ、生産者ノ立場カラ言ヘバ、上値ノ場合、下値ノ場合、所謂買ニ出ル場合デモ、賣ニ出動スル場合デモ、何時モ不利益ナ立場ニ在ル、私ハ斯ウ云フ計算ニナル、唯玆ニ御斷リシテ置キマス、是ハ家計費ガタツタ一回ノ計算デアリマス、サウシテソレハ昭和二年ノ頃ノ計算デアリマス、デスカラ是ガ非常ナ權威ノアルモノトハ思ヒマセヌ、何レノ場合モ斯ウ出ルトハ思ヒマセヌ、併ナガラ私ハ大體家計費カラ出ル所ノ米價ト云フモノハ、率勢米價ノ上値二割ヨリモ上ニアルト、斯ウ考ヘルシ、ソレカラ生産費ト云フモノハ大體ノ場合ニ於テ率勢米價下値二割ヨリモ上ニ位スル、大體ニ於テ率勢米價ト近イ所ニ居ルノダラウ、斯ウ考ヘル、過去ニ於ケル事實カラ計算シテ大抵サウナル、過去ノ事實デ將來ヲ律スルノガ率勢米價ノ唯一ノ根本思想デスカラ、ソレカラ言ッテ見テモ、將來モヤハリ斯ウ云フヤウナ程度デ進ムノデハナイカト思ヒマス、サウスルト是ハ何レノ場合ニ於テモ生産者ノ方ガ決シテ消費者ヨリモ有利ナ立場ニ置カレルト云フ事ヲ考ヘルコトハ出來ナイ、私ハ斯ウ思フ、是ハ米穀調査會等ニ於テモ私申上ゲテ、石黒局長アタリカラモ御意見ヲ承ツタノデアリマシガ、今日ト雖モ私此信念ハ事實ニ出發シテ變ラナイノデスガ、農林大臣ハドウ御考ヘニナリマスカ

○石黒政府委員 只今御使ヒニナリマシタ大正十五年カラ昭和二年ニ互ッテ統計局ノ家計調査ヲ材料トシ、及ビ其年ニ於ケル帝國農會ノ生産費調査ヲ材料トシテ、サウシテ私共ノ差上ゲマシタ其年ノ率勢米價ト御比較ニナツテ御議論ハ、大體ニ於テ數字ハサウナルト思ヒマス、併シソレハ御話ノ中ニモアリマシタヤウニ、昭和二年ノ事實デアアルカモ知レマセヌ、併シ一年ノ事デアアルノミナラズ、私共ハ其材料トセラレル所ノ生産費竝ニ家計費ニ付キマシテ尙ホ論議スル餘地ヲ持ッテ居ルノデアリマス、殊ニ生産費ニ付キマシテハ、私共ハ適正ナル生産費ダト認メルコトニ躊躇致シテ居ルノデアリマス、ソレデ玆ニ率勢米價上下二割ト家計費ヨリ算出シタル米價及ビ生産費ト云フモノトガ、上下ノ基準ヲ決定スル基礎トナルノデアリマスカラ、ソレガ離レテ居ルト云フコトハ有リ得ルコトト考ヘマス、併シ其間ニ於テ米穀委員會ガ適當ナル判斷スルノデアリマス、今日ニ於テハ農林大臣及ビ米穀委員會ガ、何等ノ束縛ナシニ、此價格ヲ以テ米穀法ヲ發動スベキヤ否ヤト云フコトヲ認定サレルノデアリマスガ、此法律ガ定マリマスレバ、其後ニ於テハ暫定期間ハ兎モ角トシテ、原則トシテハ上下ノ二ツノ基礎ノ下ニ於テソレノ決定スル、其際ニ於テ開キガ多カッタ場合ニハ、下値二割ト云フモノト、生産費ト云フモノ、ドチラノ點ニ近ク之ヲ定メルカト云フコトハ、十一月開カレル所ノ基準決定ノ米穀委員會ニ於テ十分ノ論議ヲ盡サレテ、考慮ヲ盡サレテ、其年ノ事情ヲ十分ニ加味シテ決定サレルノデアリマスカラ、必ズシモ下値二割近クニ持ッテ行クトカ、或ハ真中ニ持ッテ行クト云フコトニ限ルノデハナイ、ソコニ生キタ判斷ガ加ハルノデアリマス、唯米穀委員會ガ基準ヲキメル範圍ト云フモノガ、率勢米價下値二割ノ所ト、生産費トノ間ニ於テキメル、斯ウ云フコトニ稍々制限サレテ居ル、斯ウ云フ譯ナノデアリマス、此制限ガ全然イカスト云フコトニナリマシナラバ、是ハ別デアリマスガ、一定ノ基準ヲ設ケルト云フ以上ハ、一本デ定メルノモ基準デアリマスケレドモ、下

ノ基準ヲ定メ、上ノ基準ヲ定メルノニ、更ニ或ル程度ノ幅ノ中ニ於テ認定ヲ以テキメル、斯ウ云フ方法ヲ取ツタノデアリマスカラ、事實ニ於テ甚ダシク不都合ナ結果ヲ生ズルモノトハ考ヘテ居リマセヌ

○東郷委員 私ガ先程申シタノト、今ノ農務局長ノ御話ハ少シ行違フテ居リマスガ、私ハ先程申シマシヤウニ、特ニ家計費ハ統計局ノ調査ガ一回シカナイカラ、是ダケデ全體ヲ律スル譯ニ行カヌガ、併シアノモノダケ取ツテ見レバ斯ウ〜ダト申上ゲタ、ソレカラ生産費ノ方モ帝國農會ノヲ假ニ拜借シタノデスガ、是モ農務局長ハ當テニナラヌト云フヤウナ御話デアリマスガ、當テニナラナケレバソレデモ宜シイ、併ナガラ一ツノ標準トシテ考ヘテ見テ宜カラウト思フ、何故ナラバ農務局調査ノ、私共ニ御示シ下サツタ聴取リノ方法ニ依ル生産費調ト云フモノハ、先程私ガ引用シタ帝國農會ノ生産費ヨリモ高クナツテ居ルノデスカラ、此農務局ノ調査ヲモ當テニナラナイト仰シヤレバ、モウ外ニハアリマセヌ、私共ガ此重大ナ農政上或ハ經濟上ノ問題ヲ論ズルノニ根據ガナイカラ、ソレハ已ムヲ得マセヌガ、タツタ一同位デハ當テニナラナイ、サウデナイ場合モ出ルダラウト仰シヤイマスケレドモ、私ガ數

年間ニ於テ持ツテ居ル材料、家計費ノ方ハアリマセヌガ、生産費ノ方ヲ計算シテ見ルト、何レノ場合ニモ私ガ先程申シマシヤウナ風ニ出テ來ルノデアリマス、即チ生産費ハ率勢米價ト殆ド同ジ位置ニアル、少シ高イ場合モアルシ、少シ低イ場合モアル、即チ率勢米價下値二割ト云フモノハ、生産費ヨリズツト下位ニアル、將來或ハ非常ナ經濟上ノ狂ヒガアレバ兎モ角、或ハ生産費ガ非常ニ減ルヤウナ方法ヲ農林當局ガ御考ニナラヌ以上ハ、ヤハリ斯ウ云フヤウナ割合デ出テ來ルノダラウト思フノデスカラ、所謂生産費ト率勢米價下値二割トノ間ニ先程ノ御話ノヤウニ、適當ナ基準ヲオキメニナルノデスガ、其場合ニ生産費ガ率勢米價下値二割ヨリモモット低イ所ニ居ルコトハ絶對ニナイト思フ、非常ナ變動ガアレバ兎モ角、常識カラ言フテナイト思フノデアリマス、其場合ニ於テ率勢米價下値二割、此兩者ノ間ニ於テ適當ナル所ヲオキメニナルノデアアル、何レノ場合ニ於テモ生産費ヲ割ツテ基準ガキマリマス、又ソレデ宜カラウト思ヒマス、大體ニ於テ、ソレハ私ハ確信シテ疑ハナイ、私ガ申上ゲマシタノハ、農林大臣ガ率勢米價下値二割、上値二割、兩方アルガ、下値二割ノ場合ニハ生産者ハ或ハ困ルカモ知レナイガ、上値二割モ

アルカラ我慢スル、其場合ニハ消費者ガ我慢スル譯ダカラ、必ズシモ率勢米價一本デ行ツテモ困リハシナイ、況ヤ之ニ家計費、生産費ヲ入レテ適當ナルモノヲキメル場合ニハ、農家ハ上ツタ場合ニハ得ヲスルデハナイカ、ソレハ成程利益デスガ、農家ハモット高クナツテモ差支ナイヤウナ基準ガ其處ニ出テ居ル、ソレハ唯一回ノ調査デスケレドモ、家計費カラ計算シテ出タ米ノ値段ハ率勢米價上値二割ヨリモ尙高イ、其間ニキマルノデアリマス、ソレガ低イ所デ發動スルカラ生産者カラ言ヘバモウ少シ我慢スレバモット高クナルカラ、出動シテ吳レナケレバ宜イト云フヤウナ場合モアリマス、デアアルカラ上下ノ場合何レカラ見テモ、生産者ガ大シテ消費者ヨリモ利益デアルト云フコトハ言ヘナイ、此點ハ農林大臣能ク御考ヘ下サレバ、私ノ言ツタコトハ誤ツテ居ナイト思フノデアリマス

○石黒政府委員 農林省ガ示シタ過去ノ生産費ノ調査ニ依レバ云々ト云フコトヲ仰シヤツテ、ソレヲモ否定スルナラバ審議ガ出來ヌト云フヤウナコトヲ仰シヤイマスガ、ソレハ私モ非常ニ困ルノデアリマス、アノ材料ハ私共トシテハ絶對ニ上グラレナイノヲ、此處デハ材料ニ使ハヌト云フ御約束ノ下ニ差上ゲタノデアリマス、私共ノ方ニ於テハ

之ヲ材料トシテ議論ヲシテ戴ク程ノモノト思ツテ居ナイ、ソレデアアルカラソレヲ材料ニシテ議論ヲスル時ニ、ソレヲ否定シタナラバ審議ガ出來ヌト云フヤウナ、審議ヲ阻碍スルヤウナ材料ニ差上ゲタノデアリナイノデアリマス、其點ハ十分御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○東郷委員 或ハサウ云フ言葉ヲ使ツタカモ知レマセヌガ、ソレデハ審議ガ出來ヌト云フコトヲ申シタ積リデハナイノデ、サウ云フモノガナケレバ、吾々ガ此重大問題ヲ研究スル根據ガナイカラ困ルト云フコトヲ申シタノデアツテ、是ガナケレバ審議ヲ延期シナケレバナラナイト言ツタ積リデハナイ、若シ言ツテ居レバ言葉ガ過ギタノデスケレドモ、サウ云フ意味デハナイ、過去ニ於テ吾々ガ色々審議スル基礎的材料ニナル生産費ガ出來テ居ナイ、家計費モ出來テ居ナイ、斯ウ云フコトデアアルナラバ昨日私ガ申シタヤウニ、尙更此法案ト云フモノハ甚ダ不都合ナ法案デアルト考ヘザルヲ得ナイ、ナゼナラバ此法ノ根本ハ家計費、生産費、率勢米價、此三ツノ重要ナ要素ヲ基礎トシテ米價基準價格ヲ定メルノダ、其基準ノ下ニ法ガ發動シテ米價ノ調節ヲスルノダ、斯ウ云フノデス、所ガ今ハ生産費、家計費ノ調査ガナイ、其中調査ヲ始めレバ數年後ニ分ルカラ、ソレマデハ率勢

米價一本で行クト云フノデス、ソコデ私ハ昨日言ッタ、生産費、家計費ノ調査ガ現在デハナイ、吾々ノ信賴スベキ生産費モナケレバ、家計費モナイ、所謂空デアル、ダカラ調査シテ見テモ、今後ドウ云フ生産費ガ出ルカ分ラナイ、ソレデ度々私ハ御尋ラシタ、農林大臣ハ一年二年一生懸命掛レバ宜イカモ知レヌ、所ガ今日ハ數年掛ルト仰ッシャッタ、デスカラ何年掛ッタナラバ此重大ナル生産費、家計費ガ出ルカ分ラナイジヤアリマセヌカ、過去ニ於ケル生産費、家計費ハ當テニナラナイ、農林省ガ御調ニナッタ、ソレサヘモ當テニナラヌト云フ、將來果シテソレガ當テニナルカナラヌカ、其時ニナツテ見ナクチャ分ラヌ、サウ云フムヅカシイコトデアルカラシテ、私ハ昨日申上ゲタ、是カラ豫算ヲ取ッテ御調ニナル、サウシテ出タモノヲ見テ、是ナラ結構ダ、是ナラ此重大法案ノ基礎ヲ定ムベキ要素ニ取入レテ宜シイ、ト云フコトガ出來タ場合ニ、始メテ法ノ改正ヲ爲サレルト云フコトハ、本當ノ立派ナ法律デナケレバナラヌト思フ、然ルニ根本トシテハ此三ツデ行クノダト御定メニナツタ所ガ、其中ニ信賴スル要素ガ何モナイ、何モナイカラ是カラ金ヲ掛ケテ調べ上ゲテ、サウシテ出來タナラバソレヲ取入レルガ、暫定的ニ率勢米價で行ク、一體コ

シナ法律ガ何處ニモアルベキモノデナイト思フ、此意味ニ於テ今ノ御答辯ニ依ッテ、更ニ更ニ此法律ノ改正ト云フモノハ、非常ナル是ハ不合理ナ法律ノ改正ダト思フ、ダカラ昨日モ私農林大臣ニ申上ゲマシタガ、周章テ、率勢米價一本で行ク、而モ其率勢米價ト云フモノハ、私達今後研究シナケレバ分リマセヌガ、吾々ノ知ッテ居ル範圍ニ於テハ非常ナル是ハ缺點ガアルモノト思ヒマスガ、其缺點ノアル率勢米價一本デ此際行ク、而モ理論ヲ拔キニシテ實際カラ見テ、今日ノ此米價ノ模様カラ見テ、率勢米價ノ極メテ實際ト一致シナイヤウナ事實カラ考ヘテ見テモ、何ヲ苦シデ周章テ、此率勢米價一本デ此法律ノ改正、而モソレハ根本的デナイ、暫定的デ、附則デ、但書デ御定メニナルト云フ必要ガ何處ニアルカ、度々農林大臣ハ仰シヤッタ、後ノ二ツガ出來ナイカラ、出來ルマデハ此率勢米價一本で行カナケレバナラヌ道理ハ何處ニモナイ、ソレデモ農林大臣ハ率勢米價一本デ暫定的ニ行カナケレバナラヌト云フ御考デアルカ、此際此法律ノ改正ヲ止メテ、家計費、生産費ノ調査ガ出來テ、是ナラバ立派ダト言ッテ農林當局ハ大威張デ、數字ナリ、材料ナリ吾々ニ御示ニナツタ場合ニ、堂々ト改正法律案ヲ議會ニ御提出ニナルコトガ、眞ニ是ガ

忠實ナルモノデハナイカト私ハ斯ウ考ヘル、農林大臣ハ此點ハ如何ニ御考ニナリマスカ
○町田國務大臣 午後ノ初ニモ其點ハ私カラ申上ゲテ居ル筈デアリマス、先日原君ニ二日ニ亙テ御答シタノト何等變ッタ言葉ヲ以テ、御了解ヲ得ルヤウナ説明ヲスル方法ハ屢、申上ゲタ以上ニハアリマセヌ、唯私ハ速記録ヲ通ジテ、世間ノ人ニ此機會ニ了解ヲ求メテ置ク方ガ便宜カト思ヒマス、勿論東郷サンニ向ッテ御答スルノデアリマスガ、其答ハ恐ラクハ速記録ヲ通ジテ世ノ中ニ出ルコト、思ヒマス、何カ私ノヤリ方ガ生産者ニ不利益ナ結果ニナルト云フコトニ對シテ、餘リ考慮セズシテヤッタカノ如キ誤解ガ世間ニアツテハ困リマス、屢々申シマシタ通り、日本ノ統計——日本銀行ニ於テ三十三年ヨリヤツテ居ル、統計ハ、私ハ完全トハ申サヌガ、日本ニアル統計ノ中デ比較的長イ間ヤツテ居リマスガ故ニ、統計ニ於テハ年數ガ長イト云フコトハ、不平均ヲ次第ニ緩和スルコトニ相成ル理由ハ、私カラ申上ゲルマデモアリマセヌ、唯此方法ハ完全トハ申サレヌガ、三十何年間ノ物價ノ指數ニ照シテ、米價率ヲ見出シテ、而シテ米價ノ趨勢値ヲ出シ、之ニ依テ率勢米價ヲ作ッタ爲ニ、相當重ク生産者ノ立場ヲ考慮シタコトガ、率勢米價ニ現ハ

レテ居ル、是ハ私確信シテ居リマス、其點ハ東郷サンモ御同感デアルト思ヒマス、一兩年掛ルデアラウトカ——先刻私ガ數年ト云フ言葉ヲ使ッタクコトニ對シテノ御批評モゴザイマシタガ、數年ト云フ言葉ヲ使ヒマシタケレドモ、併シ出來ルダケ早く生産費、生計費ヲ調査シテ、附則ヲ除イテ本則ニ依ッテ三ツノ基準ヲ併セ行ッテ、米穀法出動ノ機會ヲ出來ルダケ早くスル、併シ二年掛リマスカ、一年デ済ムカ、或ハ三年掛ルカ、私ハ年數ニ付テ言責ヲ持テヌガ、誠意ヲ以テ出來ルダケ早く生産費、生計費ヲ調査スル、今日マデアリマス生産費、生計費ハ、信賴スベキ基礎ノ下ニナツテ居ルト云フコトヲ申兼ネマスガ故ニ、農林省ノ先日差上ゲマシタ調査ニモ、此度新ニ行ハウト思フ所ノ生産費、生計費ノ項目ヲ主トシテ調べタモノ、之ヲ府縣ニ於テモ、或ハ箇所ニ於テモ、非常ニ限ラレタル少數デヤツテ居リマスガ故ニ、此平均ガ實際ニ當ラヌト農務局長モ屢々申サレテ居ル、此生産費、生計費ノ出來ル間、暫定的ノ方法トシテ率勢米價ニ依リ、上値二割下値二割ト、率勢米價ヲ中心トシテ四割ノ範圍内ハ之ヲ自然ニ委シテ、生産者若クハ消費者ノ點カラ見マシテモ、是レ以上ニ行ッテハ生活ノ安定ヲ圖リ得ラレヌ場合ト、生産者ガ是ガ爲ニ生産ヲ抛棄

シナケレバナラスト云フ結果ノ來ルコトヲ避ケル爲ニ、暴騰暴落ヲ防イデ、生活ノ安定ヲ圖ルト云フ米穀法出動ノ趣意ヲ達スルニハ、是ヨリ外ニ致方ハナイ、理論的ニ細カク御議論下サレバ、相當缺點ガアルト云フコトモ私ハ認メマス、併シ實際政治ノ上ニ於テ暴騰暴落ヲ防イデ、消費者ト生産者ノ利害ノ出來ルダケ衝突スル範圍ヲ少クスルト云フノハ、私ハ實際政治ニ於テ已ムヲ得ヌ途デアルト思フ、深ク斯様ニ信ジテ居リマス

○東郷委員 私ハドウモ今度ノ法律ノ改正ノ本當ノ根幹ヲ爲ス三大要素、基準價格ノ決定ヲスル根幹ヲ爲ス三大要素ハ、度々繰返スヤウニ生産費、家計費、率勢米價、此三ツデアアル、此三ツニ依ッテ法律ヲ御作りニナルノデス、所ガ此重大ナル三ツノ要素ノ中ノ二ツノ要素、生産費家計費ト云フモノハ、今信賴スベキモノガ何モナイ、是カラ調査シテ見ナケレバナラス、何時出來ルカ分ラナイ、斯ウ云フコトデハ私ハ法律ノ改正ヲスルト云フ意味ヲ爲サヌ、ソレハ出來ハシナイデヤナイカ、斯ウ考ヘテ居リマス、法律ヲ改正スル根本ノ要素ガ分ラナイデ法律ノ改正ハ出來ルモノデナイ、サウシテ改正シテ置キナガラ法律ノ實行ガ出來ナイカラ、今度ハ更ニ暫定的ニ其中ノ一ツダケ當

分ヤルノダ、三ツデ行カレルコトガ最モ宜イコトデ、ソレデナケレバ吾々ハ理想ニ適ハナイ、斯ウ云フノデアアルカラ、其三ツノ要素ガ出來ルマデ御待ニナツテ少シモ差支ナイ、又待タレルモノダト思フ、ソレヲ待タヌデ急イデ法律ヲ改正サレテ、而モ實行ガ出來ナイ、ダカラハハ附則デ以テ率勢米價一本デ行クト云フ暫定法ヲ御作りニナル、如何ニモ私共ニハ分ラナイ、農林大臣ハ盛ニ理窟ハドウトカ、斯ウトカ言フケレドモ、實際問題トシテハ云々ト云ハレマシタガ、私ハ實際問題トシテ私ノ申上ゲルコトガ一番適切ダト思フ、何故ナラバ三ツノ要素ガ必要デアルナラバ、其要素ガ揃フマデ御待ニナルガ宜イ、率勢米價デモマダ私共ニハ分ラヌ、今日腹ノキマラス程是レダツテ缺席ガアリ、非難モアル、其非難ノアルモノ一ツデオヤリニナルト云フコトハ、ドウ考ヘテモ私ハ公正ナ政治デヤナイト思ヒマス、況ヤ後ノ二ツハマダ分リモシナイ、分リモシナイモノヲ調査サレルト云フナラバ、御待ニナツタ方ガ宜イ、御待ニナツテモ現在政治ノ實際問題トシテドウダト申シマス、法律ノ改正ガ出來テナクテモ實際出來ルデハアリマセヌカ、私先日農務局長ニ今度御買上ニナツタ第二次ノ米ガ非常ニ成績ガ惡イト云フコトヲ御尋シタ時

分ニ、今日ノ十七圓幾ラト云フモノハアレハ適當ナ米ノ値ト御考ニナリマスカ、適當ト思ハヌ、然ラバ何處ヲ適當トシテ御考ニナリマスカ、所謂十八圓ナニガシカラ上ガ適當デアラウ、斯ウ仰シヤツタ、即チ法律ノ改正ノマダナイ現在ニ於テモ、農林當局ハ此米穀法出動ノ基準ヲヤハリ御考ニナツテ居ルノデスカラ、法律ニ現ハレマセヌデモ、若シソレガ適當ト御考ヘナラバ、チャント農林當局ハ出來ル答デアアル、デスカラ事實政治ノ上ニ於テノ運用ト云フモノハ、何等法律ヲ改正爲サラヌデモ出來ル、法律ニ現ハサナケレバ農林當局ガ國民ニ申譯ノナイヤウナ不正ナコトナリ、不適當ナコトヲスルト思ハレル時代デナイト思ヒマス、サウ云フコトハナイ答デアリマス、農林大臣ガ全責任ヲ持ッテ、最モ正シイ信念ノ下ニ今ノ米穀法ヲ御運用ニナレバ、法律ニ現ハレナクテモ私ハ出來ルト思フ、ソレヲ急イデ不完全ナモノヲ作ッテソレヤル、而モ一向分ラヌ、缺點モアル、是デヤルト云フノハドウモ生産者ガ迷惑デナイカ、消費者ニドウデアアラウカト心配ヲ掛ケルヤウナ法律ヲ作ッテ、國民ニ色々ナ疑惑ヲ生ゼサセルヤウナヤリ方ハ、政治ノ實際運行ノ上ニ私ハ適當デナイト考ヘル、農林大臣ハサウ御考ニナラヌデスカ、私ハサウ考ヘテ居

○町田國務大臣 モウ屢々申述ベマシテ、此點デハ繰返シテ申上ゲル新ナ材料ハアリマセヌ、總テノ材料ハモウ申盡シテアリマス、ソレカラハハ御言葉ヲ御答メスルデハナイガ、此法律ガナクトモ實際今ノ米穀買入モ基準、所謂率勢米價ノ下値二割ヲ標準トシテ買ッテ居ルデヤナイカト云フコトヲバ、過日農務局長ト御話ニナツタサウデゴザイマス、其席ニ私居ラヌデアリマシタガ、若シ其ヤリ方ガ宜シイト御認メ下サレバ、暫定的ナ方法トシテ附則ノ上ニ之ヲ載セテ居ルコトニ、何等非常ナ不都合ガアルヤ否ヤヲ、私疑ヒマス、況ヤ此基準ガ無カリセバ——有ルガ爲ニ國民ハ迷惑ヲスルト云フヤウナ御言葉ガアリマシタガ、私ハ今率勢米價ハ法律ニナツテ居ラスガ、實際ハ率勢米價ヲ基準トシテ此度モ買入レタノデハナイカト云フ、農務局長トノ御話ヲ基トシマスレバ暫定的ナ方法トシテ之ヲ附則ニ載セテ置クコトハ、國民ヲ迷ハセナイコトニナルノデヤナイカ、斯ウモ思ヒマス、併シ始ッテ以來此問題ハ屢々繰返サレテ居リマシテ、私ハ出來ルダケ了解ヲ求メル爲ニ、何等今後ト雖モ辭シマセヌ、私ノ體力ノ續ク限りハ此大問題ノ爲ニ御了解ヲ得ルコトニ努メマスガ、ドウモ御話ガ稍々モウ先刻東君

ノ御話ニ、御意見ノ相違ニ入ッテ、モウ質問ノ範圍以上ニ出デハセヌカ、斯ウ云フコトモアリマス、私ハ避ケルノデハアリマセヌ、併シ此問題ハ幾ラ重ネマシテモ、是レ以上進ムコトハ餘程困難デアルマイカト思ヒマス、若シ又御問ヒ下サル方面ヲ變ヘテ、私ノ答辯ガ出來ルヤウナコトデアレバ申シマスルガ、率勢米價ノ必要不必要ニ對シテハ、數日間ニ互ッテ、此根據ヲ申シ、私ハ暫定的ニ之ヲ作ルコトガ國民ヲシテ向フ處ヲ知ラシムル點カラ見マシテモ宜イ、又物價指數ニ對スル米價率ヲ見出ス點カラ見マシテモ、生産者ニ相當ナ重キ考慮ヲ加ヘテアル率勢米價デア、斯様ニ考ヘテ居リマス

○東郷委員 私ハ先日農務局長ニ買上ノコトヲ質問致シマシタガ、率勢米價ヲ標準トシテ實際ヤッテ居ルノデナイカト云ッテヤウナコトヲ私ハ質問シタコトハアリマセヌ、ソレハ誤解ガアリマスカラ茲ニハッキリ致シテ置キマス、ソレカラ只今ノ御話ニ依レバ是レ以上農林大臣ハ御答ニナラヌサウデスカラ、私モモウ此問題ニ付テハ質問致シマセヌ、農林大臣ノ御考ハ大體分ッタク積リデス、私ハドウ考ヘテモ三ツノ要素デ以上基準價格ヲキメルト云フ法ノ根本精神デアリナガラ、其二ツノ要素ガ今日何等根據ニナルベキ材料モナイ

ノダ、空ダ、是カラ調ベナケレバ分ラナイノダ、ダカラ差當リ其内ノ一ツノ要素、農林大臣ハソレニ缺點ハ無イト御考ニナルカ知ラヌガ、吾々ニハマダ分リマセヌ、サウ云フモノデ以テオヤリニナルト云フ必要ハナイデハナイカ、此法ノ精神カラ言ヘバ必要ヨリハ出來ナイデハナイカ、斯ウ云フコトヲ御尋シタノデスケレドモ、モウ御答辯ガナイト云フコトデアリマスカラ、私モ此邊デ質問ヲ打切りマス、唯私尙ホ過日總理大臣代理ニ御尋シタ中デ、總理大臣代理ガ調ベテ答辯スルト云フヤウナコトデ、其儘ニナッテ居リマス、其外率勢米價ノ根本ガマダ分リマセヌカラ、ソレ等モ今後必要ニ應ジテ御尋スルシ、尙細カイ事務上ノ疑念等ニ付テ將來尙御尋スル機會ガアルト思ヒマスカラ、一應ソレ等ノ問題ヲ保留シテ私ノ質問ヲ打切りコトニ致シマス

○胎中委員 東郷君ノ質問モ一段落シタヤウデアリマス、此處デ一時間休憩シテ、食後引續イテ開會サレンコトヲ希望致シマス

○西村委員長 ソレデハ暫時休憩致シマシテ、六時半カラ再開致シマス

○平野委員 私ハ隨分長クヤリマスカラ、一時間位休憩シテヤッテモ質問ハ盡キマスト思ヒマスカラ、是デ散會ヲ希望シマス

〔休憩々々〕ト呼フモノアリ

○西村委員長 ソレデハ一時間休憩シマス

午後五時三十一分休憩

午後六時五十二分開議

○西村委員長 ソレデハ休憩前ニ引續イテ會議ヲ開キマス

○胎中委員 實ハ只今マデ同志ノ委員ガ色々質問致シマシタ、其質問ノ中デマダ要領ヲ得ナイ點ガ多クアリマスルノデ、本來私モ其點ニ付テ更ニ能ク確メタイト考ヘテ居ッタノデアリマスレドモ、議事ノ進行ノ上ニ、委員長ガ非常ニ御苦心ヲサレテ居リマスル點モ考ヘマシテ、未ダ不満足ノ點、不明ダト思ヒマスル點モ多クアルノデアリマスルケレドモ、大體重複ニ互ラヌヤウニ、極ク短カク、出來ルダケ進行シ得ル程度ニ於テ御尋ヲシタイト思フノデアリマス、勿論其趣意デヤリマスルケレドモ、中ニハ色々確メタイ事柄ニ關聯シタコトデ、時ニ重複スル點ガアルカ知リマセヌガ、其際ニハ御答辯ノ場合ニ、適當ニ御答願ヘバ宜シウゴザイマス——是モ一應ハ他ノ委員ニ依ッテ御伺シタコトノヤウニ思ヒマスルケレドモ、更ニ御伺致シタイト思ヒマスル點ハ、我國ニ於ケル平常時ノ米ノ需給關係デアリマス、是ガドウナッテ居ルカ、即チ本改正

案ハ、内地ノ産米、朝鮮ノ産米、又臺灣ノ産米ノ額、數量ヲ如何ニ見テ、需給ノ計數ヲ立テ、居ルカト云フコトヲ、先ヅ御尋致シタイト思ヒマス

○町田國務大臣 至極根本ニ觸レタ御尋ト思ヒマス、米穀政策ノ點カラ、此數量ニ參リマスル前ニ、米穀政策ノ大體カラ簡單ニ申述ベタイト思ヒマス、東郷委員カラモ、朝鮮、臺灣ノ内地ニ殺到スル米ノ分量ノ年ヲ逐フテ増加スル爲ニ、米穀法運用ニ餘程困難ヲ感ジテ居ル事情ノ御話モアリマシタガ、左様デアリマス、唯大體カラ私ノ考ヘテ居リマスル米穀對策、人口ノ増加ニ伴フ食糧問題ノ解決ハ、歴代内閣ガ執ッテ居ル大方針ヲ、マダ變ヘルト云フマデニハ參リマセヌ、即チ朝鮮、臺灣ノ植民地ヨリ、年々參リマスル米穀ノ數量、就中朝鮮ノ産米計畫ニ依ッテ、今後十五箇年ノ間ニ内地ニ這入ルベキ分量、内地ニ於キマシテノ耕地ノ擴張、是ハ他ノ機會ニ申上ゲテ見タイト思ヒマスガ、相當歴代ノ内閣ガ骨ヲ折ッテ居リマスル、開墾獎勵ノ爲ニ、國庫ガ費シテ居ル金高モ相當多イノデアリマス、今後モ亦續イテ參ルノデアリマス、其耕地ノ擴張ニ依ッテ、米ノ産額ノ増加スル分量、耕地ノ改良、用排水灌漑等ノコトガ主デアリマス、其耕地ノ擴張、農事ノ改良、品種ノ改良、肥

料等ノ點デアリマス、此點ニ依ッテ増殖サレル分ガ相當大キナ計算ニナツテ、三十年計畫ノ中ニアルノハ、是ハ御覽下サツタコトガアルト思ヒマス、アレハ大本ハ大正九年、十年頃ニ出來タモノト思ヒマス、其點カラ見マシテ人口ノ増加ニ伴フ食糧ノ充實ハ、今日ノ所デ朝鮮臺灣ノ產米計畫ガ、豫期ノ如ク參リマシテモ、供給ガ餘ルト云フ計算ハ立タヌノデアリマス、幸ニ昨年ハ朝鮮ニ於テ殆ド平年作ノ二割、内地ニ於テハ一割以上ノ増產ガアリマシタガ爲ニ、他ノ經濟上ノ原因ト相合シテ米價ノ暴落ヲ來シタト云フ、茲ニ大キナ事實ガ現レテ來マシタガ、今後四五箇年ノ經過ニ依リマシテ、昨年ノ如キ大收穫ガ果シテ天候ニ支配サレズニ、農事ノ改良等人爲ニ依テ出來ルコトニ依ッテ、斯様ナ大增產ハ今後四五箇年ノ間ニ於テハ平均ノ收穫ガ昨年ノ如キモノニ略、近イモノガ出ルト致シマスレバ、從來立テ、居リマスル所ノ、人口食糧問題ノ根本政策ハ、之ヲ變ヘル譯ニハ參リマセヌガ、多少ノ裕リヲ附ケル位ノ緩和モ考ヘテ見ナケレバナリマスマイトハ思ッテ居リマス、併シ昨年一年ノ增收ニ依ッテ、茲ニ米價ノ大暴落ヲ來シタガ故ニ、將來ノ產米増產計畫ヲ茲デ變ヘルト云フマデニハ、考ガマダ參ッテ居ラス、斯様ナ私共ノ考デアルト

御了解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○胎中委員 次ニ御尋致シタイノハ、現行ノ米穀法ハ米價並ニ數量ノ調節ヲ爲スト云フコトニナツテ居リマスルガ、其目的ヲ現行法ニ依ッテ達スルコトガ出來ルカドウカ、更ニ言葉ヲ加ヘマスレバ、現行法ニ缺陷ガアルト思フカドウカ、若シ缺陷、即チ缺點ガアルト思フナラバ、ドウ云フ點ガ缺點デアルカ、斯ウ云フコトヲ御尋申シタイ

○町田國務大臣 今ノ御尋ハ二ツニ分

レテ居ルヤウニ了解シタノデアリマス、第一ハ今ノ米穀法ハ數量及ビ價格ノ調節ト、斯ウ二ツニ書イテアルノデアアルガ、之ヲ運用スル際ニハ、今度ノ立テ方ガ、米穀法ヲ出動スル基準ガアルカラ、最早數量ノ調節ト云フコトガナクシテ、單ニ米價ノ調節ト云フコトニ變ッタデヤナイカト云フヤウナ御尋ノヤウニ第一ノ方ハ考ヘマス、次ニ今ノ米穀法ノ缺點ガ何處ニアルカト云フ、二ツノ御尋ト了解シマシタガ少シ私……

○胎中委員 モウ一度申上ゲマス、必

ズシモ此改正案ノコトニハ觸レテ居ラス、現行法ガ米價並ニ數量ノ調節ヲスルト云フコトデアリマスルケレドモ、現行米穀法ニ依ッテ其目的ヲ達スルコトガ出來ルカ、斯ウ云フコトデアリマスルカラシテ、所謂現行法ニ依ル目的ヲ達スルカドウカ、米穀並ニ數量ノ調

節ニ對シテ——、サウシテ又現行米穀法ト云フモノニ何カ缺點ガアリハシナイカ、缺點ガアルト思ハレナイカ、若シ缺點ガアルト御思ヒニナルナラバ、其缺點ハドウ云フ缺點ガアルト御思ヒニナルカ、斯ウ云フ御尋デアリマス

○町田國務大臣 此問題ハ丁度兩度バ

カリ質疑ガ出マシタ、米穀法改正ノ必要ヲ認メラレテ、前内閣時代ニ田中總理大臣ガ米穀調査會ヲ設置セラレテ、ソレニ諮問セラレタ大綱ニ依ッテ略々御了解ガ出來ルコト、思ヒマス、即チ胎中君ガ此問題ヲ御述ナサル時ニ、我國ノ米穀對策ノコトニ觸レタ第一問ガ、自ラ今ノ問題ニ關聯致シテ居ルト思ヒマス、即チ從來米穀法ヲ行ッテ今日ニ至ルマデ、相當ノ效果モ算ヘ得ラレルガ、十分效果ヲ現シテ居ラス、其間ニ人口食糧ノ關係ガ餘程年々經ルニ從ッテ來テ、殊ニ朝鮮、臺灣ニ於ケル事情ガ變化ヲ來シタコト等ガアツテ、大正十年ニ此米穀法ヲ制定シタ時カラ、經濟上ニモ相當ニ大キナ變化ガアルカラ、之ニ鑑ミテ根本的ナ改正ヲスル必要アリト認メテ調査會ヲ設置シタ、此趣意トヤハリ同ジヤウナ意味ヲ以テ私モ考ヘテ居リマス

○胎中委員 實ハモット詳シク聞キタ

イノデアリマスガ、最初ノ私ノ特ニ委員會ノ進行ニ對スル心持ヲ尊重致シマシテ、サウ執拗ニ聞キマスマイ、併シ想フニ此現行米穀法ノ缺點ハ或ハ特別會計法ノ關係モアリマス、其他關稅ノ關係モアリマス、色々アリマスルガ、其中ニヤハリ米價並ニ數量ト云フモノガ非常ニ重大性ヲ以テ、中ニ現行法デハ十分ニ其目的ヲ達スルコトガ出來ナイト云フ缺陷ガアルモノト私ハ考ヘテ居ル、ソコデ私ガ伺ヒタイノハ、今回提案ニナラレマシタル改正案、此改正案ヲ見マスルト云フト、其出動ノ時期ヲ率勢米價ニ依ッテ決スルト云フコトデアリヤスガ、唯ソレダケデアリマシテ、本質的ニ米價並ニ數量ヲ調節シ得ルト云フ力ヲ持ッテ居ラナイヤウニ見エルトデアリマス、故ニ繰返シテ申シマスレバ、本質的ニ是ル價格數量ノ對策ニ別ニ何等ノ變更ヲ加ヘナイデ、此改正案ヲ以テ致シタナラバ今後ノ米穀對策ヲ完全ニ達シ得ルコトモ亦不可能デハナイカ、斯ウ云フヤウニ思ハレルノデアリマスガ、此點ニ付テ御答ヲ願ヒマス

○町田國務大臣 私モ簡單ニ申シテ見タイト思ヒマスガ、數量及ビ價格ノ調節ト現行ノ米穀法ニ書イテアリマス、初メテ米穀法ガ出來マシタ時ハ、私ノ記憶デハ、價格ノ調節ト云フコトガナクシテ、數量ノ調節ト云フコトヲ主トシタ米穀法デアッタノデアリマス、爾來

數年ヲ經マシテ衆議院ニ於テ此問題ガ
論議セラレタ結果、數量價格ノ調節ト
シテ調節スルコトガ、數量カラモ見、價
格カラモ見ルト云フ斯ウ云フ——或ル

居リマス、隨ツテ此度基準ヲ設ケテ出動
ノ場合ヲ規定シテ居ル以上ハ、實ハ數
量及價格ノ調節ト云フ、此數量ノ調節

メマセヌガ、併シ此改正案デ今御尋シ
マシタ米價並ニ數量、是ハ相關聯シタ
問題デアリマスカラ、ソレデ宜イト致

其處ニ非常ニ不安ガアリマスカラ、此
點私共ガ安心ノ出來ルヤウニ御説明ヲ
願ヒタイ、

意味ニ於テハ貴族院ニ於テハ此文字ヲ
加ヘテ、數量及ビ價格ノ調節トシタコ
トヲ、寧ロ是ヲ蛇足デアルトカ色々ナ意

テハ考ヘテ居リマス、唯極ク不作ノ時
ニ當ツテ、今後米價ガ暴騰スルナド、思
ハル、時ニハ、價格ニ依テ調節スルニ

シマシテ、凶作ガアルト云フコトヲ否
定出來ナイト同時ニ、ヤハリ昨年ノヤウ
ナ豐作ノアルト云フコトモ否定出來ナ

○町田國務大臣 能ク分リマシタ、只
今ノ御尋ノ如キコトニ對シテ、當局ト
シテモ相當考慮致シマシテ、是ハ假定

見ガアリマシタガ、要スルニ米穀法ノ
出來タ根源ノ考ハ、價格ノ調節デア
ルノガ目的デアツテ、所謂暴騰暴落ヲ防

外國米ヲ管理統制スル規定ヲ設ケテア
リマスガ、此度ノ米穀法ニ數量ノ調節
ト云フコトガアリマス、其數量ノ調節

リマシテ、政府ガ今度御定メニナッタ假
リニ率勢米價ヲ以テ、所謂價格デ調節
シヤウト致シマスル時ニ、ヤハリ價格

想像致シテ居リマス、ソコデ御尋下サ
タ數量ノ問題ニ對シテ一ツ御考慮ヲ願
ヒタイノハ、第一ハ從來入ッテ居リマ

デ、生産者ト消費者トノ利害ヲ出來
ルダケ近カラシメヨウ、其價格ノ調節ガ
目的デアルト私共ハ考ヘテ居ル、當時

ハ主トシテ外國米ヲ買入レル等ノ場合
デ、特別ナ場合ニ於テ初メテ必要ガア
リマシテ、大體ニ於テハ此度ノヤリ方

トカ何トカ處分シナケレバ調節ハ出來
ナイ、其處ニ數量ノ問題モ起ッテ來ル
シ、此改正案デ政府ハ八千萬圓ノ増額

左様ナ場合ニハ、來年モ同様ニ入ラヌ
ト假定致シマス、サウシテ臺灣、朝鮮
カラ入ッテ來ル米ノ分量ハ、ヤハリ當年

此問題ニ對シテ力ヲ極メテ價格ヲ除
イテ、數量調節ノ主張ヲサレテ、相當閣議
ニ於テモ議論ガアツタガ、主務大臣タル

併シ價格ヲ調節スルニハ、勢ヒ數量ヲ
調節スル手段ハ執ラナケレバナリマセ
ヌ、即チ買入レルト云フ事モ、賣出スト

ヲ致シテ居リマスガ、果シテ此改正案
デ本質的ノ目的ヲ達シ得ル確信ガアル
カドウカ、或ハ一年、二年ノ間ハ、ソ

食糧ノ内地ニ於ケル需要モ、假ニ多少
ハ殖エマセウ、消費高ガ殖エテ餘リガ
幾分力減リマセウガ、假ニ今年ノ如キ

山本男ノ意見ニ依テ數量ノ調節ニ致
シタト云フ歴史モ大體承知シテ居リマ
スガ、併シ數量ノ調節ハ價格調節ニ至

ハ私ハ斷ジテ價格ノ調節ヲ目的トシ
モノト考ヘテ居リマス、爾來數量ノ調
節、價格ノ調節ト云フ、二ツノ事ガ並

來ルト御考ニナルケレドモ、法律ノ改
正案ヲ御出シニナル以上ハ、少クトモ
モウ少シ長イ期間ハ、是デ運用ガ出來

場合アリト假定致シマスレバ、此中カ
ラ當年執ツタ對策ノ如ク、假ニ百萬石位
ガ、餘リ高カラザル値デアリマシテモ、

ハ私ハ斷ジテ價格ノ調節ヲ目的トシ
モノト考ヘテ居リマス、爾來數量ノ調
節、價格ノ調節ト云フ、二ツノ事ガ並

居ッタノデアリマス、尙ホ如何ナル場合
ニ其必要ヲ生ズルカト云フヤウナコト
ガ必要デアリマスレバ、農務局長ヨリ

ルト云フ確信ガナケレバナラヌ、若シ
如何ニ價格ノ調節ヲシテ、値段段ハ是
レ——デ、安クナッタヲ買フ、高クナッタ

位ノ剩餘米ガ生ジテ居ルト同様ニ、茲
ニ當年ノ秋ニナッテ斯様ナ大キナ剩餘
米ヲ生ジタ時ハ、果シテ今ノ米穀特別

節、價格ノ調節ヲ致ス唯一ノ途ト申シ
テ宜シイカ、最モ主ナル方法ト考ヘテ

尙ホ詳シク申シマス

正案ノ全部ヲ通ジテ見マス、私共ハ

米ヲ生ジタ時ハ、果シテ今ノ米穀特別

節、價格ノ調節ヲ致ス唯一ノ途ト申シ
テ宜シイカ、最モ主ナル方法ト考ヘテ

尙ホ詳シク申シマス

正案ノ全部ヲ通ジテ見マス、私共ハ

米ヲ生ジタ時ハ、果シテ今ノ米穀特別

節、價格ノ調節ヲ致ス唯一ノ途ト申シ
テ宜シイカ、最モ主ナル方法ト考ヘテ

尙ホ詳シク申シマス

正案ノ全部ヲ通ジテ見マス、私共ハ

米ヲ生ジタ時ハ、果シテ今ノ米穀特別

會計ニ新ニ増加セラレタ八千萬圓デ足ルカ、斯ウ云フ實際問題モ出テ參ルノデアリマス、御尋モ其處ニ在ルノダラウト思ヒマス、當年ガ若シ昨年同様ノ豐作デアリマス、此八千萬圓ヲ以テ十分效果ヲ現ハスコトハ非常ナ努力ヲ要スルノデアリマス、單リ政府ガ之ヲ買上ゲルト云フダケデハ、此價格ヲ所謂——假ニ設ケテアル所ノ率勢米價ニ依ル下値ニ割テ維持スルコトモ餘程困難ト思ヒマス、東郷君モ熱心ニ主張セラレ、吾々モ實現ヲ圖ッテ居リマスガ農家ノ自力ニ依ッテ相當額其他、或ハ玄米等ヲ貯藏スル爲ニ、相當ノ低利資金ヲ與ヘテ、農家自ラ需給ヲ調節スルト云フコトニ、政府ト協力スルコトモ、一ツノ重大ナ施設ト考ヘテ居リマス、同時ニ出來ルタケ米穀特別會計ノ上ニハ、相當ノ損失ハ來シマセウガ、長ク國立倉庫其他政府所有米トシテ之ヲ保存シテ居ルガ爲ニ、少ナカラザル金利、倉敷ヲ年々損失ノ生ズルコトヲ避ケル、意味ト、供給ヲ減ラスト云フ意味ト、此二ツノ意味ヲ以テ、出來ルダケ外國ニ之ヲ賣捌クト云フコト、三ツ合シテ相當ナ效果ヲ擧ゲ得ラレルト思ヒマス、更ニ進ンデ胎中君ノ御話ノ如ク、幸ト申シテ宜シイカ、三年モ續イテ今年ノ如キ農作ガ現ハレテ來タト致シマスレバ農家ノ貯藏シテ居ルノミ、

サウ長ク貯藏シテ居ル譯ニモ參リマスマイ、此八千萬圓デハ到底米穀法ノ目的ハ達シ得ザルモノト思ヒマス、併シ左様ナ時代ハ從來ハ餘リアリマセヌ、餘リアリマセヌガ假ニ左様ナ時代ガアルトシマスルト、幸ニ御協賛ヲ得マシテ、此二法律ガ通過シテ、之ニ依ッテ運用資金ガ八千萬出來、私共ノ努力シテ居ル所ノ外國ニ向ッテ輸出スル米モ相當アリマシテ、一面ニハ、供給高ヲ減ラシテ價格ヲ維持スルコトニ必要ナル助ケト相成リ、又一面ニハ、運用資金ヲ幾分タリトモ之ニ依ッテ増加スルコトガ出來マス、左様ナモノヲ合シマスレバ、當年ガ大豐作デアッテモ、之ニ依ッテ米價ノ大暴落ヲ防グコトハ、此八千萬圓及ビ此低利資金ノ運用ニ依ッテ出來マス、併シモウ一年——三年續イテ大豐作ガ來タト致シマス、更ニ非常ニ大キナ資金ガナケレバ、只今御心配ノ如ク、之ニ依ッテ十分參ルト云フコトハドウシテモ考ヘ得ラレマセヌ、更ニ帝國議會ニ諮リマシテ、相當大キナ數量ヲ政府ノ手ニ買入レテ市場カラ除クト云フコトヲ、相當大キナ規模デヤラナケレバムツカシイト思ヒマス

○胎中委員 此事ニ付キマシテハ、後トデ御聞キスルコト、關聯シテ一言申述ベテ、更ニ御答ヲ求メル積リデアリマスガ、本來カラ言ヘバ、現行法ニ於キマシテモ、此缺點ガ如實ニ現ハレテ居ルト私共ハ考ヘル、ソレハ何故デアルカト申シマス、昨年ノ第一次買上ニ於キマシテモ、又本年ノ第二次買上ニ於キマシテモ——是ハ隨分議論サレタノデアリマスカラ、私ハ詳シクハ言ヒマセヌガ、石黒農務局長ノ御話ニ依リマシテモ、必ズシモ石黒農務局長ガ十八圓二十八錢ガ只今ノ最低相場ト言ハレタ意味デハナカッタカモ知レナイ、是ハ今ノ率勢米價ニ引較ベテノ話デアッタカモ知レヌガ、要スルニ事實ニ於テ今日十八圓二十八錢ヨリ以下ノ値段デアルト云フコトハ否ムコトガ出來ナイ、デアリマスカラ、若シ政府當局ガ今日アル所ノ米穀法ニ依ッテデモ、本當ニ米價數量ヲ調節ヲ目的ト致シマシテ、之ニ伴フ力ガアッタナラバ——私ハ相當具體的ニ申上ゲマスガ、ヨリ以上ノ米ノ買上モ出來タノデアリマス、隨ッテ更ニ相當ノ値段ヲ保チ得タコトデアラウト思ハレルノデアリマス、是ハ此程度ニ致シマシテ、サウシテ更ニ關聯シタ質問ハ此ノ事項ト一緒ニ承ルコトニ致シマシテ、他ニ移リマスガ、曩ニ町田農相ハ東郷君ガ質問ヲ致シマシタ時ニ米穀專賣法ハ實施困難デアルト云フ御意見デアッタヤウニ私ハ拜承致シマシタ、果シテ專賣法ハ困難デアルカドウカ、ソレハ姑ク別ト致シマシテモ、農林

當局ニ於テハ之ヲ十分御研究ニナッタノデアリマセウカ、或ハドノ程度マデ御研究ニナッタノデアリマセウカ、若シ其邊ノコトヲ伺ヘマスレバ御伺致シタイト存ジマス

○町田國務大臣 勿論農林當局トシテモ年來ノ問題デアリマスカラ、相當考慮シマシタ、尙ホ米穀調査委員會等ニ於キマシテハ、惜イ哉亡クナラレマシタガ、三輪市太郎君ノ如キハ熱心ナル專賣論ノ主張者デアリマシタ、米穀調査會ニ於テモ其實行ノ難易等ニ付キ相當論議セラレタノデアリマス、理想トシテハ一ツノ考ヘ方ト思ヒマス、併シ之ヲ實行スル方法ヲ考ヘテ見マスルト、色々ナ困難ガ生ズルノデアリマス、其困難ナ大綱モ取調ベテ居リマス、其困難ナ大綱ガ數箇條アル筈デアリマス、便宜上其專賣法ノ實行上ニ於ケル困難ナ數箇條ヲ私ニ代ッテ農務局長ヨリ説明致シマス

○石黒政府委員 米穀法ノ關係カラ致シマシテ、米穀專賣ノ制度如何ト云フ問題ハ、私共ニ於テモ調節ヲ徹底のニヤルノニハ、此制度ガ最モ徹底のナモノナリト云フコトヲ考ヘテ居ル譯デアリマス、唯ソレガ實行ノ上ニ於テ非常ニ困難デアルト研究ノ結果考ヘマシタ點ハ、米ガ專賣ノ目的物トシテドウモ非常ニ廣汎ナモノデアリマシテ、到ル所

ニ栽培セラレ、數量ガ非常ニ餘計デア
ルト云フ點ガ適シナイヤウニ考ヘラレ
マス、煙草デアルトカ、鹽デアルトカ
云フヤウナ集團シタル原始的ノ適地ガ
アレバ格別デアリマスルガ、其點ハ廣
ク國內ニ於テ生産セラレル數量ガ非常
ニ餘計デアルト云フ點デ、適當トハ考
ヘラレナイデアリマス、尙ホ專賣ノ
目的物トシテ保存ノ上ニ於キマシテ
モ、數量ニ於テモ、品質ノ點ニ於テモ、
中々困難ガアルヤウニ考ヘマス、ソレ
カラ專賣ノ買上米ノ範圍ヲ決定スルコ
トノ困難、是ハ色々ナ點ニ困難ガゴザ
イマス、又買上ノ價格決定ノ困難ト云
フコトモ色々各地デ生産條件ガ異ル
デ、各地ノ銘柄、等級ニ持ッテ行ッテ細
カナ區別ヲシテ廣クヤルト云フコト
ハ、事務上ノ煩雜ヲ考ヘ得ルデアリ
マス、尙ホ其他賣却ニ付キマシテモ色
色ノ點ヲ考ヘマシテモ、到底煙草等ノ
比デハナイデアリマス、配給ノ上カ
ラモ消費者ノ一日モ缺クベカラザルモ
ノデアリマス、之ヲドウ云フ風ニ配給
シテ宜イカ、非常ナ大キナ仕組ガ要ル
ヤウニ考ヘマスシ、買入代金支拂方法、
是モ隨分——政府ノ手形ヲ以テスル
カ、債券等ヲ以テスルカト云フヤウナ
點ニ關シマシテ考ヘマスノニ、方法ニ
於キマシテモ金融時期ニ於キマシテモ
一手デ專賣品ノ買上ト云フコトニナル

ト非常ナ組織ヲ要スルヤウニ考ヘルノ
デアリマス、尙ホ其上ニ農家ノ自家用
米等ニ付キマシテハ是ハ除外ヲシナケ
レバナリマセヌガ、ソレ等ニ聯關ヲ致
シマシテ專賣ノ法ヲ潛リマシテ密賣隱
匿等ノ取締ト云フコトハ中々厲行シ難
イ事情ガ多クアルヤウニ思フデアリ
マス、戰時デアルトカ或ハ特殊ノ國家
狀態ノ下ニ於キマシテ類似ノヤウナ事
ヲ行ヒマシタ他ノ國ニ於テモ、此種ノ
制度ハ、調ベテ見マスルニ中々繼續シ
テ旨ク行クト云フコトガ困難ナ實例ヲ
示シテ居ルヤウニ思フデアリマス、
尙ホ其他ニ多少細カイ事ニナリマスケ
レドモ、米穀ノ品質ノ向上ト云ッタヤ
ウナ事ガ專賣ニ致シマス云フトドウ
モ今ノヤウニ進歩スルコトガ止マルノ
デハナカラウカ、隨分煙草ノ專賣ト云
フモノハ或ル意味ニ於テ餘リ煙草ノ品
質ノ上昇ヲ結果シテ居ラヌヤウニ吾々
ハ見テ居ル、ト云フヤウナ事情カラ見
マシテ如何デアラウカト云フヤウナ考
ガアリマスシ、其他米穀ノ取引所デア
ルトカ或ハ正米市場デアルトカ云フヤ
ウナ所ニ對シマシテハ、是ハモウ全ク
其機關ト相容レヌモノデアリマスカラ
ソレ等ハ廢メテシマハナケレバナラ
ヌ、是等ニ對スル處置ト云フヤウナ事
ヲ考ヘマス云フト、非常ニ大キナ組
織デアッテ、尙ホ其他ニ米穀ノ年々ノ買

入資金ヲ考ヘ倉庫ヲ考ヘ、色々ナ賠償
等ノ費用ヲ考ヘルト云フコトニナリマ
スト、經費ガ非常ニ掛リマシテサウシ
テ運用上斯ノ如キ巨大ナル組織ハ餘程
困難ガアルヤウニ思フデアリマス
併ナガラ此事ニ關シマシテハ先程大臣
ノ申サレマシタ三輪委員等ノ熱心ナ御
主張モ米穀調査會デモアッタデアリ
マス、ソレデ其以外ニ於キマシテモ年
年議會ニ民間ノ請願或ハ建議ト云ッタ
ヤウナ形デ出テ來ルモノガ多イデア
リマスカラ、農林省ニ於キマシテモ相
當考ヘテ計畫ノ算盤等モ當ッテ居
ルデアリマス、ドノ程度ノ範圍ニ於
テ之ヲ始メルカト云フコトニ付テノ見
當ガ甚ダ難カシイ、三輪サンノ說ノ時
ニモ大體當ッテ見テ呉レヌカト云フヤ
ウナ御話ガアリマシテ細カイ算盤モ入
レマシタ、其時ニハ大體三千萬石ノ買
入ヲヤルト云フヤウナコトデ計畫ヲ立
テ、見テ呉レト云フヤウナ事デアリ
マシタガ、サウ致シマス資金竝ニ倉
庫其他ニ對シマシテ約十九億圓——デ
アリマシタカト思ヒマスガ——ノ費用
ガ要ルト云ッタヤウナ算盤ガ出タヤウ
ニ記憶シテ居リマス、細カイ事ハ御必
要ガアリマスレバ其當ッテ見タ物ヲ御
覽ヲ願ッテモ宜カラウカト思ヒマス、ド
ウモ空ニ計畫ヲ立テ、算盤ヲ入レルト
云フヤウナコトニ結局ガ陷ッテシマッテ

的確ナ御話ヲ申上ゲルコトガ出來ナイ
ノデゴザイマス
○胎中委員 是モ餘リ執拗ク聽ク意味
デハアリマセヌケレドモ、色々專賣ニ
付テノ缺點ノアルコトヲ御伺ヲ致シタ
ノデアリマス、併シ徹底的ニ米ノ根本
對策ヲ立テルニハ、專賣モ必ズシモ絶
對ニイケナイ或ハ又絶對デナクテモ今
後顧ミル餘地ノナイモノデアアル、左様
ナ御考デハナクシテ、ヤハリ相當今後
研究サルベキ餘地ノアルモノデゴザイ
マセウカ、ソレヲ一寸伺ヒマス、是ハ石
黒サンデ宜シウゴザイマス、大臣ハ御
疲レノヤウデスカラ……
○石黒政府委員 米穀ノ調節ト云フコ
トヲ申シマスレバ、ソレヲ徹底的ニヤ
ルニハ專賣ガ最モ徹底的デアルト考ヘ
マス、只今申上ゲマスヤウニ實行トシ
テハ殆ド架空ノ計算ヲスルヤウナ氣ガ
致シマスノデ、官行性ハ極メテ乏シイ
モノデハナカラウカト斯ウ考ヘテ居リ
マス
○胎中委員 是ハ其程度デ止メテ置キ
マス、併シ私共將來米ノ問題ニ付テハ
引續イテ御互ガ研究シナケレバナラヌ
カト思フデアリマスガ、何カ細カイ
コトニ付テモ御調ガアリマスデセウカ
ラ、此委員會ノ爲ニ必要トハ言ヒマセ
ヌガ、出來マスカラバドウゾ出來ルダ
ケ早ク頂戴シタイ、是ハ此委員會ニ用

ヒルノデハアリマセヌガ、唯私共ノ根
本ノ米穀對策ヲ考ヘル材料トシテ戴キ
タイト思フノデアリマス、ソレデ此大
ノ御問モヤハリ農林大臣ノ御疲レノ所
ヲ煩スノハ本意デアリマセヌカラ、是
ハ石黒政府委員カラ御伺スル方ガ宜カ
ラウト思ヒマス。

其問題ハ過般原君ヨリ御尋致シマシタ
時ニ今ノ率勢米價ト云フモノハ「ウェー
ト」ガ加ッテ居ル、斯ウ云フコトハ大臣
竝ニ石黒サンモ仰シヤテ居ルシ、更
ニ又昨日東郷君ノ質問應答ノ際モ同様
ニ仰シヤッテ居ルノデアリマス、ソコ
デ私ハ昨日ドウゾソレヲ書イテ戴キタ
イ、速記ヲ見レバ宜イノデアアルガ、速記
ハ中々出来ナイシ、重要ナ問題デア
カラ中々話デハ分リ悪イカラト云フコ
トヲ申上ゲテ御承諾ヲ得テ置キマシタ
ケレドモ、今日御忘レニナッタヤウデア
リマスガ、併シソレヲ今兎ヤ角言フ意
味デハナイカラ誤解ノナイヤウニ
ト云フノハ昨夜散會後石黒サンカラチ
ヨット私ガ聴キマシタ所、更ニ分ラナイ
點ガ出来マシタカラ書面デ御出シテ願
フ其代リニ茲ニ簡單ニモウ一度聴キマ
スガ、此率勢米價ニハ「ウェー」ト「ガ」加ッ
テ居ル、物價指數トシテ「ウェー」ト「ガ」
加ッテ居ル、斯ウ云フコトヲ一ツ御話ヲ
願ヒマス。

○石黒政府委員 昨日其御話ガアリマ

シテ此席デ胎中サン竝ニ片野サンニ晚
クマデ殘ッテ申上ゲテ居ッタノデアリマ
スガ、尙ホ歸リマシテ今手許ニ達シテ
居リマシタケノ速記録ヲ讀ンデ見タノ
デアリマス、私モ覺エテ居リマス通り
ニ、其事ハ無論申上ゲテ居ルノデ、私
ハ左様考ヘテ居ル、大臣モ御話ノ通りニ
言ッテ居ラレマス、私ノ原サンニ對シテ
申上ゲマシタコトハ色々問答ニ依ッテ、
段々原サンノ仰シヤッタ趣旨モ私ニ分ッ
テ來タノデスガ、最後ニ申上ゲテ居リ
マスノニ「ウェー」ト「ガ」加ッテ居
タノ仰シヤタルノト私ガ申上ゲタノトハ
或ハ喰違ッテ居ルカモ知レマセヌ、私ノ
申上ゲマシタノハ、需要者ノ需要ノ緊
切ノ程度ト、生産者ノ生産費ガ、工業
者ノ工業生産費ノ如クニ低減ヲスルコ
トガ出来ナイ、相當ノ生産費ガ掛ッテ
居ルト云フコトノ程度、是ガ米價指
數ト云フモノガ一般物價指數ヨリモ多
クノ場合ニ於テ約二割見當高位ニ在ル
ト云フ所デ自然ニ現ハサレテ居ルコト
ト思フノデアアルカラ、此意味ニ於テ一
般物價指數ヲ取ッテ、之ヲ此並ミニ米價
ヲ律シテ行カウト云フ一般物價指數說
ヲ私共ハ取ラナイデ、米價率ト云フモ
ノヲ見マシテ、之ヲ捉ヘテ其趨勢ニ依ッ
テ率勢米價ト云フモノヲ出シテ來タ譯
デアリマス、斯ウ申上ゲテ居ル、原サ
ンノ「ウェー」ト「ガ」加ッテ居ルハ前後ノ速

記等ヲ見マスト、是ハ商品トシテノ大
イサヲ御考ヘニナッテ居ルヤウデアリ
マス、輕節ノ如キハ二千萬圓位、米ノ
如キ四億モアルモノト、同一ノ程度ニ
之ヲ一品トシテ取扱フコトハイカヌデ
ヤナイカ、斯ウ云フ風ニ仰シヤッテ居
ルノデアリマス、ドウモ其點ノコトニ
ナリマスト「ウェー」ト「ガ」加ッテ居
ハ違ッテ居ルヤウニ思ヒマス、併シ原サ
ンノ仰シヤッタヤウナ意味ノ「ウェー」ト
ヲ各物價ニ對シテ付ケマスト、私他ノ
場合ニ申上ゲタノデアリマスガ、我國
ノ物價ト云フモノハ殆ド米其他二三ノ
品物デ現ハサレテシマッテ、外ノ物ハ
少シモ現ハレテ來ナイ位ノモノニナッ
テシマヒハセヌカ、斯ウ考ヘルノデア
リマス、ソレガ宜イノダト云フ御考モ
アルヤウデアアル、併シ經濟學者ノ中ニ
ハ、物價指數ニ「ウェー」ト「ガ」加ッ
イト云フ議論ハ私共モ仄カニ聞イテ居
リマスガ、其「ウェー」ト「ガ」加ッテ居
ニ付ケタラ宜イカト云フコトニ付テ
ハ、ドウモドレガ適當カト云フコトニ
付テハマダハハッキリ定説ガナイノデア
リマス、ソコデ若シ「ウェー」ト「ガ」加ッ
リ付クノデアレバ、ソレハ物價指數ダ
ケデ以テ此我國ノ米價ト云フモノヲ律
シテ行カウ、其事ガ米ノ商品トシテノ
經濟界ニ對シマス關係ヲ見ル上ニ於
テ、一番好イ基礎デアルト斯ウ云フ風

ニ言ヘマスケレドモ、其「ウェー」ト
云フモノヲ今ノ日本銀行ノ指數ハ付ケ
テ居リマセヌシ、又「ウェー」ト「ガ」加ッ
ルトシマシテモ中々困難ガアルノデ、
早晩是ガ適當ナ「ウェー」ト「ガ」加ッテ物
價指數ガ外ノ所カラ出テ來ヨウトモ考
ヘラレナイ、サウシマス、今ノ一般
物價指數ト云フモノヲ、世間デ以テ皆
之ヲ經濟界ノ一ツノ測定ノ手段ト致シ
マシテ、物價ガ下ッタ上ッタト斯ウ云フ
コトヲ申シテ居ルノデ、一般物價ノ上
リ下リト云フコトニ米モ商品トシテ應
ジテ行ケバ、先ヅ需要供給雙方ニ取ッ
テ不足ハナイデハナイカ、斯ウ云フ一
般物價指數論主張者ノ主張ガ其處ニ參
ルノデアリマス、ソレデハ米ニ取ッテハ
重要度ト云フモノヲ全然原サンノ仰シ
ヤルヤウニ輕節ナド、同じニ見ルト云
フコトニナッテ適當デナイ、ソコデ其重
要度ヲ何トカ見ヨウト云フノニ、方法
ト致シマシテ商品ノ數量ト云フモノヲ
捉ヘテ來ルノモ前ニ申シマシタヤウニ
甚ダ如何カト考ヘマスノデ、別ニ米價
指數ト云フモノヲ一ツ一般物價指數ニ
對比致シマシテドノ位ノ高サニアルカ
ト云フコトヲ見テ、其米價ノ率ト云フ
モノ、趨勢ガ長年ニ互ッテ見ルト云フ
ト二割見當近ク高イノガ居リ場所デア
ル、斯ウ云フ風ニ見ラレノデアリマ
スカラ、ソレヲ捉ヘテ參ッタト云フコ

トガ、一般物價指數ヲ捉ヘテ、ソレデ
財界ニ順應セシメルト云フ議論ニ對シ
テ米ノ重要度ヲ幾分加ヘタ、訂正シタ
私共ノ見方デアル、斯ウ考ヘテ居ル
デアリマス

○胎中委員 サウシマスト原君ノ言ハ
レタ詰リ重要度ノ米ト蠶節トノ比較、
更ニモウ一步私モ進ンデ考ヘテ見タ
イ、詰リ他ノ生産工業品ノ如ク多量生
産ニ依ツテ其生産費ヲ相當安クシ得ルモ
ト違ッテ、米ガヤハリ原始産業デア
テ、他ノ工業品ト違フト云フコトハ是
ハ誰モ認メテ居ル、斯ウ云フモノハサ
ウスルト米價ノ趨勢トハドウ云フ關係
ヲ持ツノデアリマスカ、サウ云フモノ
モ此割出シタ所ノ所謂米價率、率勢米
價、此中ニ含マレテ居ル、斯ウ仰シヤ
ルノデアリマセウカ、ソコヲハッキリ御
伺ヒシタイ

○石黒政府委員 米價率ヲ見マシテ、
其趨勢カラ出シマシタ趨勢米價ト云フ
モノハ、是ハ一般物價ニ依ツテ米價ヲ律
シテ行カウト云フ考カラ出テ居ルコト
ハ否メナイト思ヒマス、唯一般物價指
數、ソレダケニ依ツテヤルノデハナイ
ノデアリマス、ソレヨリ幾ラカ高イト
云フコトノ重要度ガ、特殊性ガアルコ
トヲ認メテ來タノデアリマス、其差ハ
何デアルカト云フト、原サンモ仰シヤ
タヤウニ一般物價指數ノ方ニハ生産費

ノ低減ガドシ、ヤッテ行ケル所ノ工
業品ガ澤山アル、然ルニ米ノ方ハ生産
費ノ低減ト云フモノハサウ、出來ル
モノデハナイト云フ所ノ違ガ此開キト
云フモノヲ形造ッタノデハナイカ、斯ウ
云フ御質問デアリマシタガ、私其通り
ト考ヘマス、尙ホ其他ニ米ニ對スル需
要ノ緊切ト云フモノガアラウト思ヒマ
スガ、其二ツデ此差ガ出來テ居ルト思
ヒマス、斯ウ申シマシタ、其差ヲ認メ
テ米價率ノ趨勢値ニ依ツテ出シマシタ
率勢米價ト云フモノハ其意味ニ於テ一
般物價ヨリモ米ニ對シテ生産費及ビ需
要者ノ需要ト云フコトヲ考ニ入レテア
ルモノデアルト云フコトガ御了解願ヘ
ルダラウト、斯ウ思フノデアリマス、
之ニハ決シテ商品トシテノ米ノ大サ、
至極優ルト言ツタヤウナコトハ入ッテ居
リマセヌケレドモ、生産費及ビ重要ト
云フコトノ程度ハ相當入ッテ居ル斯ウ
考ヘルノデアリマス

○胎中委員 實ハ此問題ハ皆ガ繰返シ
繰返シ言ウテ居ルコトデアリマシテ、
實ハ私モ率勢米價ノ事ヲ御聽キシタク
ナイケレドモ、此率勢米價ハ、一面カラ
見ルト、今度ノ改正案ノ骨子デアリマ
ス、ソコデドウカシテ分ルモノナラ分
リタイシ、分ラヌトシテモ、分ラヌト云
フダケノ結論ニ達シタイト思ッテ、強テ
御聽キシテ居ルノデアリマス、モウ一

言御聽キシタイ、ソレハアタノ仰シ
ヤルコトハ、要スルニ斯ウ云フ意味デ
ハナイカト私ハ解スル、五十六種類
ル品物ノ物價指數ト云フモノヲ出シ
テ、之ニ依ツテ見ルト、米ト云フモノガ、
他ノ物價ト違ッテ、段々高クナッテ來テ、
上リ下リハアルケレドモ、段々高クナッ
テ來テ、サウシテ他ノ品物、ソレノ値打
ヨリハ約二割弱程上ッテ來テ居ル、ダカ
ラ其上ッテ居ル理由ハ、要スルニ米ノ重
要性、竝ニ諸般ノ種々ナル事情ガ、米ヲ
シテ當然ニ上ラシメタモノデアル、デ
アルカラシテ、此間他ノ物價指數ト比較
シテ、二割近ク上ッテ來テ居ルト云フ所
ニ、所謂「ウェート」ガ加ッテ居ルモノデア
ル、斯ウ云フ御考ニナッテ居ルヤウニ私
ハ思フノデアリマス、質問者ガ、却テサ
ウ云フコトヲ御聽キスルノハヲカシウ
ゴザイマスケレドモ、簡單ニモウ一遍
御伺ヒシタイ、今仰シヤッタコトハ、
要スルニ一般ノ物價指數、ソレヨリ米

ガ段々長イ年月ノ中ニ、上リ下リハア
タケレドモ、結果ニ於テ上ッテ、其上ッ
差ヲ、今日ムヅカシイ高等數學ニ依ツ
テ割出シテ見ルト、二割弱ト云フモノハ
上ッテ居ル、デアルカラシテ、茲ニ米ノ
趨勢値ヲ見出シテ、ソレデ米價率ト
云フモノヲ定メテ行ク、此米價率ニハ、
他ノ品物ト違ッテ所謂「ウェート」ナル
モノガ加味シテ居ルモノデアル、斯ウ

考、斯ウ仰シヤルデアラウト思ヒマス
ガ、一應……

○石黒政府委員 大體其通りダト思ヒ
マス、唯他ノ品物ト違ッテ居ルト云フ所
ガ、他ノ品物ト較ベタノデハナイノデ
アリマシテ、一般物價指數ト云フモノ
ヲ、工業品ヲ含ンダ五十六種ト云フモ
ノ、一々同ジ單位デ認メタ、總平均
ト云フモノガ出テ居ルノト比較シタノ
デアリマスカ、他ノ品物ノ事ニハ、少
シモ是ハ觸レテハ居ラナイ、一般物價
指數ノ中ニ、工業品トカ又農業品モア
リマス、其五十六種ト云フモノヲ、一々
ヲ同ジ重サト見タ總平均、ソレデ物價
ガ經濟界ニ於テ上ッタトカ、下ッタトカ
言フ議論ヲスルノデアリマスガ、其並
ミニ米ヲ終始取扱ッテハ困ル、ソレヨリ
モ茲ニ出シテ來タ所ノ率勢米價ト云フ
モノニ依ツテ取扱ッテ貰ヒタイ、斯ウ云フ
ノデアリマス、デアリマスカ、根據
ハ、根本思想ハヤハリ物價指數ト云フ
コトガ根本思想ニナッテ居ルコトハ其
通りデアリマスルガ、他ノ一々ノ物價
指數ヲ構成シテ居ル他ノ品物ニ較ベタ
ノデハナイノデアリマス、ソコノ所ヲ
御承知願ヒマス

○胎中委員 モウ一言御伺ヒスレバ大
變ニ分ラウト思ヒマスガ、要スルニ米
ノ値段ガ段々上ッテ來タ、サウシテソレ
ガ約二割弱程上ッテ居ル、ソレデ其處ニ

今度政府ノ御出シニナツタ改正案ノ中ニ、率勢米價トシテ二十二圓八十五錢ト云フ數字ヲ現ハシテ居ル、其割出サレタモノガ、政府當局ノ方ニ於テハ米ノ重要性竝ニ關聯シタ幾多ノ特殊性ト云フモノガ加味サレテ居ル、斯ウ云フヤウナ見方デアアルノト、私共ガ見ル見方ニ依リマス、米ト云フモノガ今ノ率勢米價割出サレタ價格以上ニ、現在ニ於テハ他ト比較シテモツト値打ガナケレバナラヌ、何故ニナケレバナラヌカト云フコトハ、諄々シク申上ゲマセヌデモ、生産費ノ關係、或ハ米ノ豐凶ノ關係、其他幾多アリマスルガ、ソコデ私共ガ其處ニ疑ヲ挟ム、若シ政府當局ノヤウナ御斷定ヲ爲サツテ、米ガ自然ニ他ノ品物ヨリ値段ガ上ツテ來タ、ソレハサウ云フ重要性ヲ含ンダ所謂「ウェー」ト「ヲ」加味シタモノデアアルト云フ、其斷定ヲスルト致シマスレバ、私ハ茲ニ斯ウ云フ事ヲ考ヘナケレバナラヌト思フ、是ハ實ハ私ハ是非ソレヲ要求シヨウト思ッテ居リマシタガ、今日ノ質問應答ノ間ニ於テ、是ガ出來ヌト云フコトガハッキリシタカラ、是ハ強ヒテ出來ヌモノハ要求シマセヌ、即チ出來ヌト云フコトハ日本銀行ノ物價指數ニ關スル、其基礎的數字ト云フモノハ示サナイ、是ハ祕密ノモノデアアルカラ、斯ウ云フコトデアリマスルカラ、隨テ私ノ

要求ハ其意味ニ於テ出來ヌ事デハアリマスルケレドモ、一ツ私ハ御考ヲ願フテ、サウシテ尙ホ私ノ蒙リ啓イテ戴クコトガ出來レバ幸ダト思ヒマス點ハ、サウ云フ當局ガ斷定ヲ下スト云フコトニナリマスレバ、五十六種類ノ中ノ米ヲ取除ケタ他ノ五十五種類ノ商品ノ趨勢値モヤハリ此處ニ見出サナケレバナラヌ、此趨勢値ヲ見出シテ、初メテ其處ニ此米ガ成程的確ニ其重要性、即チ「ウェー」ト「ヲ」加味シタモノデアアルト云フコトヲ見出サレルカ、見出サレヌカト云フコトガハッキリ分ル、私ハサウ考ヘル、何トナレバ五十六種類アル物價ノ指數ノ中デ、米ダケノ趨勢値ノ話、米價率ノ話ガ茲ニズツト出テ居ルガ、今言フヤウニ米價ト云フモノニ對シテ、之ニ「ウェー」ト「ガ」加ッテ居ルモノデアアルト云フ斷定ヲ下スナラバ、ドウシテモ對照的ニ他ノ米ヲ除イタ五十五品ノ上リ下リノ趨勢値ト云フモノヲ見出シテ、是ト對照シナケレバ私ハ分ラヌヤウニ思フノデアリマスルガ、ドウ云フ風ナモノデアリマセウカ

○石黒政府委員 私ガ重要度ガ認メラレテ居ルト云フコトヲ申シマシタノハ、或ハ斯ウ云フ風ニ申上ゲタラバ多少御諒解ガ行クカトモ考ヘマス、ソレハ一般物價指數ト云フモノ、變動ガズツトアリマスノデアリマス、其一般物價指數ノ變動ノ並ミニ米價ト云フモノヲ出シテ見レバドウナルカ、私共ガ物價指數並ミノ米價ト云フコトヲ申シテ居リマスガ、物價指數ガ百ノモノガ百二十三ニナツタト云フ時ニハ、米モ明治三十三年十月ヲ百ト致シマシテ、物價指數ノ増加ノ話ト同ジ率ニ増加シタモノトスレバ、幾ラデアアルカト云フコトヲ出シマス、ソレガ一般物價指數並ミノ米價、斯ウ考ヘルノデアリマス、ソレハ米ヲ一ツノ商品トシテ、他ノ商品ト同ジヤウニ見レバ、其一般物價指數並ミノ米價ト云フモノヲ茲ニ捉ヘテ來ルト云フコトノ説ガ出テ來ル譯デアリマスガ、ソレハイケナイト云フノデ、一般物價指數ニ對スル米價指數ノ開キト云フモノヲ捉ヘマシテ、即チ米價率ヲ捕ヘマシテ、ソレデ率勢米價ヲ出シマシテ、之ヲ比較致シマス、一般物價指數並ミノ、米價ヨリモ率勢米價ノ方ガ無論高イト思ヒマス、此高イ程度ト云フモノガ、即チ米ノ重要度ヲ認メタモノデアアル、斯ウ私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○胎中委員 是ハドウモ是レ以上御伺シテモ分ラヌ、他ノ人ガ幾多質問シテ居ルカラ、此程度デ止メマス、更ニ御伺致シタイノハ、現在ノ特別會計法ニ依ル米穀資金、是ハ縦シ米ヲ買ツタリ賣ツタリスルコトニ依ッテ、損得ガ假ニナイトシテモ、年々千五百萬圓カラ二千萬圓ト云フ金ガ、利子其他ニ消エテ行クコトハ明瞭デアリマスガ、斯ウ云フコトガ事實デアリマス上ニ、ドウシテモ今日マデノ事實ニ徴シテ、ヤハリ今後モ米穀法ノ出動ガアルコト、見ナケレバナラヌ、アレバ相當ノ損失ガアルト云フコトモ、是ハ豫想シナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウニナツテ來ルト、年々米ノ賣買ヲシナイ、米穀法ガ出動シナクテモ千五百萬圓ナリ二千萬圓近クノ金ハ減ッテ行ク、サウシマス先ニモ私ガ御尋シタヤウニ、今度ノ米穀法ノ改正ニ依ッテ、本質的ノ米價ノ調節並ニ數量ノ調節ト云フコトヲドウシテヤツテ行ケルカト云フコトガ私ノ一ツノ疑デアリマス、更ニ其疑ヲ解ケレバ解イテ戴キタイト同時ニ、斯ウ云フ風ニ進ンデ參レバ、極メテ近キ年度ノ間ニ於テ、此資金ト云フモノハ無クナルト見ナケレバナラヌ、既ニ過般來ノ御説明ニ依ルト、三月三十一日マデニ一億五千萬圓ノ損失ガアル、サウスルト殘ッテ居ルモノハ一億二千萬圓、其一億二千萬圓ノ中カラ、隨分固定資本トシテ是ガ寢テ居ルト云フコトモ明瞭デアリマス、ソコデ今度アノ八千萬圓増額スルトシテモ、私ハ此點ヲ非常ニ心配ラスル者デアリマス、ソコデ其心配ノ點ニ對スル御説明ヲ願フト同時ニ、是等

ノ損失ヲ申セバ、三月三十一日マデノ損失が一億五千萬圓アル、此一億五千萬圓ト云フモノハ、大藏大臣モ申サレタ通り、ドウシテモハ始末ヲシナケレバナラス、一體米穀法ノ制定ノ基礎ガ誤ッテ居ルノデアルカラ、是ハドウシテモ始末ヲシナケレバナラスケレドモ、大藏省ノ十年財政計畫ノ中ニ加ッテ居ラス、斯ウ云フコトデアリマスカラ、此事モ他ノ人ノ質問ノ中ニアッタヤウニ聞イテ居ルケレドモ、此場合私ハ大藏大臣デナクトモ宜シイ、農林大臣トシテ、ドウ云フヤウナ御見込ト考ラ持ッテ居ラレルカ、此二點ヲ御伺致シタイ

○町田國務大臣 過日モ大要ハ申シマシタガ、只今ノ御質問ニ對シテ私カラハッキリト御答致シテ置キマス、米穀調査會ノ答申ハ、一般會計ニ於テ此損失ヲ補填セヨト云フ、ハッキリトシタ答申ガアッタノデアリマス、察スルニ一般會計ニ於テ此損失ヲ填補セヨト云フ調査會ニ於ケル決議ハ、ヤハリ其考ノ出マスノハ、斯様な狀態デハ年々損失ヲ増シテ、米穀運用ノ資金ガ乏シイコトニ相成ルト云フ考ガ一ツト、モウ一ツハ米穀法ノ立場カラ言ヘバ少シ米穀法ハ冤罪ヲ被ッテ居ルト私ハ常ニ考ヘテ居リマス、若シ一般會計ガ一日モ早ク此損失ヲ填補シテ呉レルト、世ノ中カラ斯ウ云フ苦情ト非難ガ餘程少クナル、

全體米穀法ト云フモノハアルケレドモ、國庫ガ非常ナ損バカリシテ居ッテ、其割ニ效果ガナイ、イッソアンナモノハ廢シタラドウダナドト云フ議論モ相當聞クノデアリマス、私ハ東郷君ガ理想的ナ案トシテ御話ニナッタアノ點ハ、御同感デアリマシテ、將來低利資金及ビ農業倉庫ノ普及ニ依リ、國民ノ自覺ニ依ッテ調節スルト云フコトガ、今後何年ノ後ニ參リマスカ、左様ナ時代ガアレバ、米穀法ノ運用ノ機會ガ幾分力減ルコト、思ヒマス、一面ソレハ勸メマス、私共モ現ニ當年試ミテ相當ノ成績ガアルト思ッテ勸メマスモノ、今日ニ於テハドウシテモ米穀需給特別會計ノ資金ガ相當豐デナケレバナラスト同時ニ、答申案ニアル之ヲ一般會計ニ移セト云フ意味ハ、運用資金ヲ豊富ニスルト同時ニ、一面ニハ米穀法ニ對スル非難ヲ緩和シタイト云フ二ツノ考ガアッタト確信シテ居リマス、私モ常ニ其考ヲ致シテ居リマス、故ニ大藏大臣ハ先頃此席ニ於テ、主義トシテハ贊成デアアルガ、御話ノ通り財政計畫ノ上ニ載ッテ居ラヌ、之ヲ假ニ公債ト致シマシテ、一億五千萬ノ交付公債ヲ發行スルトシテモ、此利拂立ニ五十年間デアリマスカニ元金ヲ償還スル減債基金ニ繰入ルベキ部分ヲ加ヘルト、恆久的財源トシテ約千萬圓位ナケレバナナルマイ、如何ト

モ今日出來ナイ、斯ウ云フ實情ヲ此處デ告白サレテ、在リノ儘ニ、率直ニ大藏大臣モ答辯サレタヤウデアリマスガ、併シ私ノ立場トシテハ、少クトモ一兩年ノ間ニ之ヲ交付公債ニ移シテ、之ニ要スル利息及ビ減債基金ニ繰入ルベキモノヲ加ヘタ一千萬圓ハ、恆久的歲出トシテ、之ニ伴フ財源ヲ是非トモ得ナケレバ、米穀法ハ今後長ク運用ガ出來ヌ、是ガ爲ニ特別會計ガ利息ノ爲ニ依ッテノミ年々増額ヲシナケレバナラスト云フ虞ガアルカラ、私トシテハ少クトモ今後一兩年ノ間ニ之ヲ交付公債ニ移スト云フコトニ全力ヲ盡シテ實現スル決心ヲ持ッテ居リマス

○胎中委員 今農林大臣ノ仰シヤッタ通り、私共トシテハ今度ノ改正案ノ根據ノ、所謂特別會計ヲ一般會計ニ移スト云フ根本改正ノ出來ナカッタコトヲ非常ニ遺憾ト致シマスルガ、ソレハ姑ク措イテ本來ナラバ此事ハ大藏大臣ニ聽キタイノデアリマスガ、之ヲ省略シテ農林大臣ニ御伺シテ見タイト思フノハ、先づ年々經常費トシテ一千五百萬圓カラ二千萬圓ト段々損失ガ重ッテ行ク、此事ハ特別會計ヲ一般會計ニ移スト云フコトニ依ッテ解決サレルモノデアリマスガ、ソレヨリ差當ッテ今日マデノ損失デアリマスル一億五千萬圓、此一億五千萬圓ト云フモノハ、私ガ言ハ

スデモ明瞭ノ通り、是ハ重利法段々利子ガ嵩ンデ行ク、サウシテハ單リ今日ノ惱デナイ、必ズ是ガ將來利ニ利ヲ重ネテ行ッテ、非常ナ國民ノ負擔トナル大キナ痛デアアルコトハ、是モ御異存ガナカラウト思フ、サウシテ其結果ドウスルカト云ヘバ、何レノ時代力是ガ解決ニ當ッテ、遂ニ増稅デモシナケレバ、此結末ガ付カスト云フコトハ、是ハ誰モ考ヘラレルコトデアアル、ソコデ私ハ思フ、是程不自然ナ、不都合ナ、サウシテ國家國民ノ爲ニモ不利益ナ負債ト云フモノハ、ドウシテモ一日モ早ク解決シナケレバナラス、大藏大臣モ此意味ニ於テハ御同意デアッタガ、唯財源ガ無イカラト云フ話デアアル、ソコデ私ハ考ヘル、過般海軍ノ保留財源デアッタ五億八百萬圓ノ中カラ、第一次計畫ノ剩餘金トシテ一億三千四百萬圓ノ金ガアル、丁度一億五千萬圓デアリマスルカラ、一億三千四百萬圓デハ足ラナイケレドモ、大體似寄ッタ金デアアル、此金ヲ私ハ、此處デハ趣味ヲ申シマセヌ、言ヘバ言フ事ハアリマスケレドモ、趣味ハ私ハ言ハヌガ、要スルニ之ヲ減稅ニ充テル程ナラバ、何故此複利式ニ依ッテ段々其禍、痛ヲ大キクスル所ノ一億五千萬圓ノ損失ニ充テナイカ、之ニ付テ私共ハ非常ナル疑ガアル、此點ニ付テ農林大臣ハ、開議若クハ他ノ機會ニ

於テ、大藏大臣ト何カ意見ノ交換ヲサ
レタコトガアラウト思ヒマスガ、其事
柄ガアルト致シマスレバ、ドノ程度ニ
強イ意味ニ於テ大藏當局ト御話ニナッ
タカ分ラナイガ、一ツ此場合ニ御聞カ
セ下サレバ洵ニ仕合セデアリマス

ルコトハ、皆承知シテ居リマスカラ、相
成ベクハ今年ノ中ニ斷行スル所ノ行政
財政ノ整理ノ場合ニ於テ、此損失ヲ一
般會計ニ移スコトハ、恐ラクハ困難デ
アリマセウ、交付公債トシテ、假令公債
ノ總高ハ六十萬圓ヲ越ス虞ガアルトシ
テモ、左様ナ非難ハ受ケテモ、斷乎トシ
テ此特別會計ノ損失ヲ交付公債ニ移シ
テ、之ニ要スル年々ノ經常費ハ、行政財
政ノ整理ニ依ッテ、必ズ財政計畫ニ現ハ
ル、所ノ財源ヲ是非トモ得タイト思ッ
テ居リマス、又併シ御議論ノ建方ニ依ッ
テハ、之ヲ此儘ニシテ置ケバ、複利法ニ
依ッテ年々損失ハ増シ、今後當分ノ間ハ
米穀法ヲ廢止スル譯ニハ實際政治論ト
シテ行ハレヌ、如何ナル人ガ内閣ニ立ッ
テモ、此米穀法ヲ廢止スルコト云フ譯ニ
ハ行カヌカラ、斯様ナ損失ガアルモノ
ナラバ、寧ロ減稅ニ向ケル一部分ヲ、時
ニ取ッテ整理スルコトモ一ツノ財政計
畫ノ建方デハナイカト云フ御質問ニ對
シテハ、是ハ胎中君ノ御話ノ如ク、時
ノ財政當局ノ考ヤウニ依ッテハ、早ク之
ヲ整理シテシマハウト云フコトニ重キ
ヲ置クコトモ一ツノ整理方法ト思ヒマ
ス、絶對的ニ今ノ御意見ニ反對スル譯
ニハ參ラヌト思ヒマス、現内閣ノ建方
ハ、唯軍縮ニ依ッテ得タル財源ヲ、國防ニ
於テ最小限度ノ安固ヲ圖リ、其餘レル
モノヲ減稅ニ當テルト云フ政策ヲ取り

マシタカラ、現内閣トシテハ、此減稅額
ヲ減ジテ、特別會計ノ損失ヲ補フト云
フコトハ、現内閣ノ意見デハアリマセ
ヌガ、今ノ内閣ガ更ッテ、他ノ財政計畫
ヲ立テル人ガアツタナラバ、左様ナ方法
ヲ執ルノモ一ツノ途ト思ヒマス

論外交關係ガ複雑デアリマスルカラシ
テ、色々ナ複雑シタ點ガアラウト思ヒ
マスルガ、併シドウシテモ此目的ヲ達
スルノニハ、外國トノ圓滿ナル交渉解
決ト云フモノガ出來ナケレバナラヌト
思フ、此點ガドウ云フ風ニ參ッテ居リ
マスルカ、進ミ方等ニ付テモ、簡單デ
宜シウゴザイマス、ドウゾ時間ヲ取ラ
ヌデ御答辯ヲ願ヒタイ

○町田國務大臣 私トシテモ農林當局
トシテ、米穀特別會計ヲ整理スルコト
ハ極メテ熱烈ナル希望ヲ持ッテ居ル、私
ノ立場トシテ今ノ御質問ハ寧ロ感謝致
シマス、非公式ニドノ邊マデト云フ意
味デ、大藏大臣ト打合ヲシタカト云フ
コトニ對シマシテハ、私ハ率直ニ申シ
マス、今度ノ軍縮問題ニ依ッテ、最小限度
ノ國防ノ安固ヲ圖ルト共ニ、其幾分ヲ
以テ減稅ニ當テルト云フ聲明ハ、現内
閣ガ致シテ居リマスルカラ、私モ此減
稅ニ充テル部分ヲ割イテ米穀特別會計
ノ損失ヲ補填スルト云フ程ノ主張ハ致
サヌノデアリマス、併シ此議會ガ終ヘ
マス、直ニ行政財政ノ根本的改正ヲ
斷ジテスルト云フ決心ヲ持ッテ居ルノ
ハ御承知ノ通りト思ヒマス、其聲明ヲ
致シテ居リマス、私ハ此議會ヲ終ヘマ
シテ、餘程困難ナル大事業ト思ヒマス
ルガ、行政全般ニ互ッテ經常歲出モ一面
ニ於テハ整理ヲ致シマス、一面ニハ必
要ナル新財源モ、之ニ依ッテ出來マセウ
ガ、此際ニ眞ニ我國ノ特別會計ニ於テ、
殘レル痛ノ主ナルモノハ特別會計デア

○胎中委員 今ノ最後ノ御答ハ、頗ル
満足致シマス、恐ラク現内閣ノ諸公ノ
中デ、町田農林大臣以外ニハ斯様ニ率
直ニ私共ニ眞情ヲ明ケテ呉ル人ハ他
ニナイト考ヘテ敬意ヲ表シマス、要ス
ルニ現内閣ノ國民ニ公約シタ政策ノ中
ニ、倫敦條約ニ依ル軍備ノ縮小カラ來
ル所ノ其剩餘金ヲ以テ、國民ノ減稅ニ
充テルト云フコトノ約束ガアツタカラ、
一面ニハ國民ニ大キナ痛トシテ殘ルニ
至ッタ其痛ヲ取去ラズシテ、減稅ノ方ニ
充テル、斯ウ云フコトガ真相デアラウ
ト思ヒマス、私ハ此點ニ於テ、農林大
臣ノ御答辯ニ極メテ満足シテ敬意ヲ表
シマス、偕テ此項モ相當論議サレタコ
トデアリマスカラ、御伺シヤウカト思
ヒマシタケレドモ、極ク簡單ナコトデ
アリマスカラ、御伺ヲ致シテ置キタイ
ノハ、改正案ノ第三條ノ點デアリマス、
此事ニ付テ一ツ御説明ヲ願ヒタイノデ
アリマスガ、ソレハ外國トノ條約關係
ガ圓滿ニ行ッテ居ルカドウカ、此點ニ付
テハ從來外務省ニ種々ノ意見ガアルト
云フコトヲ私共ハ聞イテ居リマス、無

○西村委員長 速記ヲチヨット……
〔速記中止〕

○胎中委員 ソコデ御伺致シタイコト
ハ、改正案ノ第四條ノ中ノ後半ノ但書
ニ依ルト、「米穀ノ買換貯藏米穀整理ノ
爲ニスル賣渡、輸入ヲ目的トスル米穀
ノ買入及輸出ヲ目的トスル米穀ノ賣渡
ノ場合ニ於テハ、此ノ限ニ在ラズ」ト
云フコトガアリマス、是ハ先日ノ原君
ノ意見同様、此後段ノ但書ニ於テ今回
ノ改正案ト云フモノガ有名無實ニナリ
ハセヌカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、
併シ拂下ノ場合ハ買換、整理ノ爲メノ

賣渡等ノ名儀デ勝手ニ行ハレルノデア
リマスガ、是ガ農民ニ對シテハ不利ヲ
生ズルモノデハナイカ、又買上ノ場合
ニハ、如何ナル場合ニモ基準ニ依ッテ固
ク規定サレテアルノデアリマシテ、却ッ
テ消費者ニハ有利トナル、而モ先日ノ
御答辯ニ依ルト、米穀委員會ニ諮問シ
テ行ッタルデアアルカラ、農民ニ不利益ヲ
來スヤウナコトハナイト云フ御話デア
ル、併シ今日ノ米穀委員會ト云フモノ
ヲ見ルニ、大多數ハ農林大臣ノ意見ニ反
對スルコトノ出來ナイヤウナ方々ガ多
イノデハアルマイカ、ト申スノハ未ダ
會テ一度モ此委員會デ農林大臣ノ意見
ニ逆ッタ者ガナイ、御意見ノ通ラナカタ
コトハナイ、斯ウ云フ事實ニ振返ッテ見
マシテ、此後半ノ但書ハ却ッテ生産者側
ノ農家農民ニ不利益ナル結果ヲ生ジハ
シナイカト云フコトヲ考ヘルノデアリ
マスガ、此點ニ付テ簡單ニ御答ヲ願ヘ
レバ幸デアリマス

○町田國務大臣 整理賣却ノ場合ガ主
ナル問題トナリマシタガ、買換ノ場合
ハ數量ニ於テ買フ分量ト賣ル分量ガ、
同一デアリマスカラ、需給關係ニハ大
體ニ於テ關係ガナイ、唯從來買換ノ場
合ニ於テ問題トナッテ居ッタノハ、同時
ニ賣リ同時ニ買ハナケレバナラヌ、少ク
トモ其間ガ極ク短イ間ニ雙方ヲヤレト
云フ議論モアリマス、又從來ノ慣例ニ

依リマス、米ガ市場ニ少イ場合ハ、
同ジ買換ヲ致シマシテモ其順序ガ賣ル
コトヲ先ニシテ買フコトヲ後ニシ、米
ガ安イ場合ニハ買フコトヲ先ニシテ賣
ルコトヲ後ニスル、是ガ爲ニ買フコト
ハ買ッタガ、賣ル機會ヲ失シテ、買換ノ
全部ガ實行出來ナカッタト云フ例モア
ルヤウニ思ヒマス、併シ其點ハ大キナ
問題デアリマセヌガ、整理賣却ノ爲ニ
胎中君ノヤウナ御質問ガ出ルコト、思
ヒマス、從來モ古米ヲ整理スル爲ニ整
理賣却ヲ致シタコトガアリマス、併シ
其整理賣却ヲ致ス場合ハ、私ノ携ッテ
居ル限リニ於テハ、例ヘバ一昨年立テ
マシタ米穀政策ニ於テハ、三百七十萬
石ヲ昨年ノ端境期マデ殘ス計畫デアリ
マシタガ、其中ノ過半ノ米ガ政府ニ入ッ
テ、市場ノ供給トナラナカッタ、ソレデ
實際民間ニ於テ賣買セラレル分量ガ、
非常ニ少ナカッタ爲ニ、四月前ニ比ベテ
七月以降九月ニ互ッテ米價ガ著シク騰
貴シタ、其騰貴シタ時ハ一般農家ガ手
持トシテ米ヲ持ッテ居ラヌ、米ヲ持ッ
居ル者ハ地方ニ於テハ大地主、若クハ
商人ニ殆ド限ラレテ居ッタ、其時代ニ
於テ市場ノ供給ガ乏シイ爲ニ、米價ガ
高マッタノデ、農會若クハ產業組合等ヲ
經マシテ、地方ノ中以下ノ消費者ノ手
ニ達スルヤウナ意味デ、徐ロニ古米ヲ
整理賣却シタノデアリマスガ、ソレモ

ヤハリ米穀委員會ノ意見ヲ徵シテヤッ
タノデアリマシテ、今御心配下サルヤ
ウニ此整理賣却ヲヤッタガ爲ニ、市場ノ
米ノ供給ヲ殖ヤシ、米價ヲ低落セシメ
テ生産者タル農家ノ上ニ迷惑ヲ來シタ
ト云フコトハ、私ノ關係スル限リハナ
カッタノデアリマス、併シ御話ノ通り、
此整理賣却ハ今後ト雖モ餘程慎重ニ取
調ノ上、之ニ依ッテ米價ヲ低落セシムル
虞アルト云フ場合ハ、斷ジテ避クベキ
コト、思ヒマス、尙ホ實際ノヤリ方ニ
對シテハ、私ノ申スノガ足りナカッタカ
知レマセヌガ、其手續等ハ農務局長カ
ラ説明致シマス

○石黑政府委員 只今大臣ノ御話ニ少
シバカリ附加ヘテ申上ゲマス、第四條
ノ但書ノ場合ハ、大臣ノ御話ノ如ク整
理賣却ノ爲ニ相當ノ數量ヲヤラナケレ
バナラヌト云フ時ニハ、常ニ米穀委
員會ノ諒解ヲ得テヤッテ居リマス、買換
ノ場合モ亦同様デゴザイマス、唯米穀
委員會ノ組織員ガ、必シモ農林當局ノ
提案ト云フモノニ付テ、十分農民ノ利
益ヲ考慮シテ反對意見ノ陳述等モナイ
カラト云フコトニナリマス、其御答
デハ満足デハナイカト思ヒマスガ、併
シ此頃ハ米穀委員會内ニ於テモ農民ノ
利益ヲ主張シテ、意見ヲ闘ハサレル方
モ多勢居ラレルノデアリマス
ソレカラ貯藏米穀ノ整理賣却デアリマ

スガ、是ハ大體ニ於テ古米中ノ貯藏ヲ
不可トスルヤウナ狀態ニ在ルモノヲヤ
リマスノデ、一方米穀特別會計ノ上ニ
於キマシテ、最早斯ウ云フモノヲ持ッ
居ル譯ニハ行カヌト云フモノヲヤリマ
スカラ、數量ニ於キマシテモ自然的ニ
制限ガアルコト、考ヘルノデアリマス、
ソレカラ外國米ノ買入又ハ外國ヘノ賣
却ハ、或ル意味ニ於キマシテ數量ヲ考
ヘテ、早ク賣ッテ置カヌトイカヌ、政府
米ヲ更ニ新シク買入レナケレバナラヌ
時ニ、將來ハ米價ガ低クナルト云フ見
込デ、持米ヲ處理シテ置カナケレバナ
ラヌ、斯様ナ時ニ本文ガ適用サレルト
例ヘバ昨年ノ十月頃ニソロ／＼海外ヘ
賣却ヲシナケレバナラヌト云ッタ時ニ、
假ニ内地デ賣拂ッテ、條件附デ外ニ賣出
サナケレバナラヌ時ニモ、マダ米價ガ
内地デハ賣出スニ相當スルヤウナ價格
ニ暴騰シテ居ラヌ、ソレ所ジャナイ、先
ガ下ルト云フ見込デ賣出スノデアリマ
スカラ、ソレ等ハ除イテ置カナケレバ
ナラヌト云フノデ、取除イテ居ルノデ
アリマス

○町田國務大臣 尙ホ一言附加ヘテ置
キマスガ、古米ハ昨年以來試ミマシテ、
相當ノ成績ヲ擧ゲテ居ルノデアリマス
ガ、今後斯様ナ整理米ハ御心配ノ如ク
内地ノ供給ノ幾分ヲ殖スノデアリマス
カラ、之ガ爲ニ生産者ニ不利益ナル價

格ヲ生ジヤシナイカト云フ胎中君ノ御質問デアリマスガ、私ハ出來ルナラバ今後斯様ナ整理米ヲ主トシテ、昨年カラヤッテ居ルヤウニ、外國ニヤリタイ考ヲ持ッテ居リマス、現ニ今外國ニヤッテ居リマスモノモ、一般取引ニ掛ラヌ古米ガアルノデアリマスカラ、出來ルナラバ御心配ノヤウナコトモ私共考ヘテ居リマスカラ、此整理賣却ヲ外國ニスルコトヲ以テ本體ト致ス考ヲ持ッテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○胎中委員 ソコデ私が御伺ヒシタイノハ、政府ガ外國ニ米ノ販賣ヲ致シマス時ニ、ドンナ値段デ賣ッテ居ラレルカ、今回政府ノ所有米ヲ販賣サレタニ付キマシテモ、ドウ云フ價格デ賣ラレタカ、此事柄ハ御承知ノ如ク米穀法ニ依リマス、時價ニ依ラネバナラス、斯ウ云フコトヲ、ハッキリセラレテ居ルノミナラズ、昨日ノ確カ東郷君ノ質問應答ノ中ニ、他ノ關係デアリマシタケレドモ、農林當局デ此御話ガアリマシタ時ニ、私ハ關聯シテ御伺致シテ置イタ、現在ノ米穀法ノ法規ニ依レバ、米ハ買フ時モ賣ル時モ、時價ニ依ラナケレバナラス、斯ウ云フ風ニ解シテ宜シウゴザイマス、其通りダ、斯ウ云ウ御話デアッタ、サウ致シマスレバ、外國ニ賣リマシタ所謂七十萬石ト云フ米、是ガ若シ過般、新聞等ニ出マシタ

ヤウニ、安達内務大臣ノ御夫人ガ窮民ニ安イ米ヲ食ハシテヤルト云フコトデ、ドレ程ノ量デアッタカ、ドウ云フモノデアッタカ知ラス、或ハ整理米デアッタカ古米デアッタカ知リマセヌガ、サウ云フ程度ノモノナラバ、或ハサウ整理米トカ古米ト云フヤウナモノデ出來ルカモ知レマセヌガ、兎ニ角七十萬石ト云フ大量ノ米ガ、マサカ蟲ガ喰ッタ米ト云フ譯デモアリマス、デアリマスカラ此事柄ハ、私ハ是非ハッキリ御聴キシタイ、若シ私共ノ今ノ考カラ言ヒマス、米穀法ニ於ケル所ノ法規ノ上ニ於テ、ハッキリ時價デナケレバナラス、而モ買上ノ場合等ニ於テハ米穀委員會ノ議ニモ諮ラ決メルノデアリマ

スガ、此七十萬石ト云フ米ヲ外國ニ賣ッタ値段ト云フモノガ、果シテ何ニ依ッテ居ルカ、若シ私共ガ傳ヘ聞クガ如ク、先日色々此事ニ付テ聴キマシタケレドモ、是ハ國家的ノ見地カラ私共ハ追窮シテ聴キマセヌデシタガ、少クトモ日本ノ内地ノ米ノ所謂時價、其時價ヨリハ遙カニ安イモノデアッタト云フコトハ想像出來ル、若シ果シテ安イ値デ此七十萬石ト云フ米ヲ、今後ハ暫ク措イテ、今日マデノ七十萬石ト云フ米ヲ賣ッタニ致シマシタナラバ、是ハ法規ノ上ニ於テ私ハ違反ニナッテ居リハセヌカ、斯ウ云フコトヲ私ハ考ヘルノデアリマ

スカラ、先ヅ此點ニ付テ外國ニ賣ッタ所ノ米ハ、如何ナル價ニ依ッテ之ヲ出サレタカ、而シテソレガ米穀法ニ依ッテ規定サレテアリマス所謂時價ニ依ルベシト云フ法規ニ違反シテハ居ラスカ、斯ウ云フコトヲハッキリ御伺ヒ致シタインデアリマス

○石黒政府委員 御尤ナ御質問ダト存

ジマスガ、内地ニ於キマシテ色々慈善等ノ團體ガ、成ベク安く賣ッテ貰ヒタイト云フヤウナ要求モ折々アルノデアリマス、併ナガラ之ニ對シマシテハ十分ニ同情ハ持チマス、ケレドモ、ヤハリ法規ノ命ズル所ニ依リマシテ、時價ヲ以テ賣ル外致方ナイノデアリマス、サウ云フ慈善等ノ米或ハ救恤米ト云フヤウナモノハ、保管ノ中ノ極メテ品質ノ下ノ物ヲ向ケルト云フヤウナコトデ了解ヲシマシテ、ヤハリ大體時價ニ準據シテ拂下ゲテ居ルノデアリマス、此爲ニ能ク貴婦人連ナドガ、少シモ安く賣ラナイ、便宜ヲ圖ッテ呉レヌト云フヤウナ不平モアルノデアリマスガ、コチラハサウ云フ譯ニハ參ラヌト云フコトヲ能ク申シテ居ルノデアリマス、其爲ニ新聞紙上等ニ大變不平ヲ傳ヘラレタリシタコトモアルノデアリマス、ソレハ餘リ大キナ問題デナイカモ知レマセヌガ、御尋ノ點ハ海外賣却ノ問題デアッテ、此値段ヲ幾ラニ賣ッタト云フコトハ、此

間御了解ヲ得マシテ、幾ラト云フコトハ色々ナ點ニ於テ申上ゲルコトヲ控ヘルコトニ御了解ヲ得タノデアリマスカラ、必シモ今ノ胎中君ノ御質問ハ金額ヲ申上ゲナクテモ、唯ソレガ時價ニ準據シテト云フ法規ニ對シテ、違反ニナリハセヌカト云フ點ニ付テノ御尋デアラウト存ジマス、是ハ御尤ナ御質問ト思ヒマスガ、海外ニ米ヲ賣ルニ大別シテ二ツノ方法ガアリマス、一ハ内地ニ於テ商人ニ拂下ラ致シマシテ、海外ニ持出サセル、一ハ海外ニ持出シテ海外ニ於テ賣ルコトヲ委託スル、斯ウ云フ二ツノ方法ガアルト思ヒマス、此方法ノ優劣ニ付テハ色々議論ハアラウト存ジマスガ、今度ノ賣却ハ委託方法ニ依ッテ賣ッテ居ルコトハ、曩ニ申上ゲタ通りデアリマス、此前、政府所有ノ古米ヲ外國ニ賣ッタ時ニモ、ヤハリ委託ノ方法ニ依ッテ賣ッタノデアリマス、サウ云フ時ニハ何時モ海外ノ市場ニ於ケル値段ヲ見テ、賣ッテ居ルノデアリマス、ソレニハ證明書ヲ取寄セテ、ソレニ依ッテ賣却致シテ居リマス、今度ノ賣却モヤハリ海外ニ委託シテ、其方法ニ依ッテ賣却致シテ居ルノデアリマス、即チ時價ニ依ルト云フノハ、賣却ノ場所ニ於ケル米ノ値段ニ依ッテ居ルノデアリマス

○胎中委員 今ノ御答辯ハ私ノ尊敬ヲ拂ッテ居ル石黒サントシテハ、甚ダ遺憾

ニ思フ、成程色々手段方法ヲ講ジナケレバ外國ニ賣レナイコトハ、當然デアリマスカラ、此手段方法ニ付テハ私共別ニ異議ハアリマセヌガ、併シ是ガ最初ニ申シマシタ通り、日本ノ内地デ出来タ米デ、内地ニハ時價ト云フモノガアル、此米ヲ外國ヘ持ッテ行ッテ、日本ノ米ヨリモ安ク賣ルト云フノデアリマヌ、外國ノ時價ニ依ルト云フコトハ法規ノ何レニ依ッテ之ヲ見ルコトガ出来ルカ、法規ノ上ニ於テハ私共ハ日本ノ時價トヨリ外ニハ考ヘルコトハ出来ナイ、デアリマスカラ日本ノ時價ニ依ルベキ筈ノモノデ、法規ノ上ニモサウ明示サレテ居ルニ拘ラズ、外國ヘ持ッテ行ッテ日本ノ時價ヨリ安ク賣ルト云フ其根據ト云フノハ法規ノ上ノ何處ニアリマスカ、之ヲ一ツ御説明ヲ願ヒタイ ○石黒政府委員 何處ニアルカト仰セラレマスルト、現行法ニ於キマシテハ第三條ノ第二項ニ「前項ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ムベシ」ト云フコトガゴザイマス、其一般ノ規定ニ依ルノデゴザイマス、賣却場所ノ時價、斯ウ云フコトニ從來解釋ヲシテ參ッテ居ルノデアリマス ○東委員 聯關シテ居ルカラ私モ御尋ネシタイ ○西村委員長 宜シウゴザイマス ○東委員 是ハ石黒サンノ御答辯ハ全	ク私ハ誤ッテ居ルト思フ、農林省モ此點ニハマダ注意ガ足りナイト思フ、是ハ國內法トシテ米穀法ニ明ニ時價ニ依ッテ賣却スルト云フコトヲ明定シテアル、外國米ヲ輸入シテアツタ場合ニ、外國米ヲ海外ニ賣拂フト云フ時ニハ、從來ドノ内閣モソレハヤリマシタケレドモ、内地米ヲ大量ニ海外ニ賣ル時ニ、此内閣法ノ時價ヲ以テ是ガ時價デアルト云フコトニ依ッテ、賣却シタト云フコトハドウシテモ國內法ト云フモノハ明ニ國內法デアアル、外國ノ時價ト云フモノヲ國內法ニ明定ハシテナイ、詰リ日本ノ内閣法デアアル、ソレヲ日本ノ内閣法ニ持ッテ行ッテ、是ガ時價デアアル、歐羅巴ノ時價ハ是デアアル、上海ノ時價ハ是デアアル、此時價デ賣ッタト云フコトハ、私共ハ法規ノ根據ト云フモノガ全ク誤ッテ居ルト思フ、是ハ會計法ノ違反ニナルモノデハナカラウカ、今日マデ斯ウ云フ議論ハ衆議院ニモ起ラナカッタケレドモ、明ニ此點ハ會計法ノ違反ダト私ハ思フ、日本ノ内閣法ニ依テ時價ヲ定メテ、其時價ニ依ッテ賣ルト云フコトヲ明定シテ居ル、ソレヲ外國ノ時價ヲ準用シテ是ガ廉賣ヲシテ宜シイ、投資ヲシテ宜シイ、外國ノ時價ガ斯ウデアアルカラト云フコトハ、是ハドウシテモ論理ガ徹底シテ居ナイ、此點ニ付テア	ナタ方ハ用意ヲ缺イタノデハナイカト思フ、今アナタノ言フ委託販賣トカ云フヤウナコトデ、海外ノ市場ノ價格ヲ取調ベテ、サウシテ之ニ賣ルナラバ、相當デアアル、是ガ時價デアアル、ソレハアナタ方ノヤリ方ハ前提ニ於テ相當ダ、法理上ノ根據ガ之ニ明定ヲサレテ居ルカラ、投資シテモ宜シイト云フ考デ、不正ナ事ハナイト斯ウ云フアナタ方ノ考デアアルガ、吾々ハ不正ニ賣ッタトカ、高ク賣レルモノヲ安ク賣ッタトカ、其間ニ不都合ガアラウトカ、サウ云フコトハ少シモ考ヘテ居ナイ、ケレドモ日本ノ法律ハ日本ノ國內法デアアル、國內法ト云フモノニ依ッテ時價ト云フモノヲ明定シテ居ル、ソレヲ外國ノ時價ヲ以テ國內法ニ應用スルト云フコトハ、是ハ會計法ニ於テ明ニ失態デアルト思フ、是ハ違反デアアルカ、或ハ不當デアアルカ、此處デ私共ハアナタ方ヲ彈劾スルトカ、論難スルト云フノデハナイガ、是ハ明ニ法律上ノ根據ヲ誤ッテ居ルト云フコトハ、相當デアルト思フ、今ノ胎中君ノ議論ハ極メテ正論デアルト考ヘテ居ル、之ニ對シテ農林省ハ今日マデドウ云フ風ナ御研究ニナッタカ、其論據ヲ何處ニ置イテ居ルカ、法律的ノ根據ハ何處ニアルカ、之ヲハッキリ私共ハ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス ○石黒政府委員 今米穀法ノ條文ノ御	尋ガアリマシタノデ、三條ヲ申上ゲマシタガ、賣却ヲスル場合ニハ時價ニ依ルト云フコトハ、一般會計法ノ規定デ、其趣意ハ明カダト思ヒマス、而シテ外國米ノ委託販賣却ヲ海外市場ニ於テヤル場合ニ於テ、外國ノ時價ニ依ッテモ宜シイ、内地米ニ於テハイケンイト云フコトハ私ハ言ヘスト思フ、外國米デモヤハリ内地ニ於テ外國米ノ時價ト云フモノハアルノデアリマス、デアリマスカラ從來ノ取扱ニ於テ、農林省ト致シマシテハ、同ジ解釋ノ下ニ於テ之ヲヤッテ來テ居リマシテ、敢テ法律ノ違反ト考ヘテ居ラナイノデアリマス ○東委員 私共ノ疑ハ、前内閣デモ、外國米ヲ上海ニ賣ッタトカ、或ハ滿洲ニ賣ッタトカ云フコトハアリマス、ソレハ私共ノ在官中ニモサウ云フ事ガアリマシタガ、是ハ極ク少量ナモノデアリマシテ、今度ノヤウニ四百萬石、五百萬石ト云フ米ヲ海外ニ賣ルト云フ場合ニハ、是ハ相當ノ問題ガ起ルト思フ、ソレデ是ハ前内閣ダラウガ、前々内閣ダラウガ、ソレヲヤッテ來タカラ宜イト云フ譯ニハ行カナイト思フ、前ノ内閣デヤッタ事ガ間違ヒナラ、ヤハリ今日モ間違ハナケレバナラヌト思ヒマス、ソレハ決シテ吾々ガ其點ニ付テ彼此レ現内閣ガヤッタ事ヲ非難スル理由ハナイケレドモ、外國ノ時價ト云フモノニ依ッテ――
--	---	--	---

國內ノ法律ニ明定シテ居ルモノヲ、時價デアルカラ是デ宜シイト云フコトハ、私ハドウシテモ是ハ法律上ノ根據ト云フモノハ甚ダ疑問ニ思フ、大量ニ賣ツテヤル、是ハ現實問題カラ言ヘバ、非常ニ日本ニ米ガ餘ルカラ、外國ニ賣ツテモ宜イデハナイカ、是ハ現實ノ問題デ、法律ノ問題デアルケレドモ、純理的ノ議論カラ言ヘバ、是ハ米ガ餘ラデモ非常ニ困ラテ居ルカラ、外國ヘ幾ラデモ捌ケタ方ガ宜シイト云フコトハ、現實的ノ政治問題トシテハ、ソレハサウ言ヒ得ルケレドモ、純法律的ノ根據カラ言ヒマスナラバ、海外ノ時價ヲ國內法ノ時價ト同ジヤウニ取扱フト云フコトハ、是ハドウシテモ會計法トシデハ相當議論ノアル問題デアルト思フ、從來其點ニ付テ農林省ハ、是ハ時價ト云フノデアルカラ、大量ニ何百萬石デモ投賣シテ、十圓カ九圓デ賣ツテモ宜シイト云フコトハ、私ナドハ茲ニ相當ニ議論ガアルト思フ、アナタ方ハナイト仰シヤルナラバ、是ハ意見ノ相違ニナルカモ知レマセヌガ、相當ニ今日マデ其點ニ付テ法理論ノ研究ヲ致シテ居ルナラバ、ソレヲ伺ヒタイ、又法律家モ澤山居ルノデアルガ、我國ノ法律ノ上ニ於テ——運用ノ上ニ於テ、サウ云フコトヲヤツテモ差支ナイノデアルカドウデアルカト云フコトハ、私ハ明ニ疑

間ガアルト斯様ニ考ヘテ居ル、其點ニ付テ從來ドウ云フ御研究ニナツテ居ルカ、ドノ法律ニ依ツテヤツタカ、是ハ會計法ノ違反ニナラヌカ、斷ジテナラヌト云フコトヲ確信シテ居ルト云フナラバ、ソレデ宜シイ

○石黒政府委員 私ハ斷ジテ會計法ノ違反ニナラヌト確信シテ居リマス

○胎中委員 今ノ問題ハ私共ハ違反ナリト考ヘルケレドモ、併シ今政府當局ガ違反ニアラズ、會計法ニ相反セズト斯ウ斷言サレマシタカラ、是ハ此程度ニ止メテ置キマス

ソコデ次ニ御尋ネ致シタイノハ、米穀法施行ニ關スル命令ノ要綱中、第九「經濟界ノ異常ナル變動ノ場合ハ最低價格及最高價格ヲ改定スコトヲ得ルコト」ト斯ウアリマス、更ニ「九月一日以後米穀需給狀態ニ著シキ變動アリ又ハ其處アルトキハ最低價格ヲ改定スルコトヲ得ルコト」ト斯ウ云フコトガアリマスガ、一體異常ナル變動ト云フコトハドウ云フコトデアリ、ドウ云フ場合デアルカ、之ヲ第一ニ御伺ヒ致シタイノデアリマス

第二ニ九月一日以後ト申シマスルト、此時ニ當リマシテハ大體其年ノ米ノ出來模様ト云フモノガ分ル、出來模様ト云フモノガ分ルト、若シ其年ニ假ニ豐作デアルト致シマスレバ、或ハ之

ヲ自由勝手ニ改定スルト云フヤウナコトニナリマスレバ、是ハ農家ニ對シテ由々シイ結果ヲ招來スルモノト思ヒマス、デアリマスカラ此點ニ付テ異常ナル變動ノ場合、其異常ナル變動ノ場合ト云フコトト、サウシテ之ヲ誰ガ決メル、其決メタ結果ガ九月一日以降ニ於ケル所謂次ニ出來ベキ所ノ米ノ豫想ニ依ツテト云フコトニナリマスレバ、之ニ依ツテ受ケル所ノ農家ノ損害、不利益ト云フモノハ、實ニ重大ナモノデアルト私共ハ考ヘルノデアリマスガ、其點ニ付テ御説明ヲ御願シタイ

○荷見農林書記官 是ハ米穀調査會ノ方ニ諮問致シマシタ時カラノ、農務局ノ原案ノ通りニナツテ居リマスカラ、事務的ニ私カラ御説明申上ゲタ方カ、却テ御諒解ヲ得易イカト思ヒマス、第一ニ御質問ノ經濟界ノ異常ナル變動ニ依ツテ物價ノ變動ノ著シイ場合、是ハ如何ナル場合ヲ指スノデアルカ、是ハ大體ニ於マシテ經濟界ニ「バニック」ガ起リマシタ時、或ハ大震災ノヤウナ場合デ非常ニ物價ニ變動ヲ起シマシタ時、戰時デアリマスとか云フヤウナ場合ヲ豫定致シマシタ規定デゴザイマス

ソレカラ第二ニ九月一日以後ニ基準價格決定マデノ間ニ、米穀需給狀態ニ著シイ變動ヲ生ジタ場合、又ハ其處ア

ル場合ト申シマスノハドウ云フコトデアルカト云フト、是ハ從來デモ見マスヤウニ、次年度ノ米穀ノ生産狀況ガ非常ニ豐作ヲ豫想サレマス時ニハ、急激ニ下落致スコトガ、過去六十年間ノ米穀ノ足取リヲ見マス、明瞭ニナツテ居リマスノデ、其甚シイ時ニハ此價格ヲ改定スル、斯ウ云フ風ニ致サウト云フコトニ致シテ居リマシタノデアリマス、ソレデ其決定ハドウシテ致スカト云フト、只今デハ米穀委員會ノ方ニ諮問致シマシテ、サウシテ決定ヲ致ス、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデゴザイマス

○東郷委員 胎中君ノ質問ハマダ殘ツテ居ル譯デスケレドモ、他ノ大臣ト御一緒ニ願ツタ方ガ都合ノ好イヤウナ事情モアリマスシ、保留致シマシテ、今晚ハ此程度デ散會セラレンコトヲ希望致シマス

○西村委員長 ソレデハ本日ハ之ニテ散會致シマス、明日ハ午後一時カラ開會致シマス

午後九時三分散會

昭和六年二月二十六日印刷

昭和六年二月二十七日發行

衆議院事務局

印刷者

常磐印刷株式會社